

生駒市地域公共交通計画 (案)

[資料編]

令和〇年〇月

目 次

1.	地域及び地域公共交通の現状・課題分析.....	1
1.1.	地勢・土地利用.....	1
1.2.	人口・世帯.....	4
1.3.	事業所・従業者数.....	9
1.4.	各種施設分布.....	11
1.5.	運転免許保有状況.....	15
1.6.	観光・交流.....	17
2.	住民アンケート調査結果.....	18
2.1.	実施概要	18
2.2.	回答結果	18
2.3.	集計・分析.....	57
3.	事業所アンケート調査結果.....	64
3.1.	実施概要	64
3.2.	回答結果	64

1. 地域及び地域公共交通の現状・課題分析

1.1. 地勢・土地利用

(1) 生駒市の概況

- ・ 生駒市は奈良県北西部に位置し、西に生駒山地、東に矢田丘陵と西の京丘陵があり、南北に細長い形をしています。また、奈良市、大阪府、京都府と隣接しており、自然環境の良さや交通の利便性から、良好な住宅都市・大阪等のベッドタウンとして発展してきました。
- ・ 生駒市の総面積は約 53.2km² で、市街化区域面積は約 21.4km² で市域の約 4 割を占めています。また、市街化区域内の大半は住宅用地（特に、第一種低層住居専用地域）で、商業用地は駅の周辺に、工業用地は北田原の工業団地に集積しています。
- ・ 第一種低層住宅専用地域が多いことから、本市の地域公共交通を考えるにあたっては、居住地側の移動を主に検討する必要があると言えます。

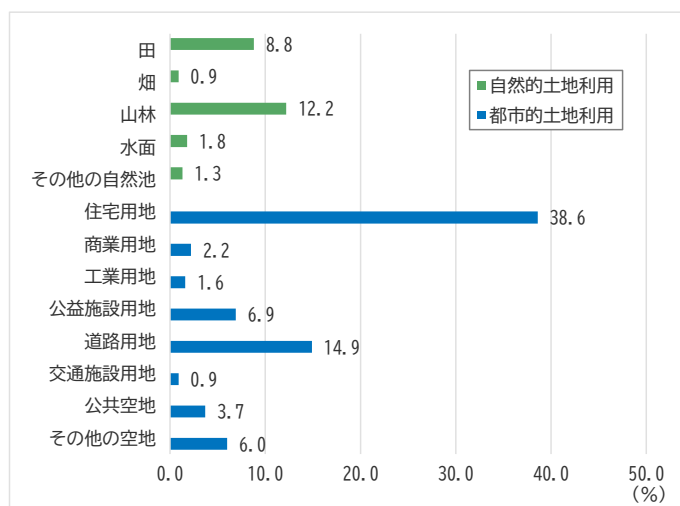


図 1-1 市街化区域における各土地利用の面積割合 (H26)

出典：都市計画基礎調査

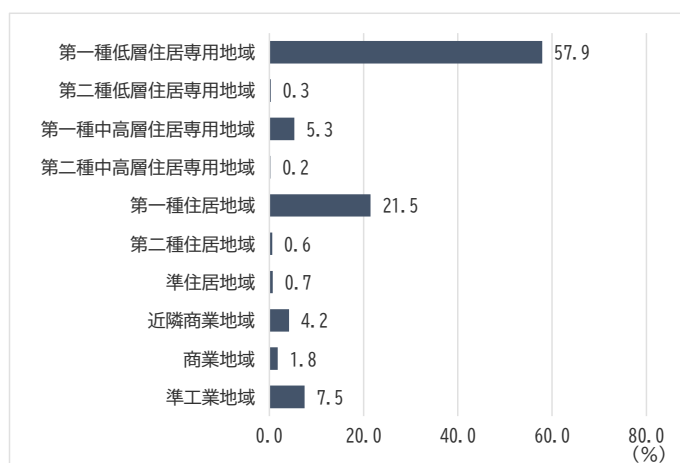


図 1-2 用途地域の面積割合 (H26)

出典：都市計画基礎調査

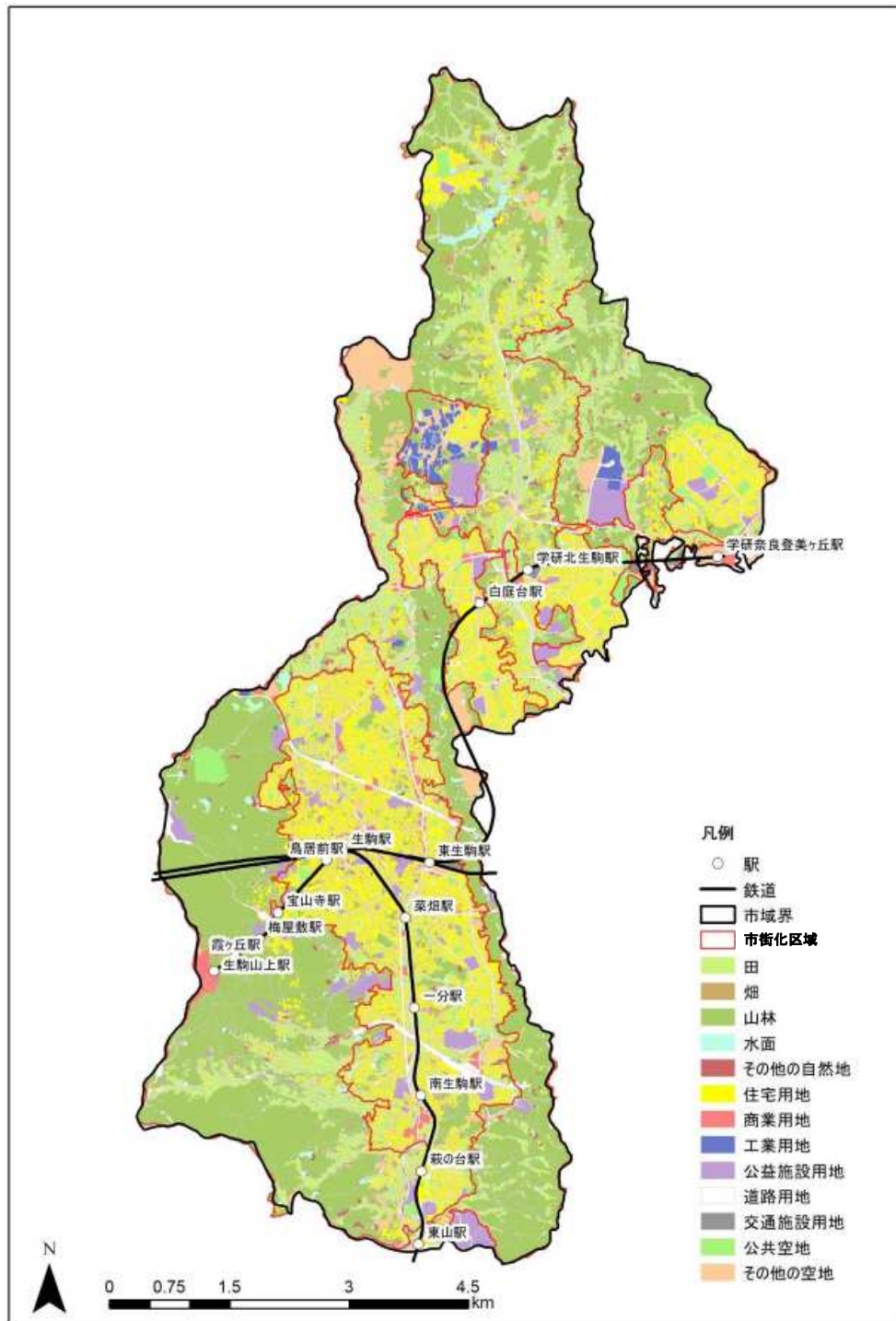


図 1-3 土地利用の状況 (H26)

出典：都市計画基礎調査

(2) 勾配の状況

- ・ 傾斜地において住宅開発が進められてきたこともあり、市内の中心部や近鉄生駒線周辺以外では、急勾配の住宅地が多く存在します（光陽台周辺やあすか野周辺、軽井沢町周辺など）。
- ・ あすか野など早期に開発された計画的市街地では高齢化が進んでおり、地区内の徒歩移動や、地区から最寄りの駅までの徒歩移動が困難になってきていると推察されます。

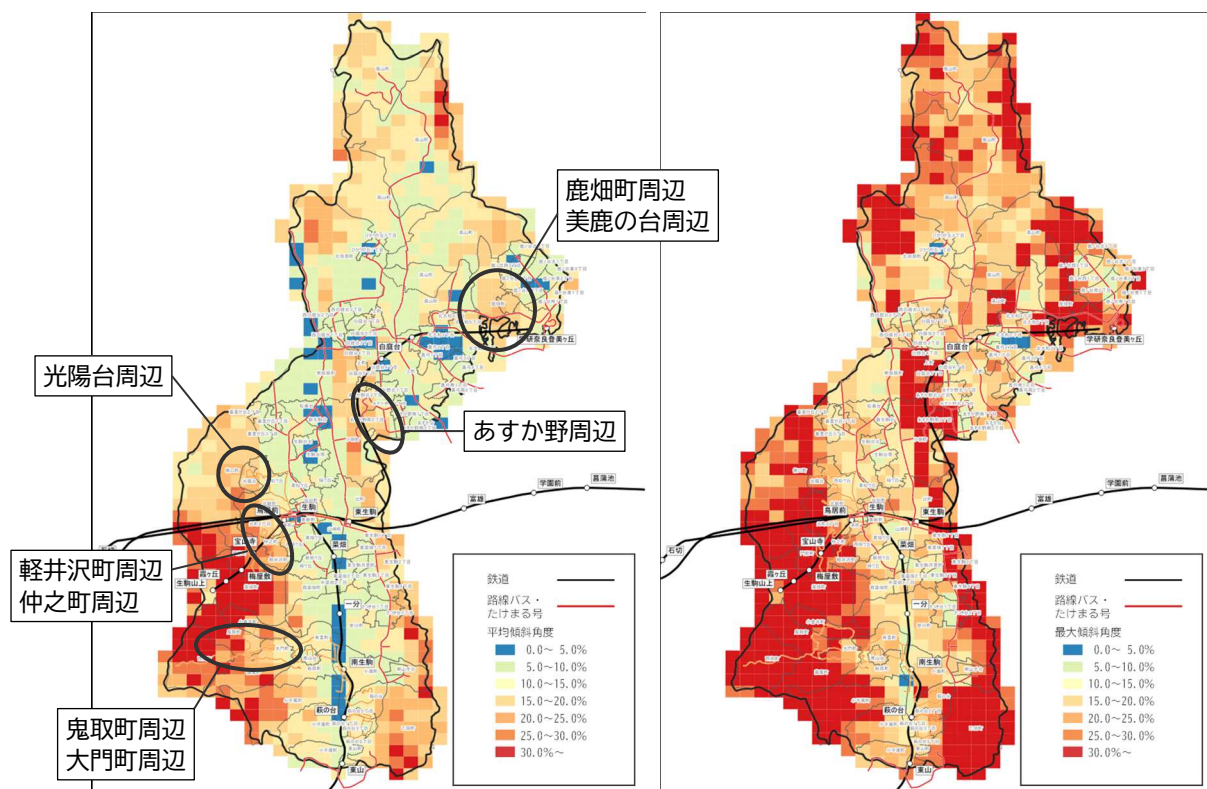


図 1-4 勾配の状況（左：平均勾配、右：最大勾配）

出典：国土数値情報(H23 標高傾斜度 5 次メッシュデータ)を加工して作成

※勾配（傾斜角度）は、50m メッシュの標高値から算出した勾配であるため、実際の道路の勾配とは異なる

1.2. 人口・世帯

(1) 人口

- ・ 生駒市の人口は 2015 年(H27)で 11.8 万人となっています。
- ・ 今後は人口減少が進み、10 年後の 2030 年には 11.1 万人 (2030 年/2020 年:0.95)、2045 年には 10 万人 (2045 年/2020 年:0.83) を下回ると推計されています。
- ・ 人口移動の特徴として、20 歳代は転出超過 (就職等に伴う転出)、10 歳未満と 30 歳代は転入超過 (結婚・子育てに伴う転入) にあります。近隣市 (奈良市と橿原市) と比較しても、若い子育て世代の入居が多いと言えます。

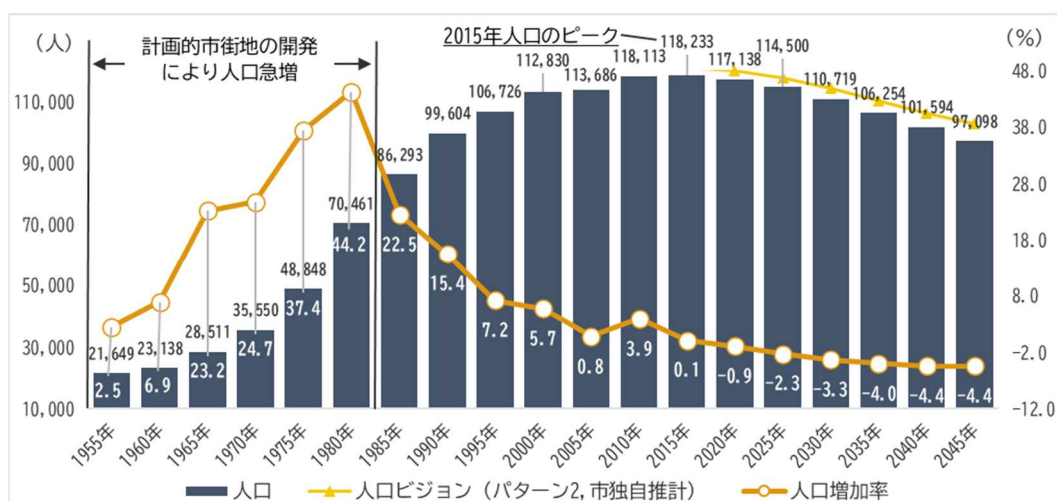


図 1-5 人口及び人口増加率の推移と将来推計

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 (平成 30 (2018) 年推計)」※2020 年以降は将来推計人口
人口ビジョンデータは、第 2 期生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略より抜粋

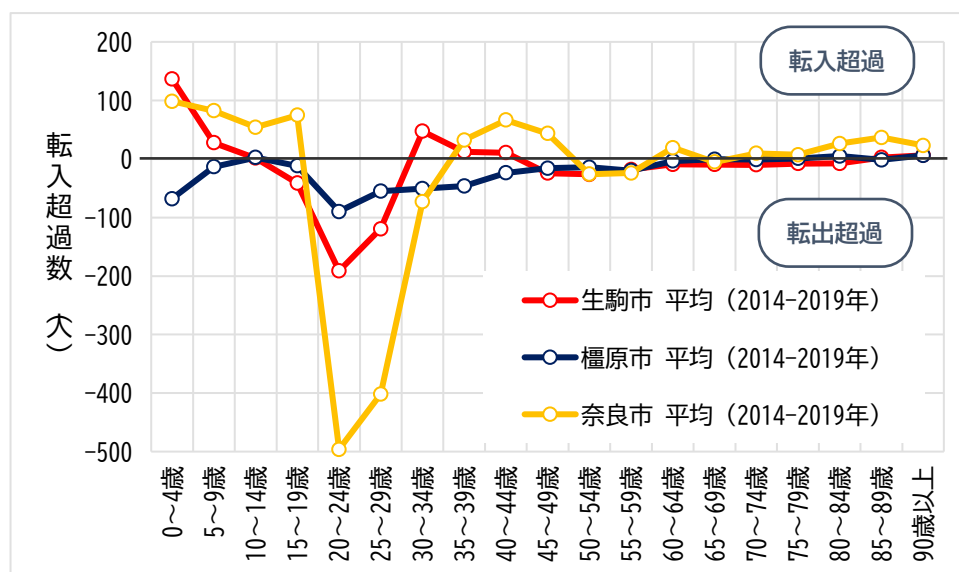


図 1-6 5 歳階級別の転入・転出の状況

出典：住民基本台帳人口移動報告 (2014 年～2019 年の平均)

(2) 高齢化の動向（年齢別）

- ・ 2000年の時点では、65歳以上人口割合は約13%、75歳以上人口割合は約5%でしたが、2015年になると65歳以上人口割合は25%を超え、75歳以上人口割合も10%を超え、高齢化が進んでいます。
- ・ 10年後の2030年には、65歳以上人口割合は30%を超え、また、75歳以上人口割合も20%近くまで達する見込みです。また、65～74歳の前期高齢者数よりも、75歳以上の後期高齢者数の方が多くなる見込みであり、高齢者の移動支援へのニーズが更に高まると予想されます。
- ・ 15～64歳の生産年齢人口は、2015年時点で60%を下回っており、10年後の2030年には55%程度まで減少する見込みで、公共交通の通勤需要が減少することが予想されます。

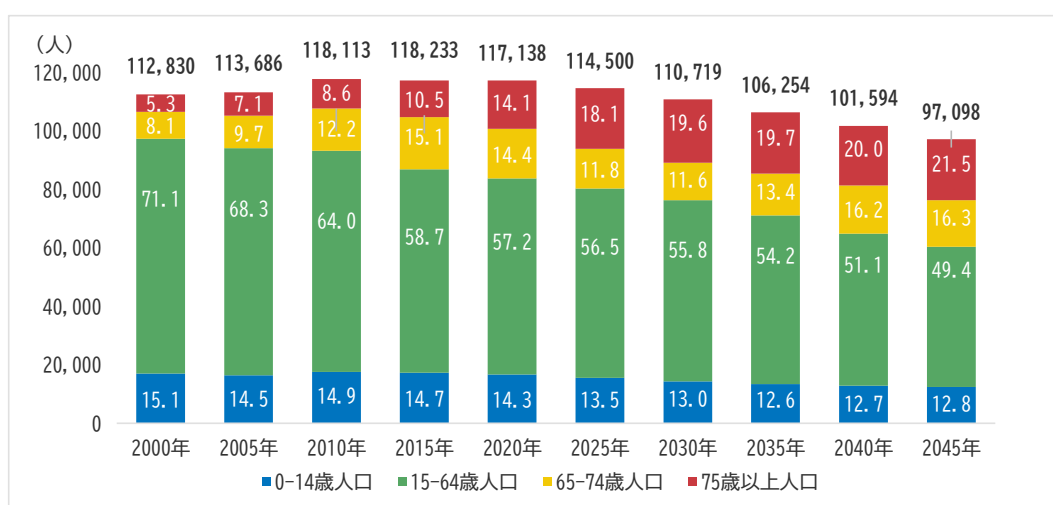


図 1-7 年齢別人口割合

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」※2020年以降は将来推計人口

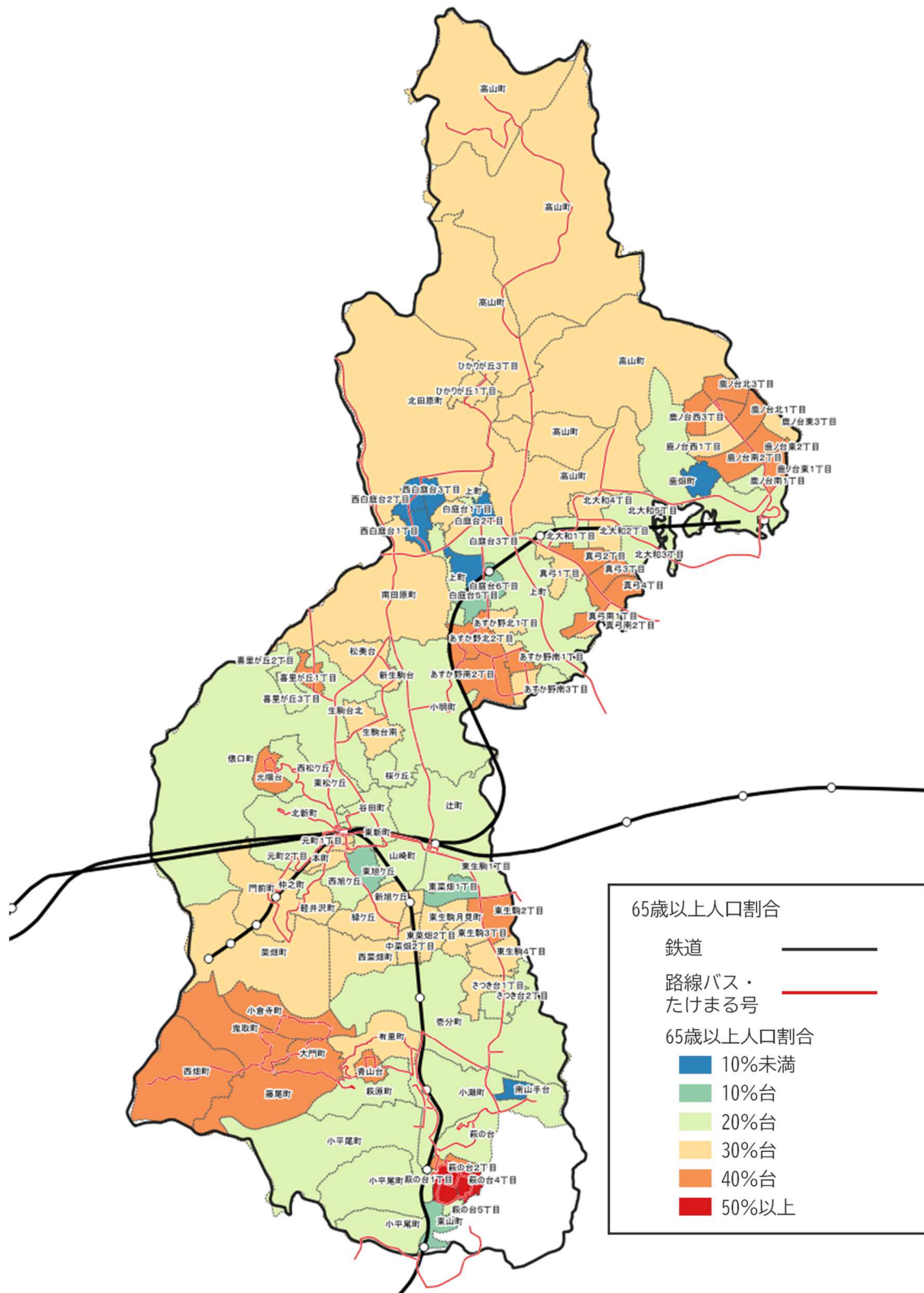
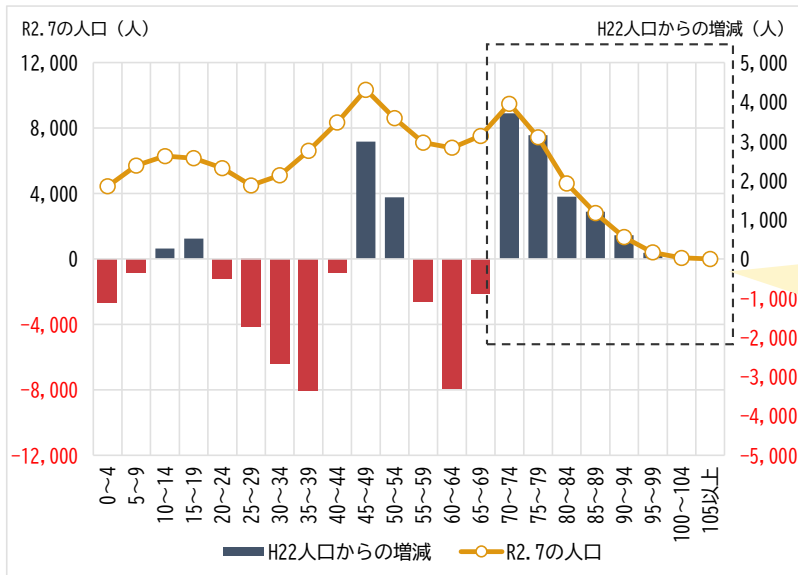


図 1-8 地区別 65 歳以上人口割合

出典：住民基本台帳人口（令和 2 年 7 月末）

※町丁字境界は平成 27 年国勢調査のデータを使用している

- ・平成22年からの人口の変化として、70歳以上人口が増加しており、これは団塊世代で、45～54歳人口は団塊ジュニア世代を示しています。
- ・町別の75歳以上人口割合が25%を超えている地域・増加人口が多い地域は、光陽台、あすか野、青山台、鹿ノ台、萩の台、真弓で、団塊世代の高齢化とともに、75歳以上人口の割合は上昇し、高齢化対策が必要な地区と言えます。



- ・5歳階級別人口は、45～49歳が最も多いが、70～74歳が次に多い。
- ・平成22年人口と比べて、70歳以上の年齢で人口が増加、40歳以下の人口は減少している

図 1-9 5 歳階級別人口の推移

出典：住民基本台帳人口（平成22年3月末、令和2年7月末）

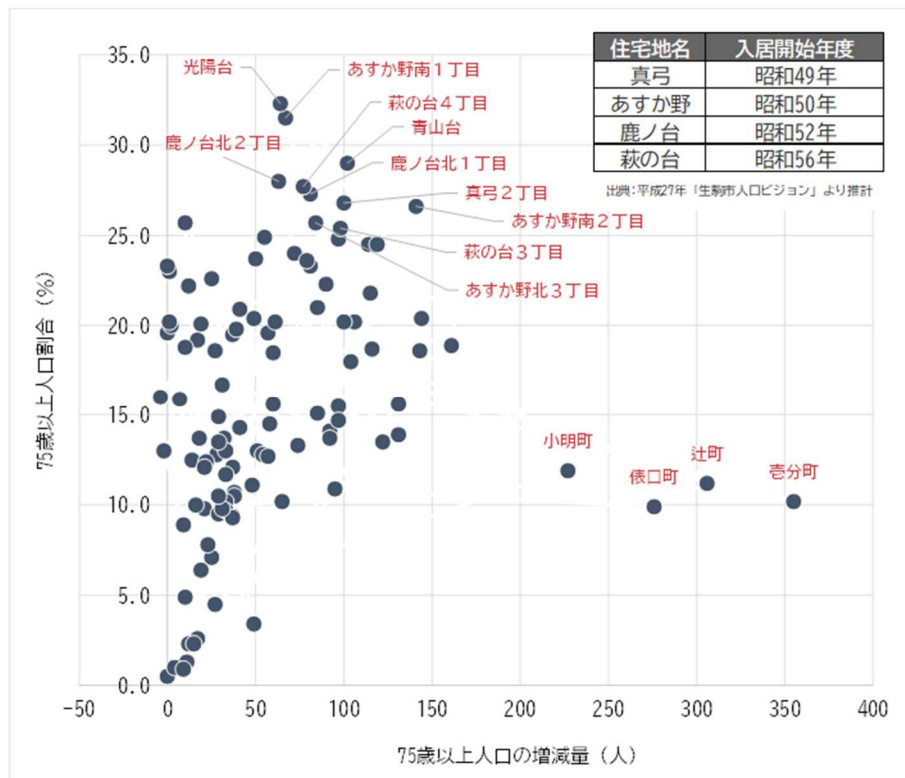


図 1-10 75 歳以上人口割合と 75 歳以上人口の増減量の関係

出典：住民基本台帳人口（平成22年3月末、令和2年7月末）

(3) 世帯数

- ・ 世帯数は増加傾向にありますが、一世帯あたりの人数は減少傾向にあります。
- ・ 高齢者（65 歳以上）の世帯員のいる世帯数は増加傾向にあり、高齢者単身世帯も増加傾向にあります。高齢者単身世帯だと、家族等に送迎をお願いできない環境にあるかもしれないため、高齢者単身世帯の増加から、外出に困っている人が増えている可能性が推察されます。

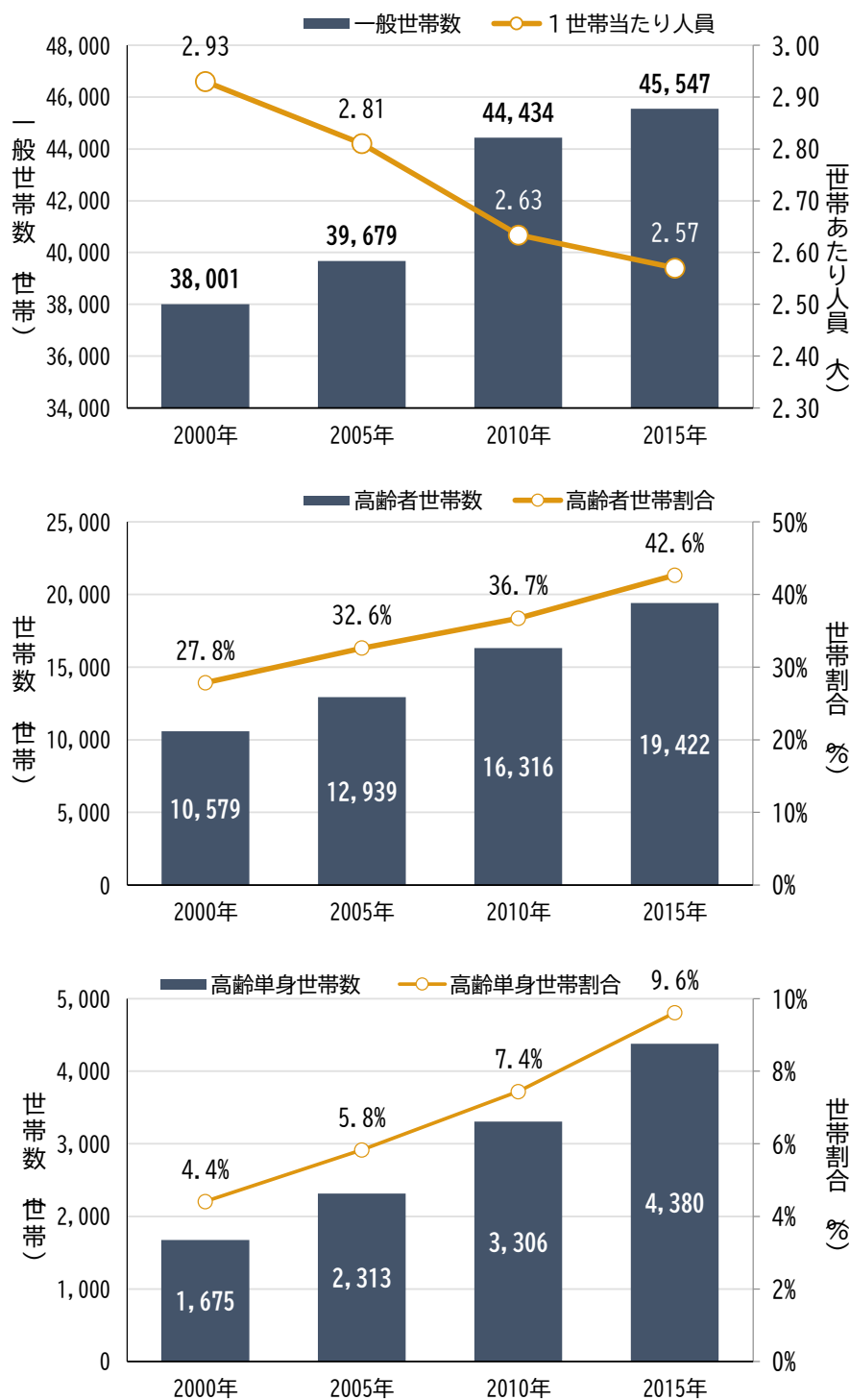


図 1-11 世帯の状況（上：一般世帯数と一世帯あたり人員、中：高齢者のいる世帯、下：高齢者単身世帯）

出典：国勢調査

1.3. 事業所・従業員数

(1) 事業所数・従業員数

- ・ 事業所数と従業員数に大きな経年変化はなく、市内では約 2,800 事業所、約 27,000 人規模の企業活動があります。
- ・ 駅周辺や北田原工業団地で多くの従業員数が集中しているため、市内通勤としては、駅までの移動手段や北田原工業団地等への駅からの移動手段を検討する必要があります。

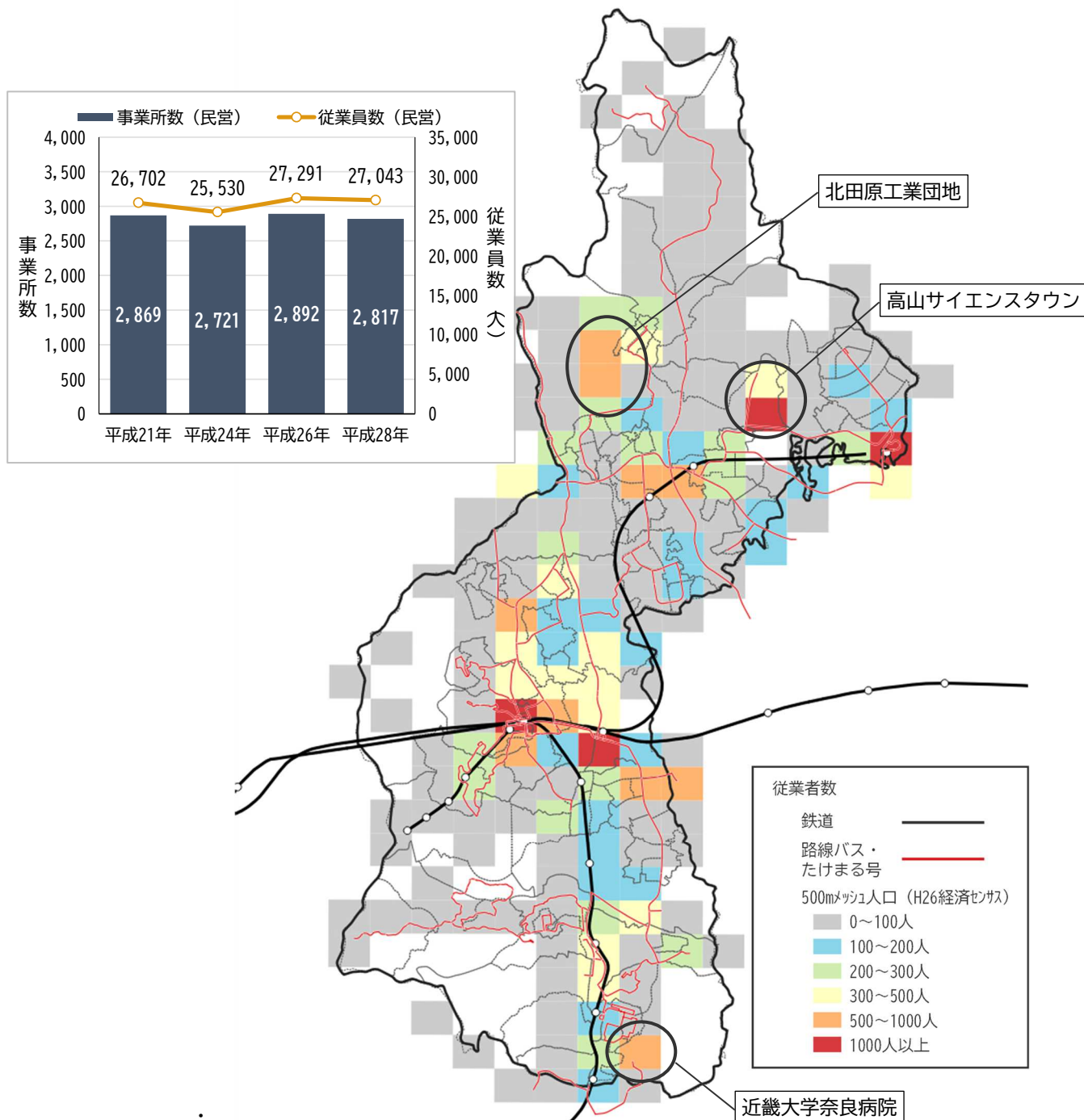


図 1-12 従業員分布(H26)及び事業所数と従業員数の推移（民間）

出典：経済センサス（民間のみ）

(2) 通勤の状況等

- ・ 通勤手段は、自家用車・バイク通勤者が 63%と全体の半数以上を占めています。一方、近鉄やバス通勤者は 27%、徒歩・自転車通勤は 10%を占めています。
- ・ 自家用車・バイク通勤の方は、主に生駒市内にお住まいの方が 42%、奈良市にお住まいの方が 23%と、近隣の方が利用されている傾向にあります。

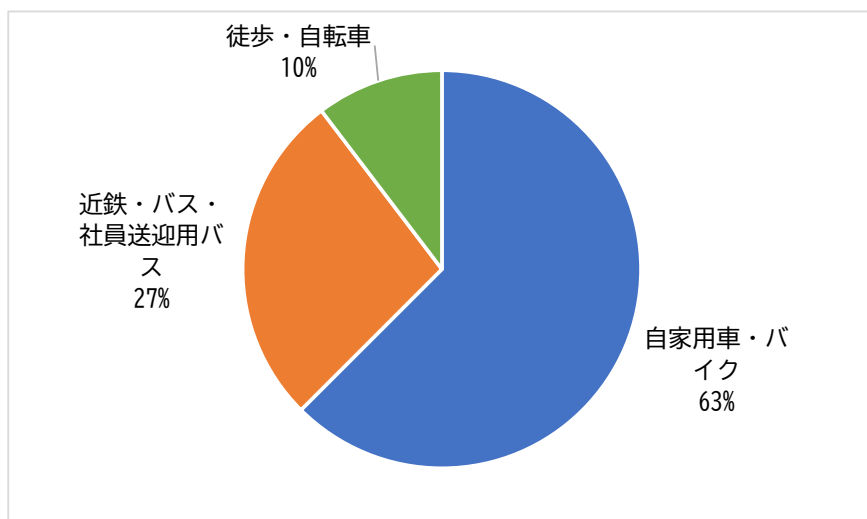


図 1-13 通勤手段割合

出典：令和2年度事業所アンケート調査結果（生駒市）

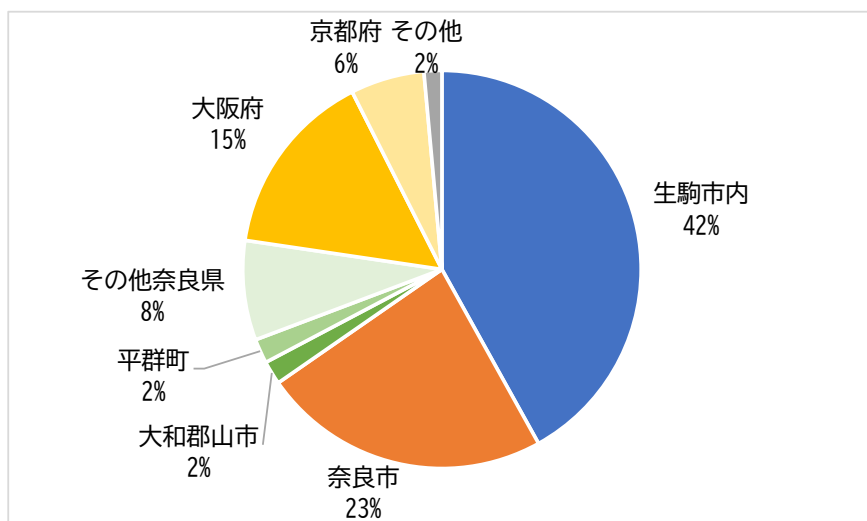


図 1-14 自家用車・バイク通勤の方の居住地割合

出典：令和2年度事業所アンケート調査結果（生駒市）

1.4. 各種施設分布

(1) 医療施設の分布

- ・ 医療施設（内科・外科）は、診療所を中心に概ね全域をカバーしています。
- ・ 主な医療施設へ公共交通を使ったアクセスとしては、大半の地域で概ね 60 分で到着できる状況にありますが、南部地域等では公共交通でアクセスできない地域もあります。

※主な医療施設：住民アンケート調査で、通院先として回答の多かった施設を採用

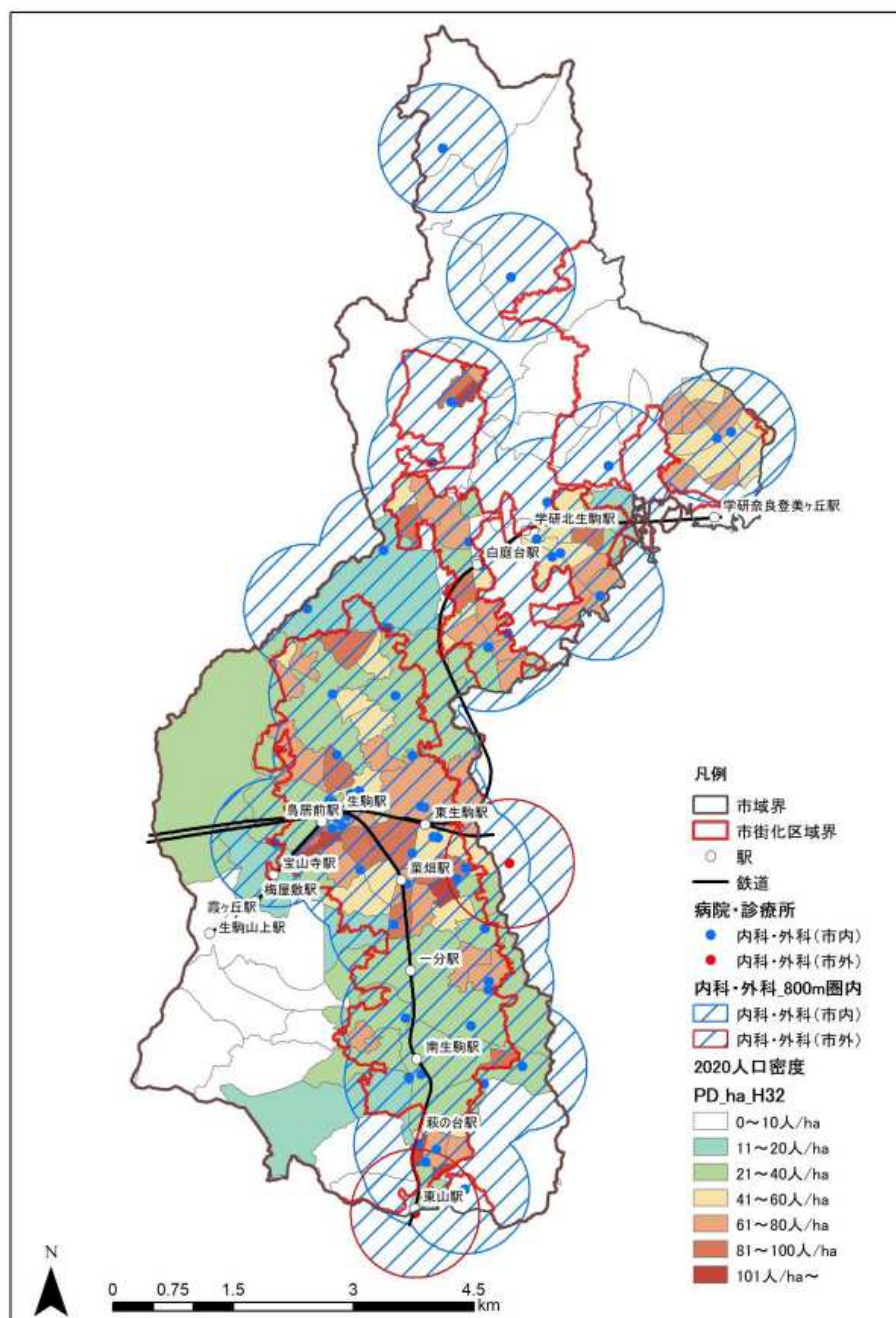


図 1-15 医療施設の分布状況

出典：国土交通省「国土数値情報」

※生駒市都市計画審議会都市計画マスタープラン策定検討部会 第2回資料より抜粋

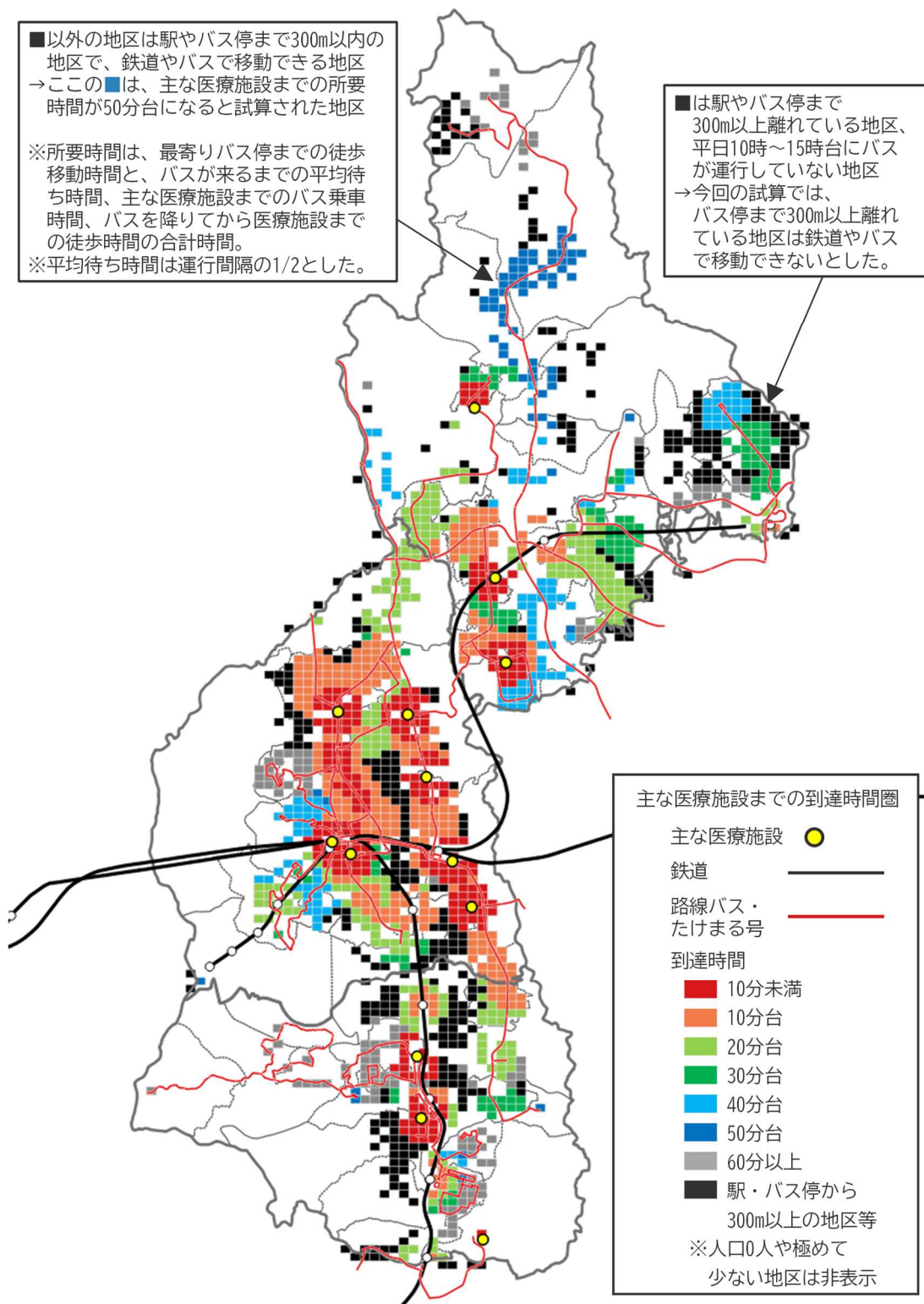


図 1-16 主な医療施設への到達時間圏（鉄道とバスによるアクセス）

出典：令和2年時点の鉄道・バス時刻表(平日10時～15時台)をもとに算出

※到達時間圏は、住宅地から目的地までの公共交通で移動した場合の所要時間を図示したものです。
公共交通の所要時間には、バス停や目的地までの徒歩時間、公共交通での移動時間、公共交通が到着するまでの待ち時間の合計時間です。

(2) 商業施設（大規模小売店舗、小規模スーパー）の分布

- ・ 商業施設は、概ね充足していますが、ロードサイド型スーパーが多いため、マイカーを保有していない方にとってはやや利便性が劣ります。
- ・ ひかりが丘、あすか野など、大規模住宅地で買い物需要が多いにもかかわらず、カバーされていない地域もあります。
- ・ 主な商業施設へ公共交通を使ったアクセスとしては、大半の地域で概ね 60 分で到着できる状況にありますが、南部地域等では公共交通でアクセスできない地域もあります。

※主な商業施設：住民アンケート調査で、通院先として回答の多かった施設を採用

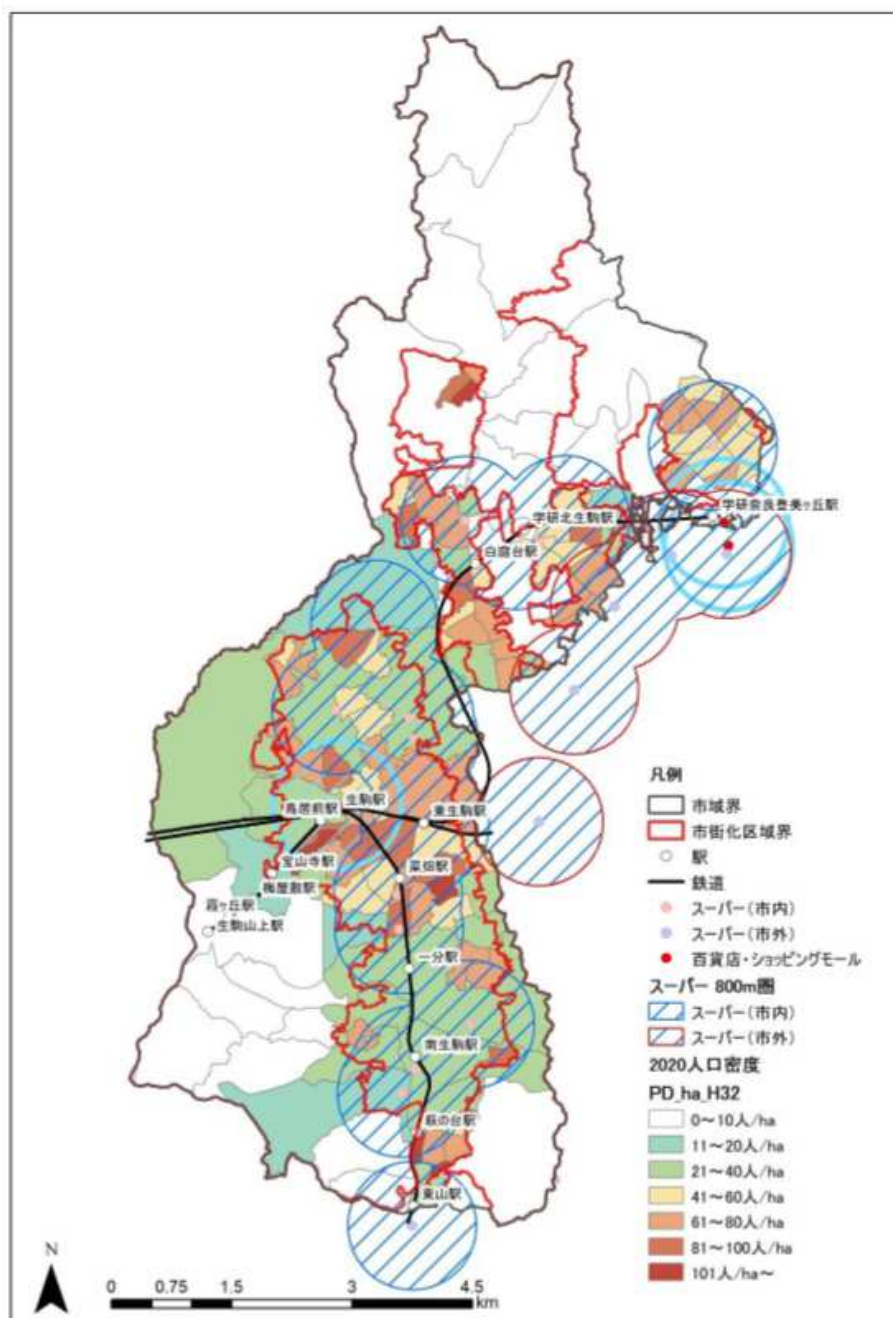


図 1-17 商業施設の分布状況 (H27)

出典：(C)2015 INCREMENT P CORP. (C)2015 PASCO CORPORATION.

※生駒市都市計画審議会都市計画マスタープラン策定検討部会 第2回資料より抜粋

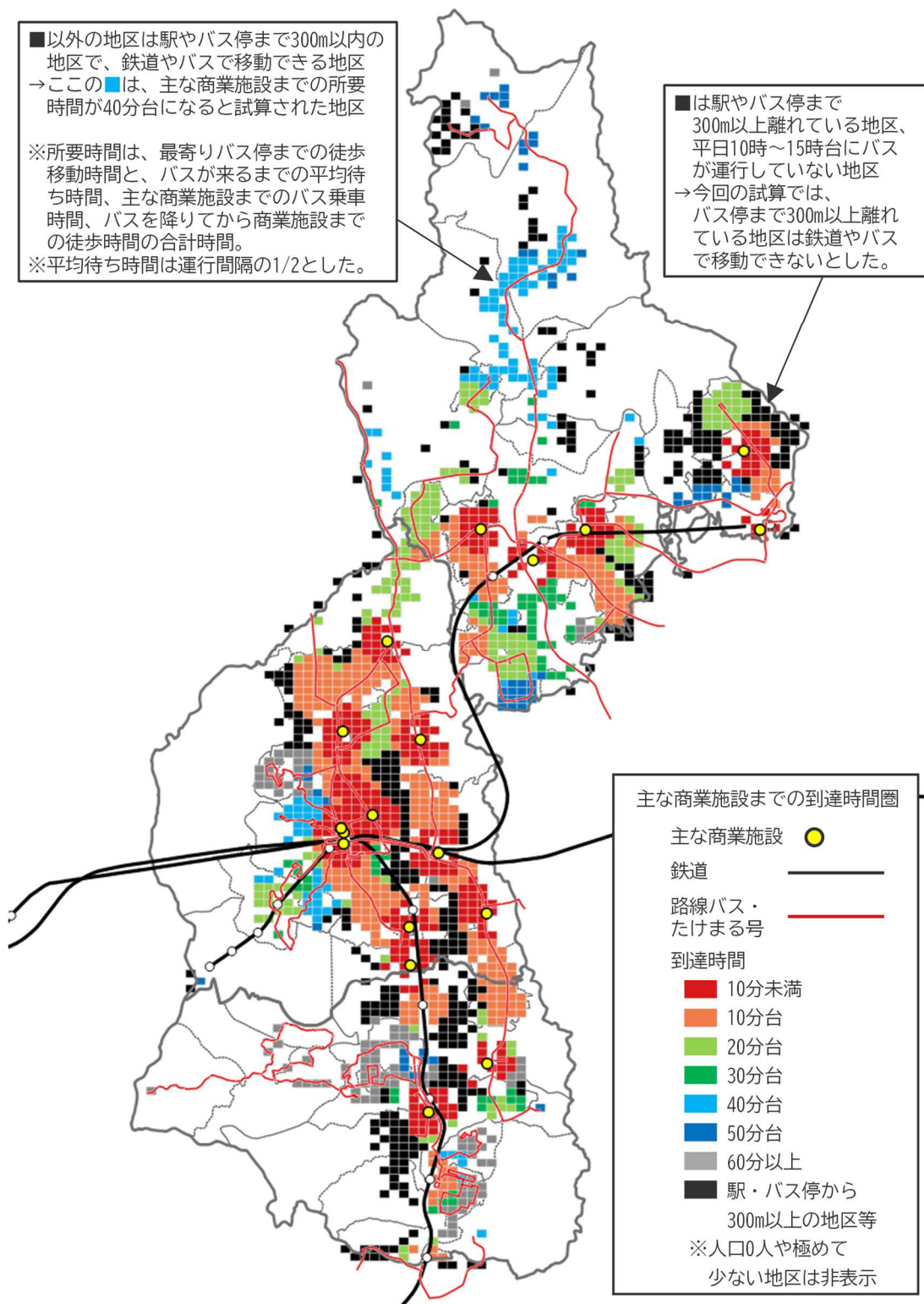


図 1-18 主な商業施設への到達時間圏（鉄道とバスによるアクセス）

出典：令和2年時点の鉄道・バス時刻表(平日10時～15時台)をもとに算出

※到達時間圏は、住宅地から目的地までの公共交通で移動した場合の所要時間を図示したものです。
公共交通の所要時間には、バス停や目的地までの徒歩時間、公共交通での移動時間、公共交通が到着するまでの待ち時間の合計時間です。

1.5. 運転免許保有状況

- ・ 奈良県内の高齢者免許返納数は増加傾向にあるものの、高齢者免許保有率は増加傾向にあります。
- ・ 生駒市の高齢者の免許保有率は、平成 27 年から増加傾向が続いており、75 歳以上の保有率は 30.0%から 35.5%に増加しました。また、性別年齢別の運転免許保有率は、平成 22 年時点と比較して、60 歳以上での保有率は男女とも増加しており、特に女性の 65～79 歳で増加しています。

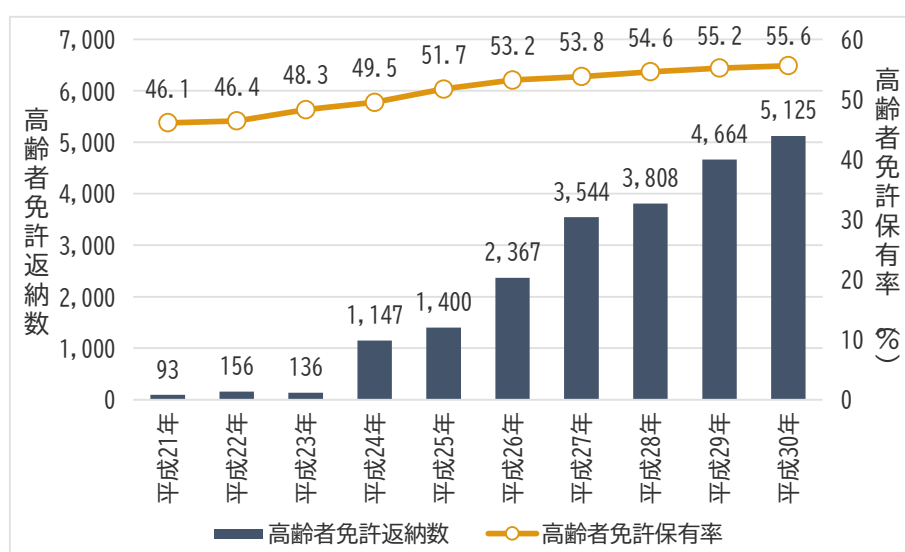


図 1-19 高齢運転者の運転免許返納数と免許保有率（奈良県内）

出典：奈良県警「高齢運転者の交通事故特徴」より作成

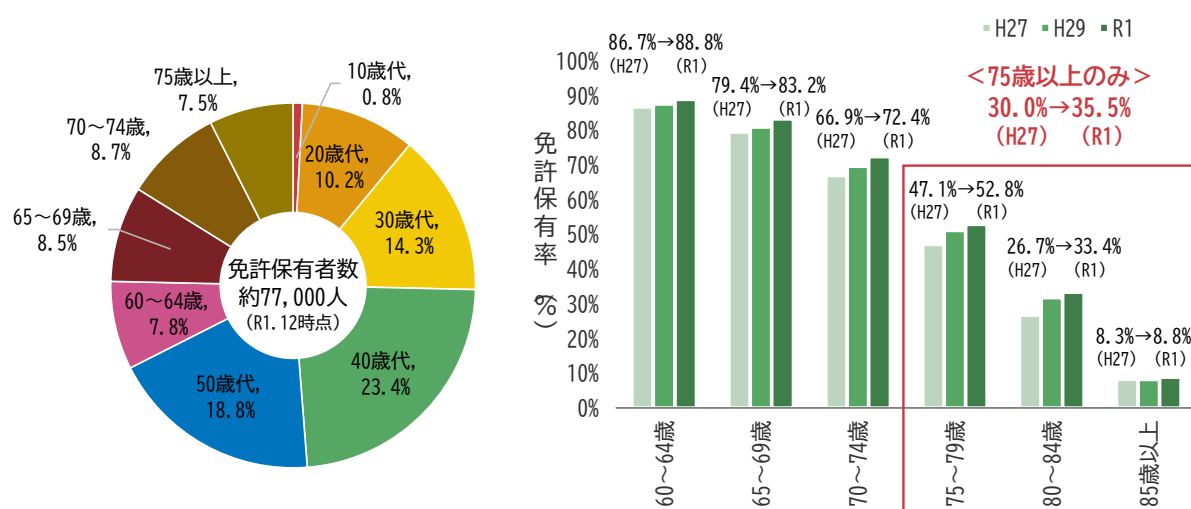


図 1-20 免許保有者の年齢別割合と高齢者の 5 歳階級別運転免許保有率（生駒市内）

出典：生駒警察署提供データより作成

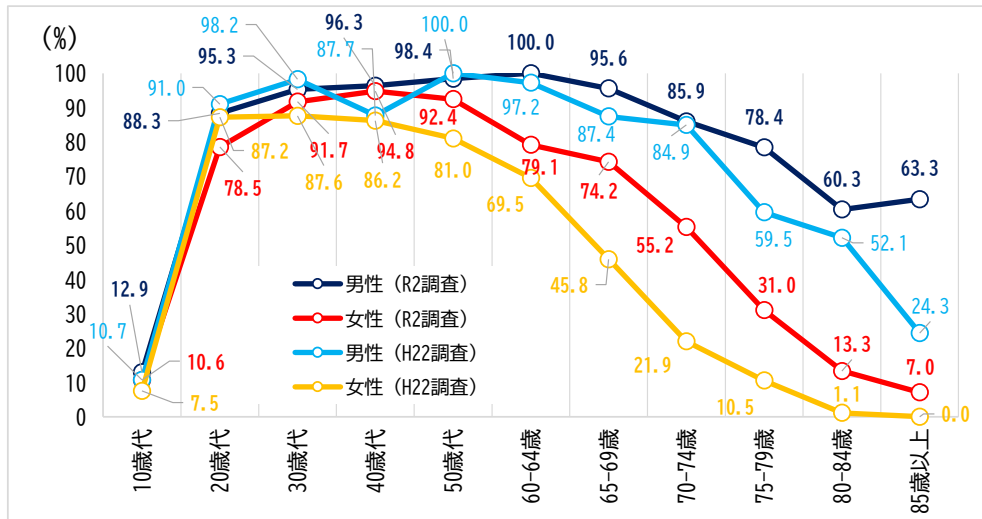


図 1-21 性別年齢別運転免許保有率（生駒市内）

出典：平成 22 年度及び令和 2 年度住民アンケート調査結果（生駒市）

- ・ 生駒市内（生駒署管内）の事故発生件数（人身＋物件）は、2,500 件前後で推移しており、やや減少傾向にあります。
- ・ ただし、そのうち高齢者が関連する事故（事故の第 1 当事者・第 2 当事者が高齢者）の割合は、31.6%から 34.5%に増加しており、高齢者の安全安心に繋がる取り組みが必要となってきています。

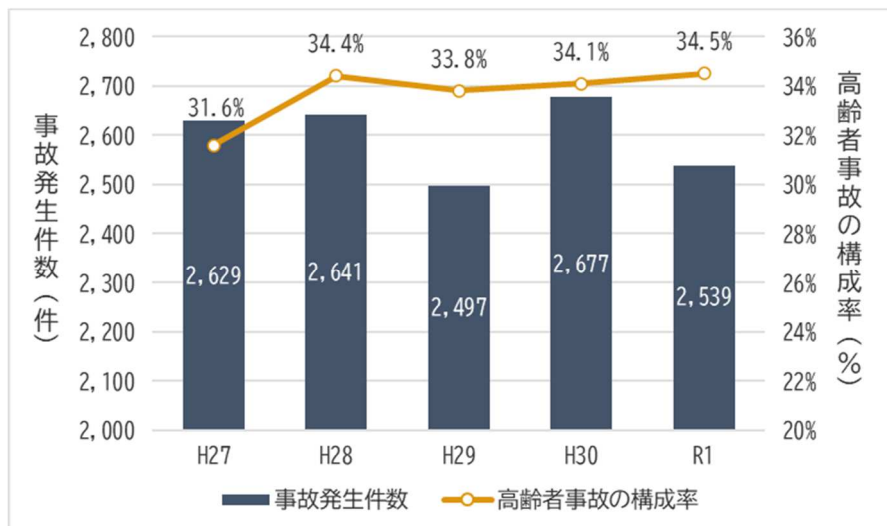


図 1-22 交通事故発生件数と高齢者事故の構成率の推移（生駒市内）

出典：生駒警察署提供データより作成（物件事故件数は概算値）

1.6. 観光・交流

- ・ 生駒市には、江戸時代に創建された生駒聖天・宝山寺、市内唯一の国宝建造物である長弓寺本堂、伝統行事の火祭りが県の無形民俗文化財に指定されている往馬大社など、寺社仏閣、史跡などの文化財を豊富に有しています。また生駒山には、家族で楽しめる生駒山麓公園や生駒山上遊園地などのレジャー施設もあります。
- ・ 観光客数は、宝山寺とくろんど池は減少傾向にありますが、生駒山上はほぼ横ばい傾向にあります。

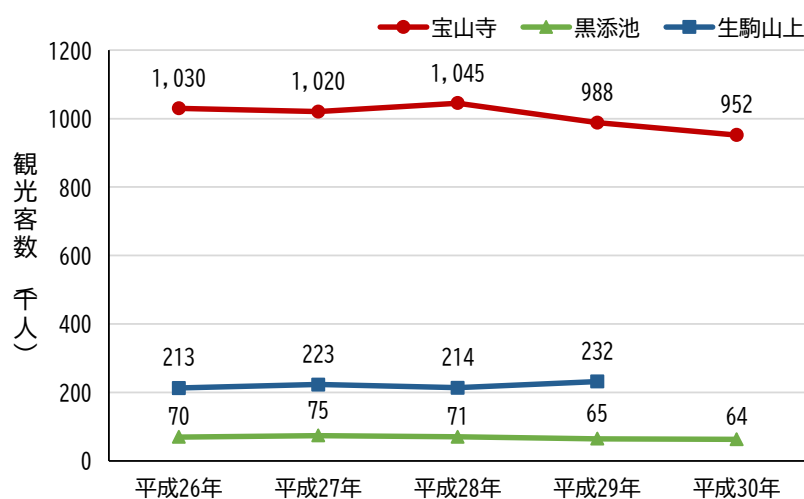


図 1-23 宝山寺、くろんど池、生駒山上の観光客数の推移

出典：生駒市統計書

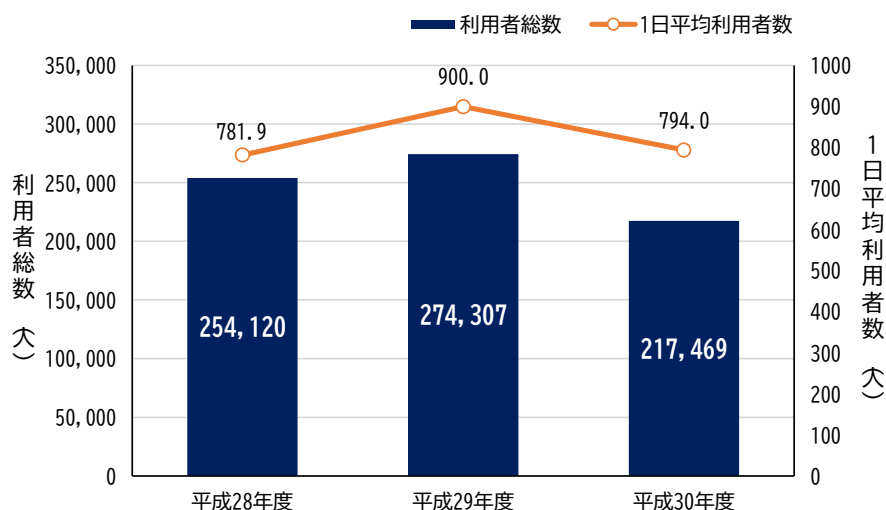


図 1-24 生駒山麓公園及び生駒山麓ふれあいセンターの利用状況

出典：生駒市統計書

2. 住民アンケート調査結果

2.1. 実施概要

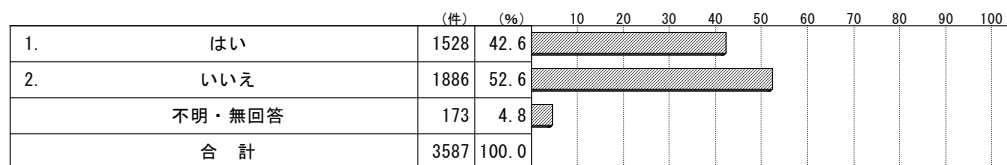
調査目的	公共交通の利用状況や公共交通の満足度・改善ニーズ等、公共交通に重点を置いた行動実態や現状評価等の把握
調査方法	住民基本台帳から無作為抽出した市民に対して、アンケート調査票を郵送配布・郵送回収（WEB 回答可能） ※世帯数の少ない地域では、全戸郵送配布を実施
調査時期	令和 2 年 8 月 6 日～8 月 23 日
配布部数	4,700 世帯（1 世帯あたり 3 通封入）
回収部数	2,031 世帯（郵送回収の世帯数） 4,043 票（WEB 回答含む）
回収率	43.2%（郵送回収世帯数ベース）

2.2. 回答結果

A. 普段の通勤・通学

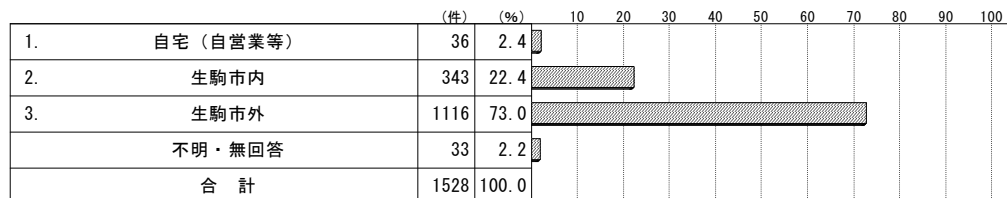
問1 通勤・通学の有無

- 「いいえ」が 1,886 件で 52.6%、「はい」が 1,528 件で 42.6%となっている。



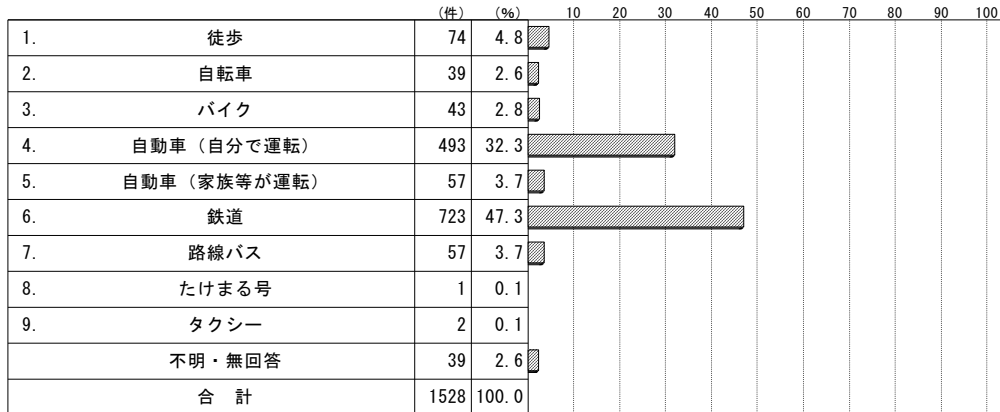
問1① 主な行き先

- 「生駒市外」が 1,116 件で 73.0%と最も多く、次いで「生駒市内」が 343 件で 22.4%、「自宅（自営業等）」が 36 件で 2.4%と続いている。



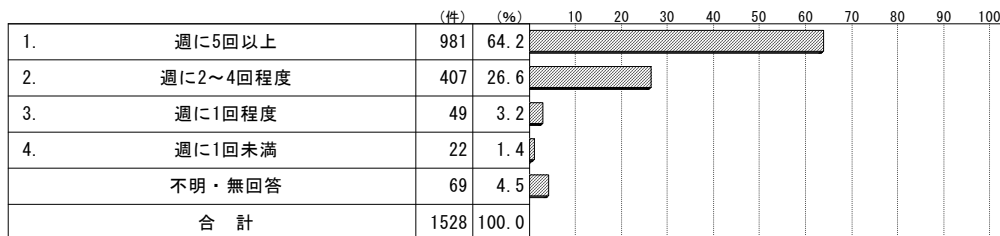
問1① 主な移動手段

- ・ 「鉄道」が723件で47.3%と最も多く、次いで「自動車（自分で運転）」が493件で32.3%、「徒歩」が74件で4.8%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「たけまる号」の1件で0.1%を占め、次いで「タクシー」が2件で0.1%となっている。



問1① 外出頻度

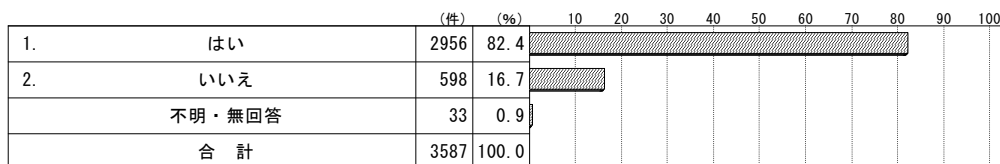
- ・ 「週に5回以上」が981件で64.2%と最も多く、次いで「週に2～4回程度」が407件で26.6%、さらに「週に1回程度」が49件で3.2%と続いている。「週に1回未満」は最も少なく22件で1.4%となっている。



B. 普段の食料品・日用品の買い物

問2 食料品・日用品の買い物の有無

- ・ 「はい」が2,956件で82.4%、「いいえ」が598件で16.7%となっている。



問2 副問 外出しない理由

- ・ 「同居する家族が買物に出かけるから」が510件で85.3%と最も多く、次いで「移動販売や宅配サービスを利用しているから」が36件で6.0%、「その他」が16件で2.7%と続いている。

	(件)	(%)	
1. 同居する家族が買物に出かけるから	510	85.3	
2. 移動販売や宅配サービスを利用しているから	36	6.0	
3. その他	16	2.7	
不明・無回答	36	6.0	
合 計	598	100.0	

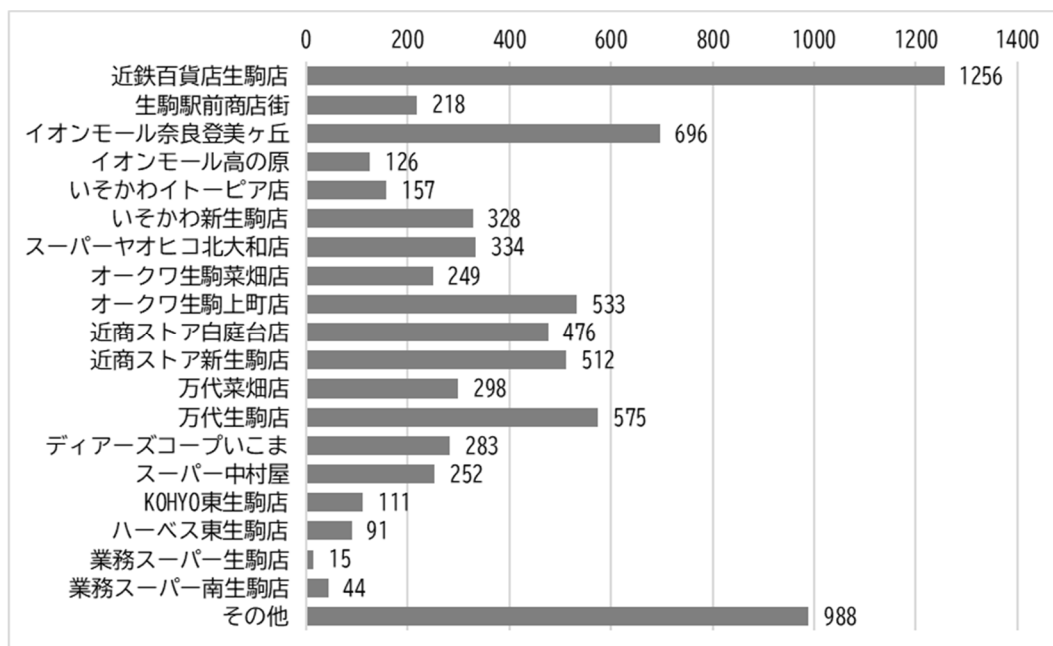
【その他】

- ・ その他の具体的な理由は、「外出するのが難しいから」「同居していない家族等が買物に出かけるから」等が多くなっている。

分類	その他の記載内容
外出するのが難しい	・ 一人で外出するのが難しい。(5件) ・ 体調不良(または病気)のため。(4件) ・ 特別養護老人ホームに入所している。
同居していない家族等が買い物に出かける	・ 近所に住む親族がしてくれる。(4件) ・ 家政婦に依頼する。
その他	・ 普段は別の土地で下宿暮らしのため。

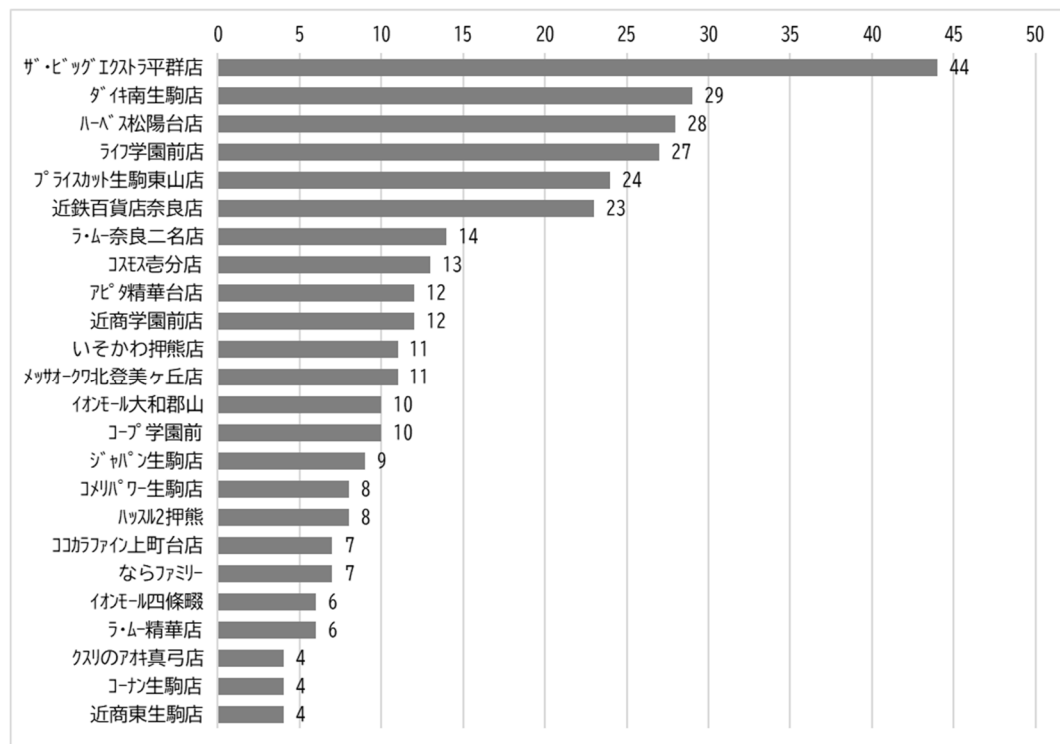
問2 主な行き先

- ・ 「近鉄百貨店生駒店」が1,256件で最も多く、次いで「その他」が988件、さらに「イオンモール奈良登美ヶ丘」が696件と続いている。



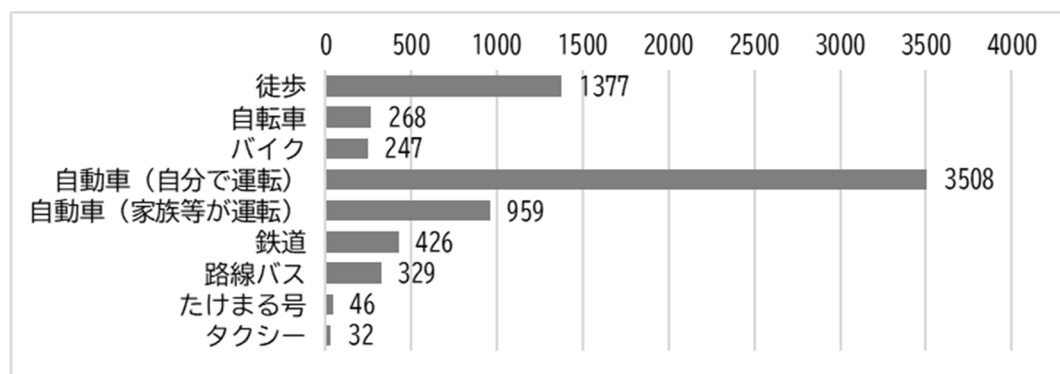
【その他】

- ・ その他の具体的な行き先は、「ザ・ビッグエクストラ平群店（平群町）」「ダイキ南生駒店」「ハーベス松陽台店（奈良市）」等が多くなっている。



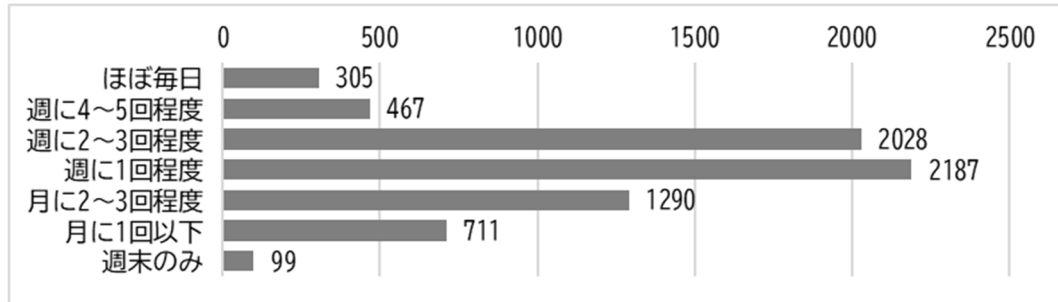
問2 主な移動手段

- ・ 「自動車（自分で運転）」が3,508件で最も多く、次いで「徒歩」が1,377件、「自動車（家族等が運転）」が959件と続いている。逆に最も少ない項目は「タクシー」の32件で、次いで「たけまる号」が46件となっている。



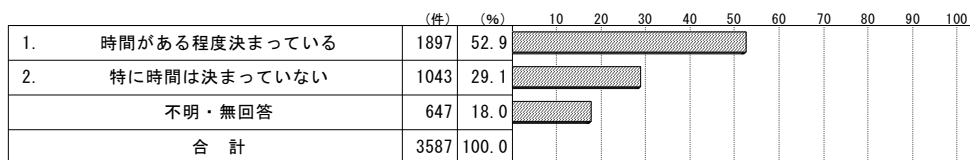
問2 外出頻度

- ・ 「週に1回程度」が2,187件で最も多く、次いで「週に2～3回程度」が2,028件、「月に2～3回程度」が1,290件と続いている。逆に最も少ない項目は「週末のみ」の99件で、次いで「ほぼ毎日」が305件となっている。



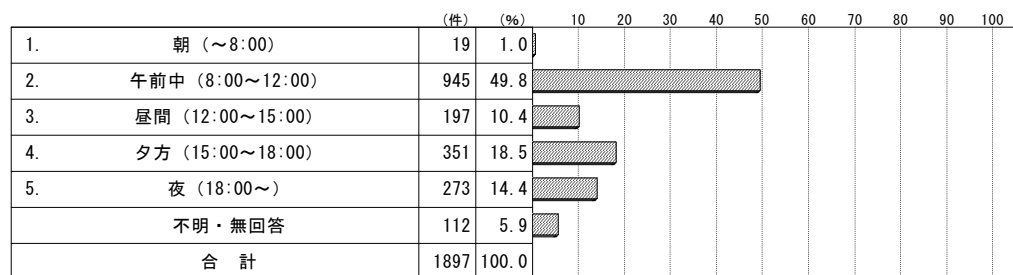
問3(1) よく行く店に普段到着している時間帯

- ・ 「時間がある程度決まっている」が1,897件で52.9%、「特に時間は決まっていない」が1,043件で29.1%となっている。



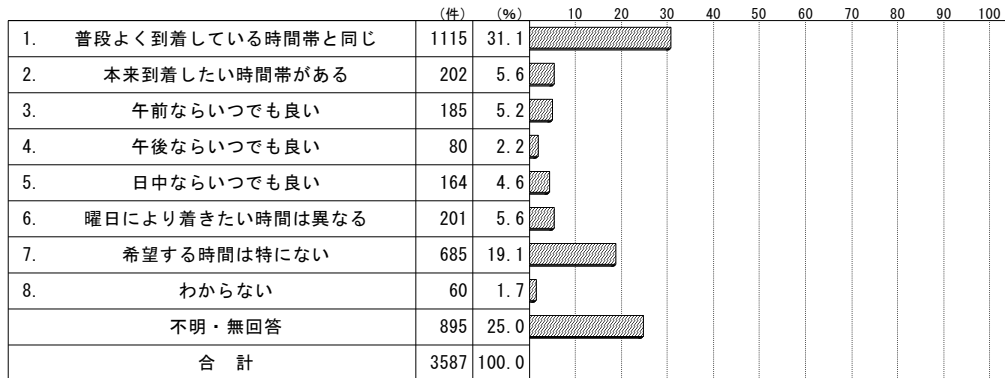
問3(1) よく行く店に普段到着している時間帯

- ・ 「午前中(8:00～12:00)」が945件で49.8%と最も多く、次いで「夕方(15:00～18:00)」が351件で18.5%、さらに「夜(18:00～)」が273件で14.4%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「朝(～8:00)」の19件であり1.0%となっている。



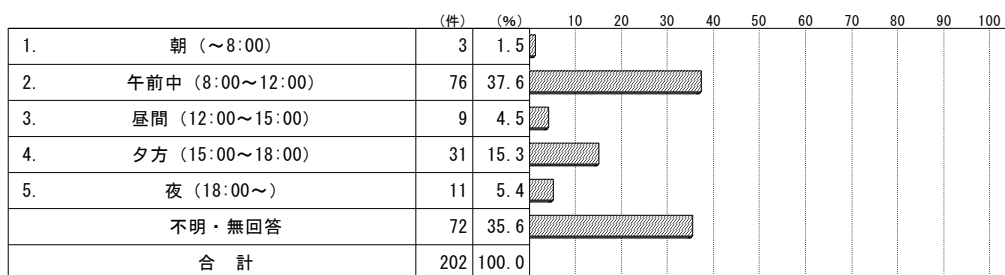
問3(2) よく行く店に本来到着したい時間帯

- ・ 「普段よく到着している時間帯と同じ」が1,115件で31.1%と最も多く、次いで「希望する時間は特にない」が685件で19.1%、「本来到着したい時間帯がある」が202件で5.6%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「わからない」の60件で1.7%を占め、次いで「午後ならいつでも良い」が80件で2.2%となっている。



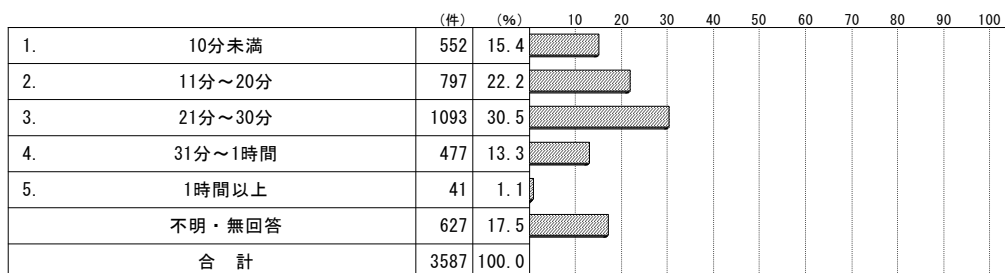
問3(2) よく行く店に本来到着したい時間帯

- ・ 「午前中(8:00~12:00)」が76件で37.6%と最も多く、次いで「夕方(15:00~18:00)」が31件で15.3%、さらに「夜(18:00~)」が11件で5.4%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「朝(～8:00)」の3件であり1.5%となっている。



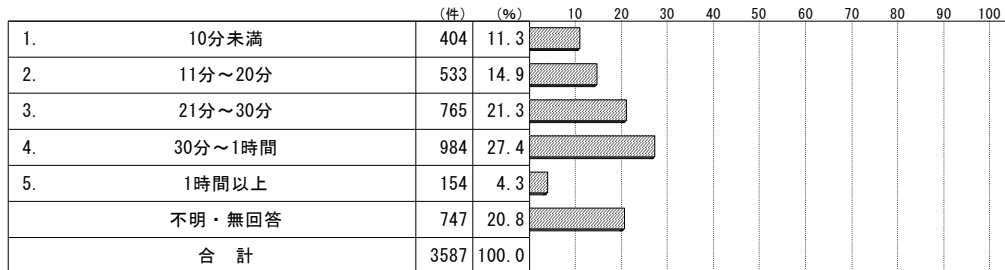
問4 よく行く店で買物をするのに少なくとも必要な時間

- ・ 「21分～30分」が1,093件で30.5%と最も多く、次いで「11分～20分」が797件で22.2%、さらに「10分未満」が552件で15.4%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「1時間以上」の41件であり1.1%となっている。



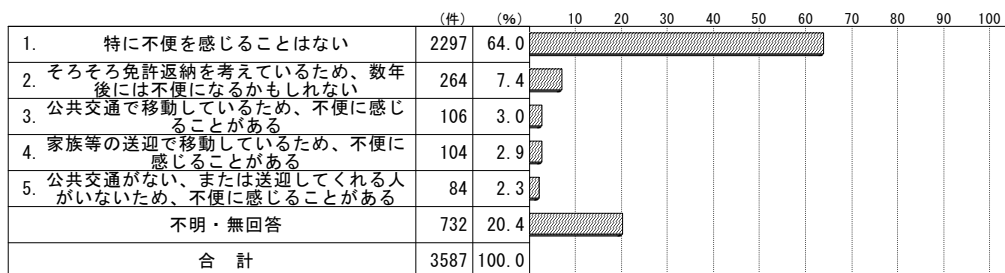
問4 よく行く店で買物をするのに落ち着いて買物ができる時間

- ・ 「30分～1時間」が984件で27.4%と最も多く、次いで「21分～30分」が765件で21.3%、さらに「11分～20分」が533件で14.9%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「1時間以上」の154件であり4.3%となっている。



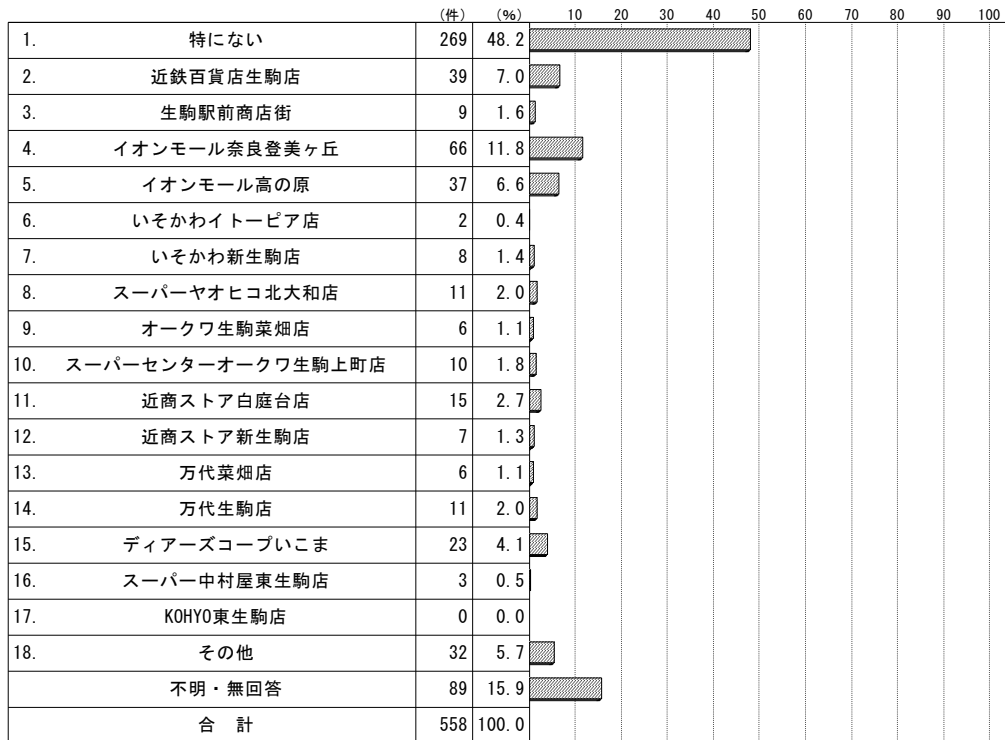
問5 よく行く店までの移動手段で不便を感じること

- ・ 「特に不便を感じることはない」が2,297件で64.0%と最も多く、次いで「そろそろ免許返納を考えているため、数年後には不便になるかもしれない」が264件で7.4%、さらに「公共交通で移動しているため、不便に感じることがある」が106件で3.0%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「公共交通がない、または送迎してくれる人がいないため、不便に感じることがある」の84件であり2.3%となっている。



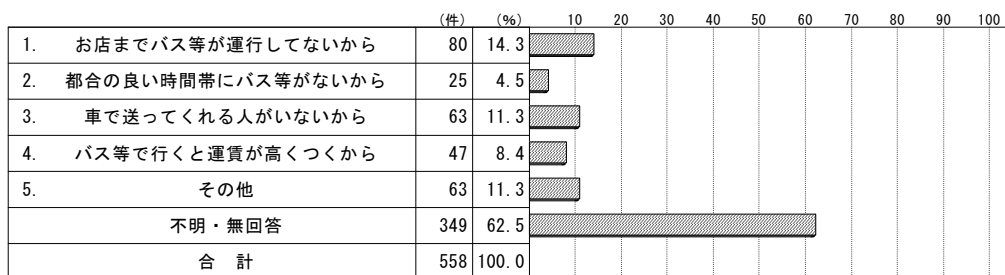
問6 本当は行きたいけれど行くことができない店

- ・ 比率の高い項目の上位3位をみると、まず、「特にない」が269件で48.2%と最も多く、次いで「イオンモール奈良登美ヶ丘」が66件で11.8%、さらに「近鉄百貨店生駒店」が39件で7.0%と続いている。



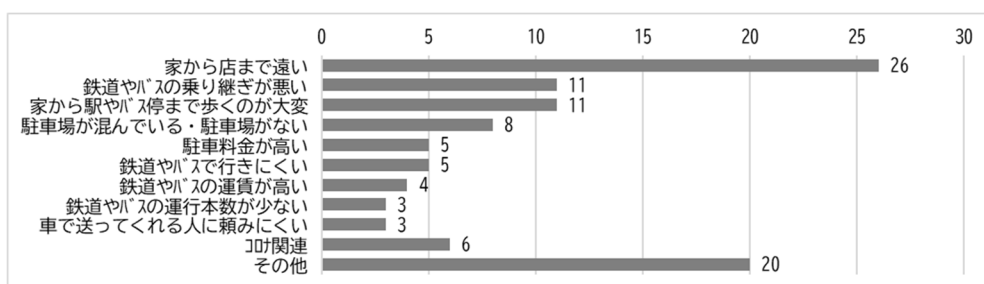
問6 店に行くことができない理由

- ・ 「お店までバス等が運行してないから」が80件で14.3%と最も多く、次いで「車で送ってくれる人がいないから」「その他」が63件の11.3%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「都合の良い時間帯にバス等がないから」の25件であり4.5%となっている。



【その他】

- ・ その他の具体的な理由は、「家から店までが遠いから」「鉄道やバスの乗り継ぎが悪いから」「家から駅やバス停まで歩くのが大変だから」等が多くなっている。



C. 定期的な通院

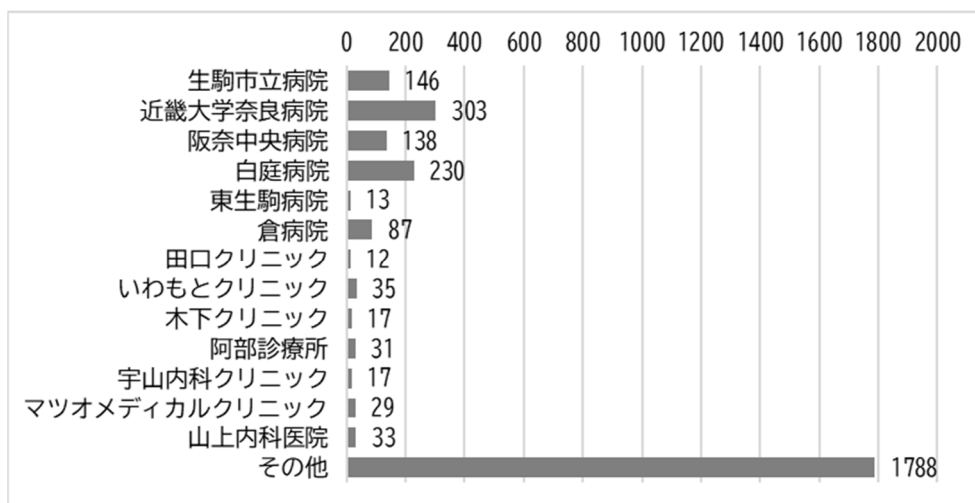
問7 通院の有無

- 「はい」が2,127件で59.3%、「いいえ」が1,399件で39.0%となっている。

	(件)	(%)	
1. はい	2127	59.3	
2. いいえ	1399	39.0	
不明・無回答	61	1.7	
合 計	3587	100.0	

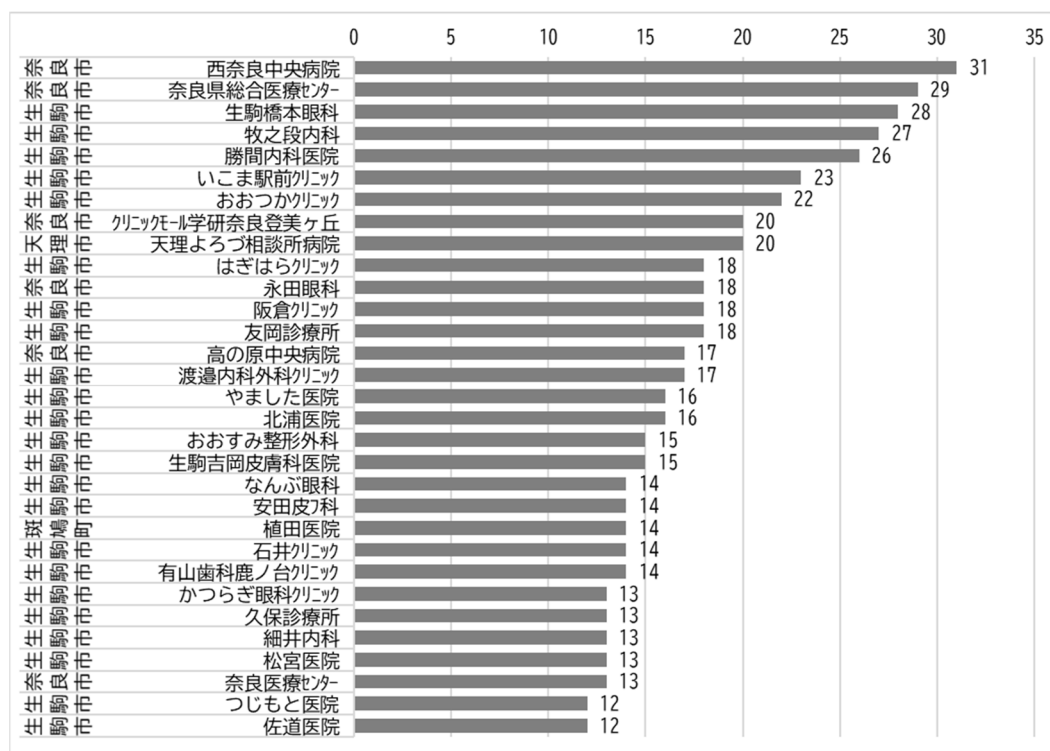
問7 主な行き先

- 「その他」が1,788件で最も多く、次いで「近畿大学奈良病院」が303件、「白庭病院」が230件と続いている。



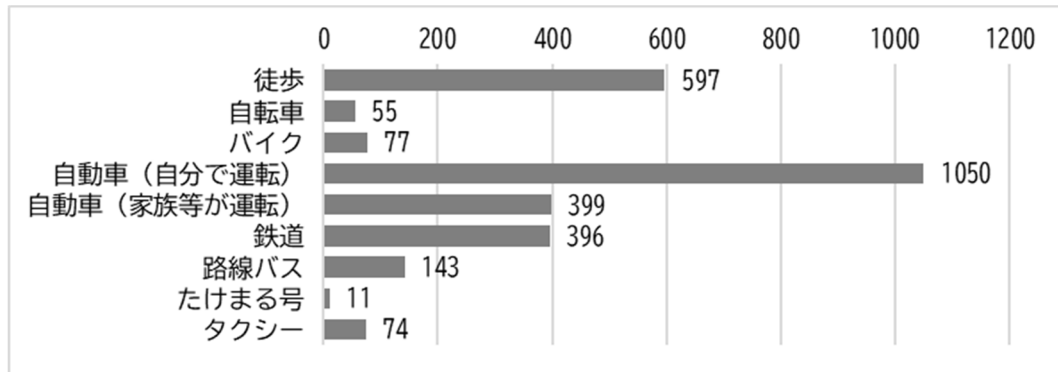
【その他】

- その他の具体的な行き先は、「西奈良中央病院（奈良市）」「奈良県総合医療センター（奈良市）」「生駒橋本眼科」等が多くなっている。



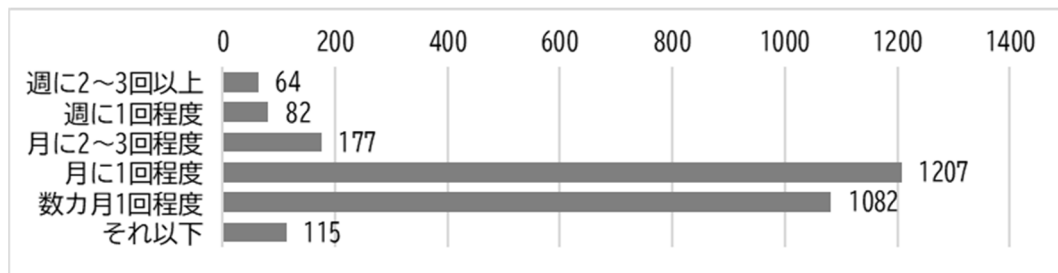
問7 主な移動手段

- ・ 「自動車（自分で運転）」が1,050件で最も多く、次いで「徒歩」が597件、「自動車（家族等が運転）」が399件と続いている。逆に最も少ない項目は「たけまる号」の11件で、次いで「自転車」が55件となっている。



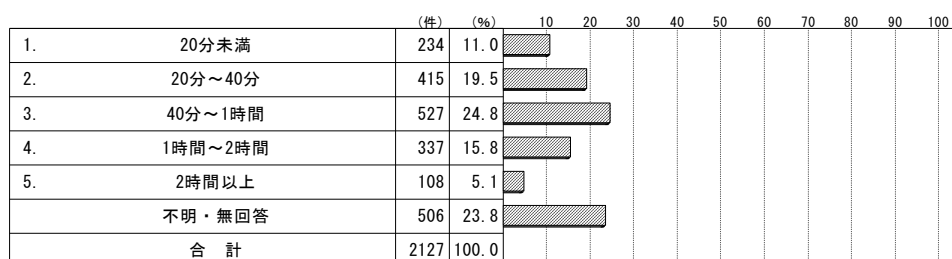
問7 外出頻度

- ・ 「月に1回程度」が1,207件で最も多く、次いで「数カ月1回程度」が1,082件、「月に2～3回程度」が177件と続いている。逆に最も少ない項目は「週に2～3回以上」の64件で、次いで「週に1回程度」が82件となっている。



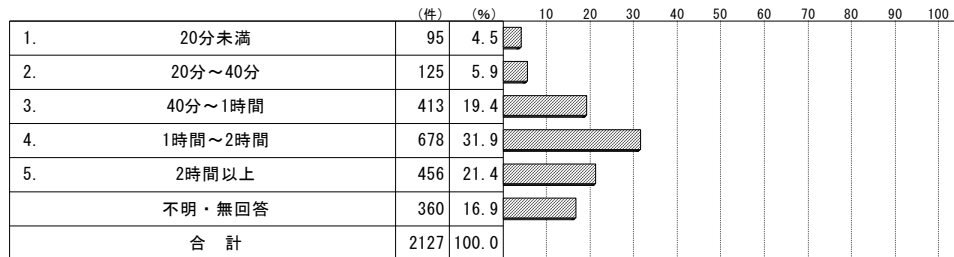
問8 よく利用する医療機関で診療を受けるのに必要な時間（早いとき）

- ・ 「40分～1時間」が527件で24.8%と最も多く、次いで「20分～40分」が415件で19.5%、さらに「1時間～2時間」が337件で15.8%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「2時間以上」の108件であり5.1%となっている。



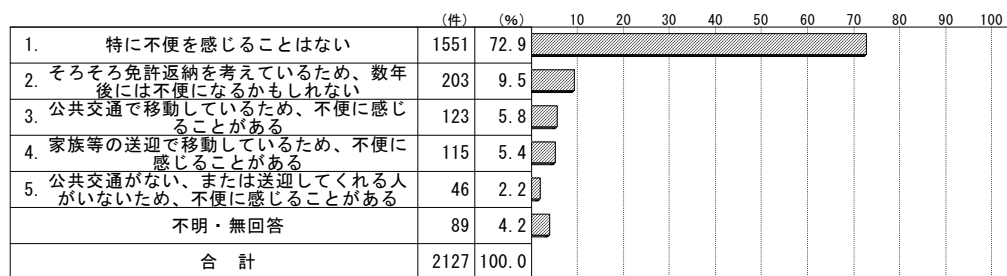
問8 よく利用する医療機関で診療を受けるのに必要な時間（長いとき）

- 「1 時間～2 時間」が 678 件で 31.9%と最も多く、次いで「2 時間以上」が 456 件で 21.4%、さらに「40 分～1 時間」が 413 件で 19.4%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「20 分未満」の 95 件であり 4.5%となっている。



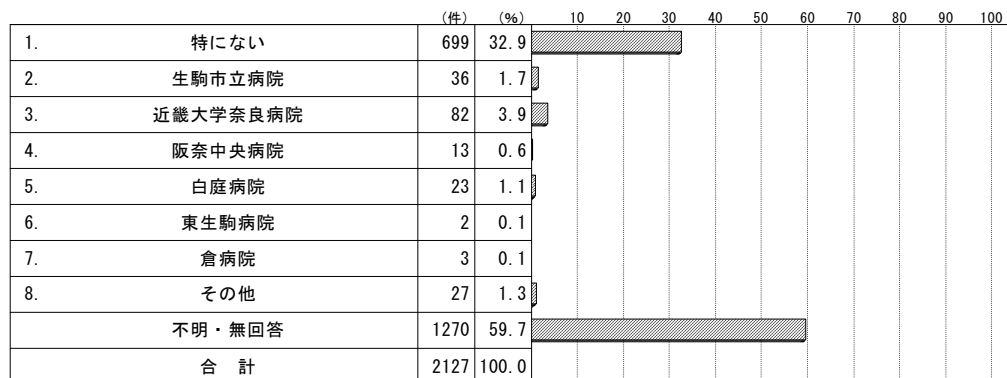
問9 医療機関までの移動手段で不便を感じること

- 「特に不便を感じることはない」が 1,551 件で 72.9%と最も多く、次いで「そろそろ免許返納を考えているため、数年後には不便になるかもしれない」が 203 件で 9.5%、さらに「公共交通で移動しているため、不便に感じることがある」が 123 件で 5.8%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「公共交通がない、または送迎してくれる人がいないため、不便に感じることがある」の 46 件であり 2.2%となっている。



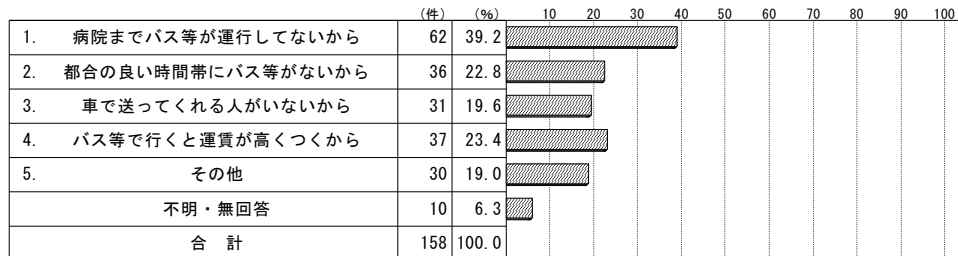
問10 本当は通院したいけれど通院しにくい医療機関

- 「特にない」が 699 件で 32.9%と最も多く、次いで「近畿大学奈良病院」が 82 件で 3.9%、「生駒市立病院」が 36 件で 1.7%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「東生駒病院」の 2 件で 0.1%を占め、次いで「倉病院」が 3 件で 0.1%となっている。



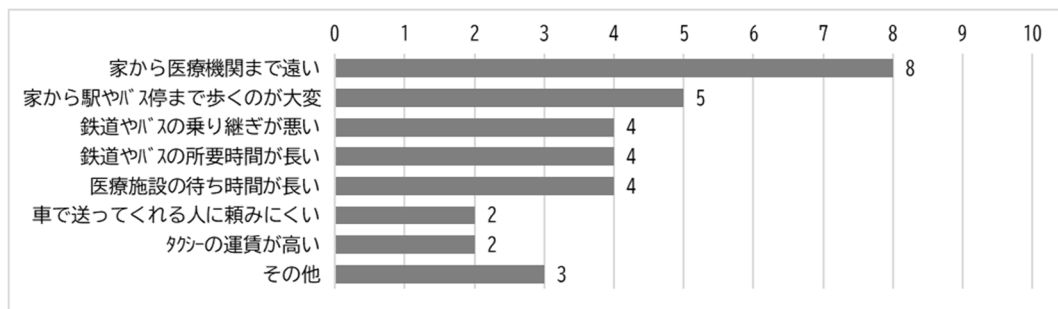
問 10 医療機関に行くことが不便な理由

- ・ 「病院までバス等が運行してないから」が62件で39.2%と最も多く、次いで「バス等で行くと運賃が高くつくから」が37件の23.4%、さらに「都合の良い時間帯にバス等がないから」が36件の22.8%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「その他」の30件であり19.0%となっている。



【その他】

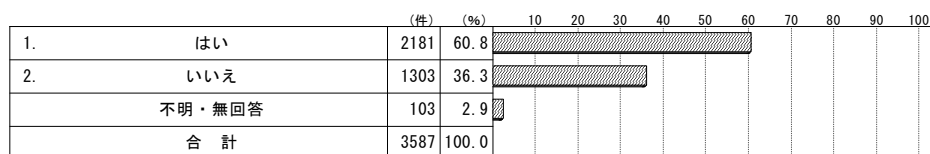
- ・ その他の具体的な理由は、「家から医療機関までが遠いから」「家から駅やバス停まで歩くのが大変だから」等が多くなっている。



D. 公共施設利用やその他の外出

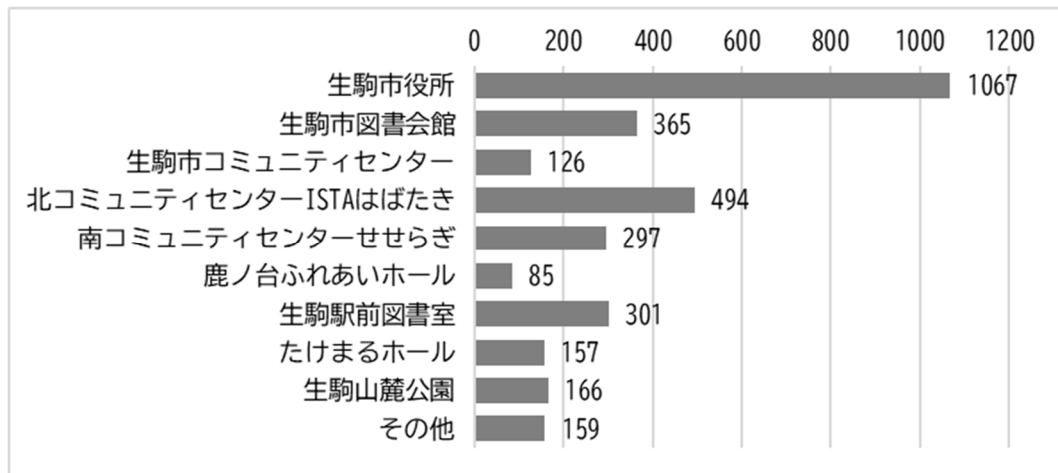
問 11 公共施設の利用の有無

- ・ 「はい」が2,181件で60.8%、「いいえ」が1,303件で36.3%となっている。



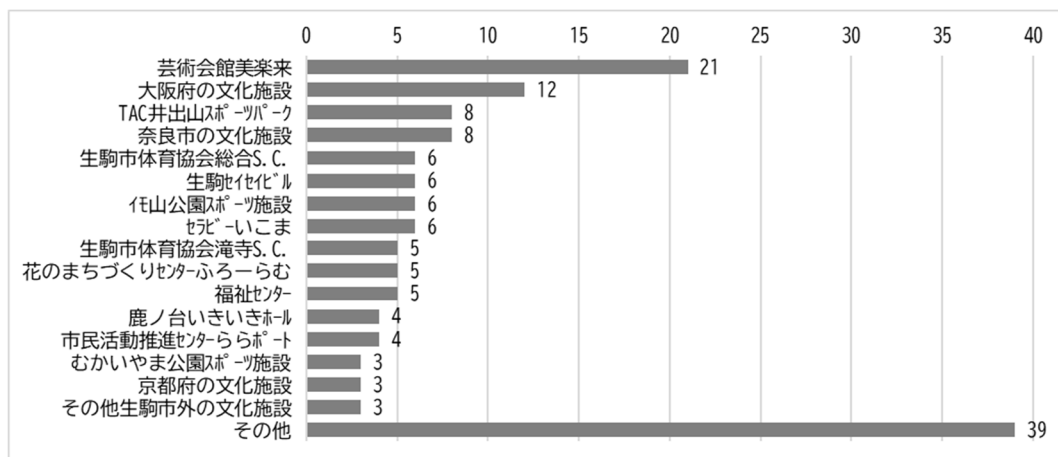
問 11 主な行き先

- ・ 「生駒市役所」が1,067件で最も多く、次いで「北コミュニティセンターISTAはばたき」が494件、「生駒市図書館」が365件続いている。



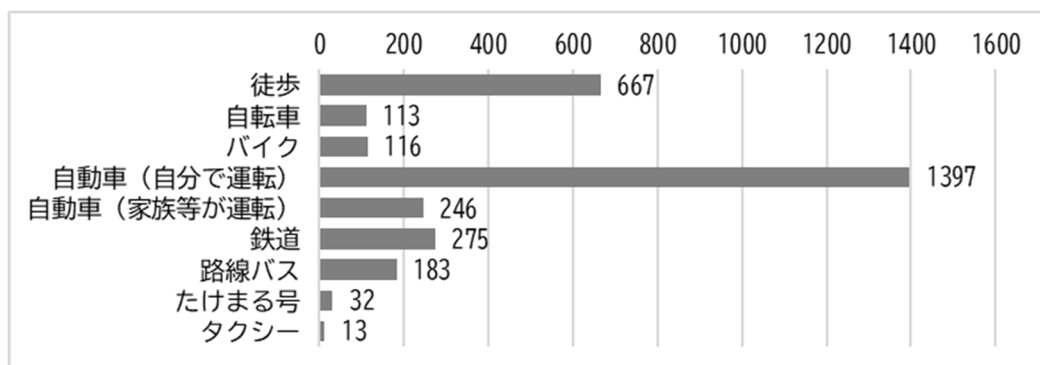
【その他】

- ・ その他の具体的な行き先は、「芸術会館美楽来」「大阪府の文化施設」「TAC 井出山スポーツパーク」「奈良市の文化施設」等が多くなっている。



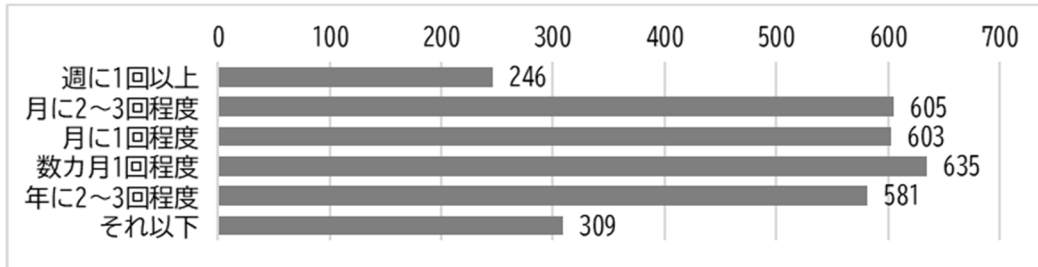
問 11 主な移動手段

- ・ 「自動車（自分で運転）」が1,397件で最も多く、次いで「徒歩」が667件、「鉄道」が275件と続いている。逆に最も少ない項目は「タクシー」の13件で、次いで「たけまる号」が32件となっている。



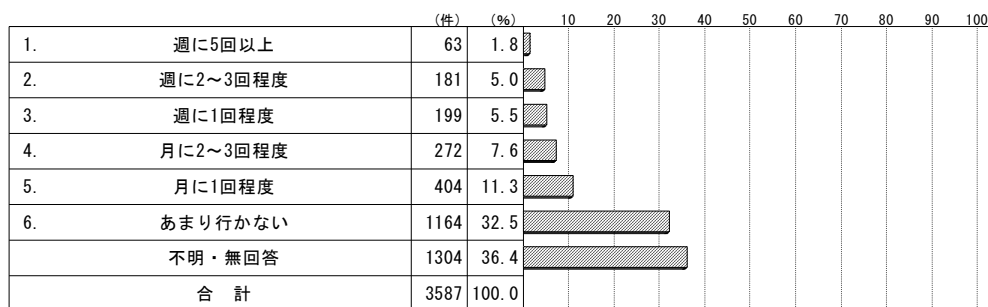
問 11 外出頻度

- ・ 「数カ月1回程度」が635件で最も多く、次いで「月に2～3回程度」が605件、「月に1回程度」が603件と続いている。逆に最も少ない項目は「週に1回以上」の246件で、次いで「それ以下」が309件となっている。



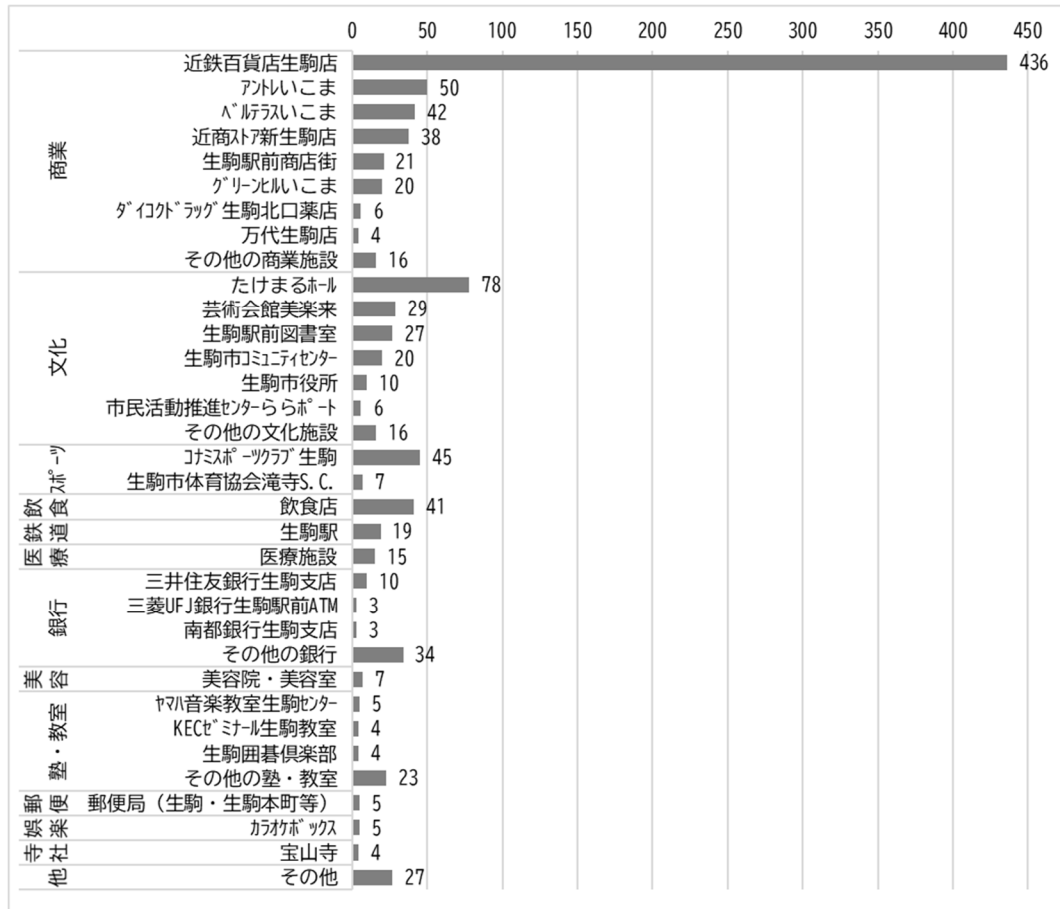
問 12 生駒駅周辺への来訪頻度（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

- ・ 「あまり行かない」が1,164件で32.5%と最も多く、次いで「月に1回程度」が404件で11.3%、「月に2～3回程度」が272件で7.6%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「週に5回以上」の63件で1.8%を占め、次いで「週に2～3回程度」が181件で5.0%となっている。



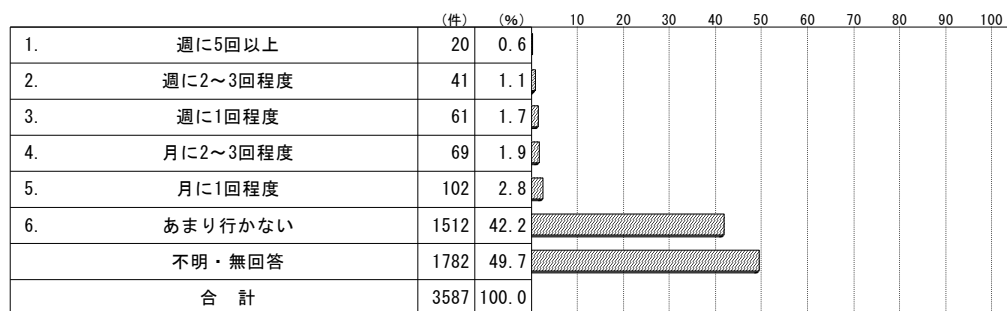
問 12 生駒駅周辺への主な行き先（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

- ・ 「近鉄百貨店生駒店」が436件で39.0%と最も多く、次いで「たけまるホール」が78件で7.0%、「アントレいこま」が50件で4.5%と続いている。



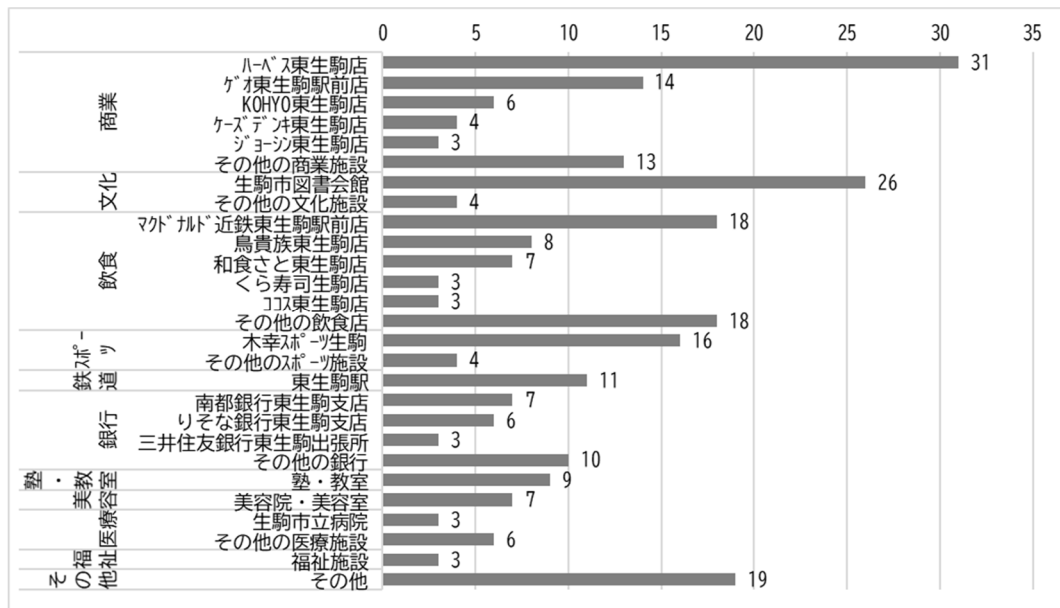
問 12 東生駒駅周辺への来訪頻度（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

- ・ 「あまり行かない」が1,512件で42.2%と最も多く、次いで「月に1回程度」が102件で2.8%、「月に2～3回程度」が69件で1.9%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「週に5回以上」の20件で0.6%を占め、次いで「週に2～3回程度」が41件で1.1%となっている。



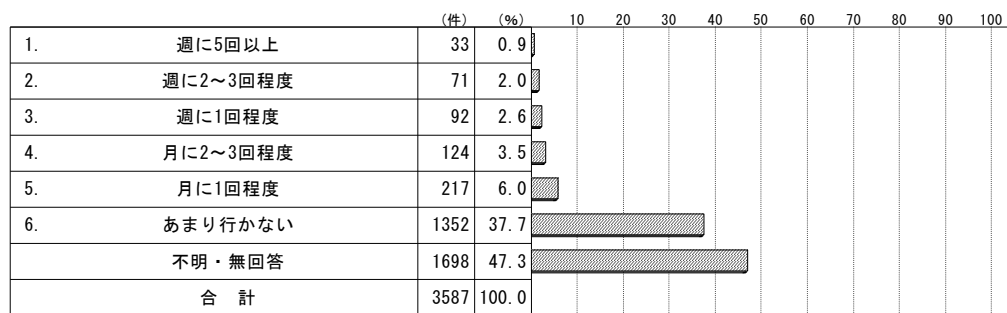
問 12 東生駒駅周辺への主な行き先（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

- ・ 「ハーバース東生駒店」が31件で10.6%と最も多く、次いで「生駒市図書館」が26件で8.9%、「マクドナルド近鉄東生駒駅前店」が18件で6.1%と続いている。



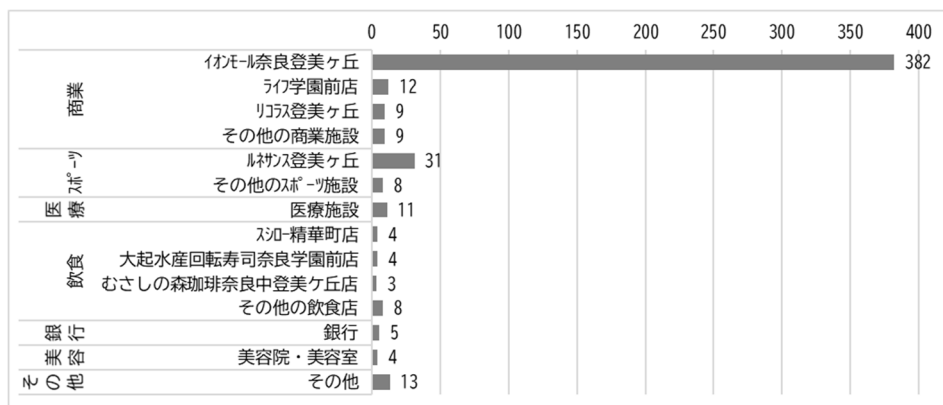
問 12 学研奈良登美ヶ丘駅周辺の来訪頻度（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

- ・ 「あまり行かない」が1,352件で37.7%と最も多く、次いで「月に1回程度」が217件で6.0%、「月に2～3回程度」が124件で3.5%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「週に5回以上」の33件で0.9%を占め、次いで「週に2～3回程度」が71件で2.0%となっている。



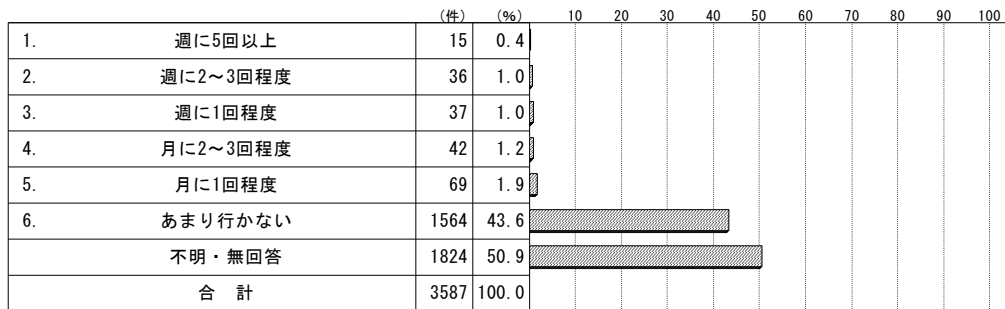
問 12 学研奈良登美ヶ丘駅周辺の主な行き先（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

- ・ 「イオンモール奈良登美ヶ丘」が382件で71.1%と最も多く、次いで「ルネサンス登美ヶ丘」が26件で4.8%、「ライフ学園前」が12件で2.2%と続いている。



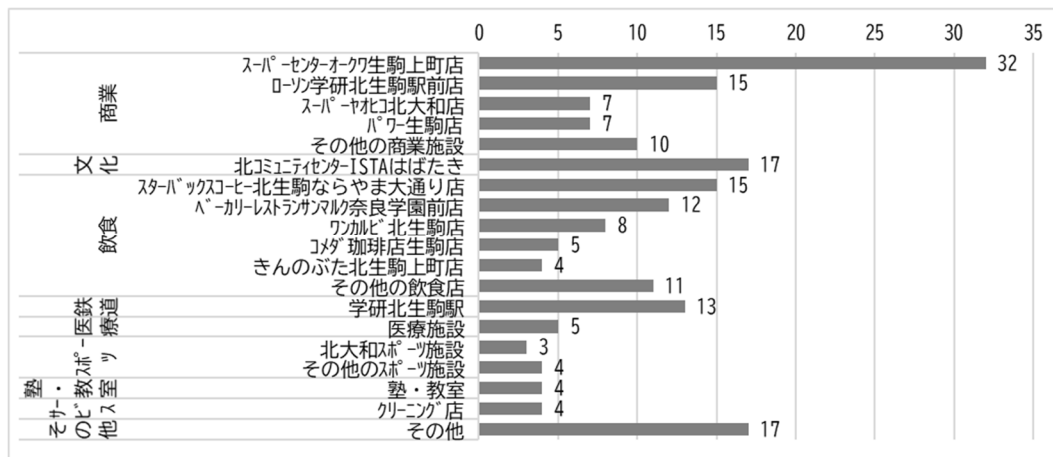
問 12 学研北生駒駅周辺への来訪頻度（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

- ・ 「あまり行かない」が1,564件で43.6%と最も多く、次いで「月に1回程度」が69件で1.9%、「月に2～3回程度」が42件で1.2%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「週に5回以上」の15件で0.4%を占め、次いで「週に2～3回程度」が36件で1.0%となっている。



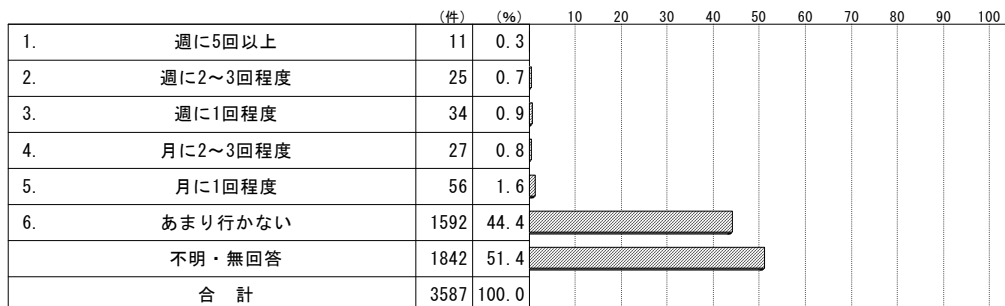
問 12 学研北生駒駅周辺への主な行き先（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

- ・ 「スーパーセンターオークワ生駒上町店」が32件で16.1%と最も多く、次いで「北コミュニティセンターISTAはばたき」が17件で8.5%、「ローソン学研北生駒駅前店」「スターバックスコーヒー北生駒ならやま大通り店」が15件で7.5%と続いている。



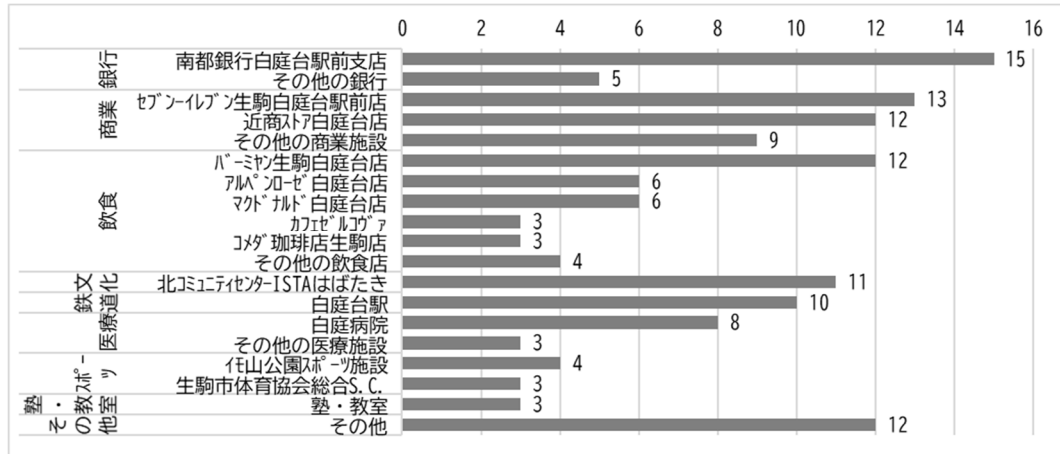
問 12 白庭台駅周辺への来訪頻度（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

- ・ 「あまり行かない」が1,592件で44.4%と最も多く、次いで「月に1回程度」が56件で1.6%、「週に1回程度」が34件で0.9%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「週に5回以上」の11件で0.3%を占め、次いで「週に2～3回程度」が25件で0.7%となっている。



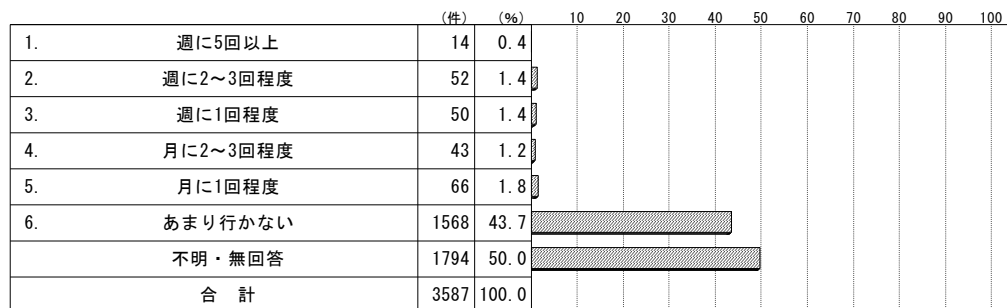
問 12 白庭台駅周辺への主な行き先（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

- ・ 「南都銀行白庭台駅前支店」が15件で9.8%と最も多く、次いで「セブン-イレブン生駒白庭台駅前店」が13件で8.5%、「近商ストア白庭台店」「バーミヤン生駒白庭台店」が12件で7.8%と続いている。



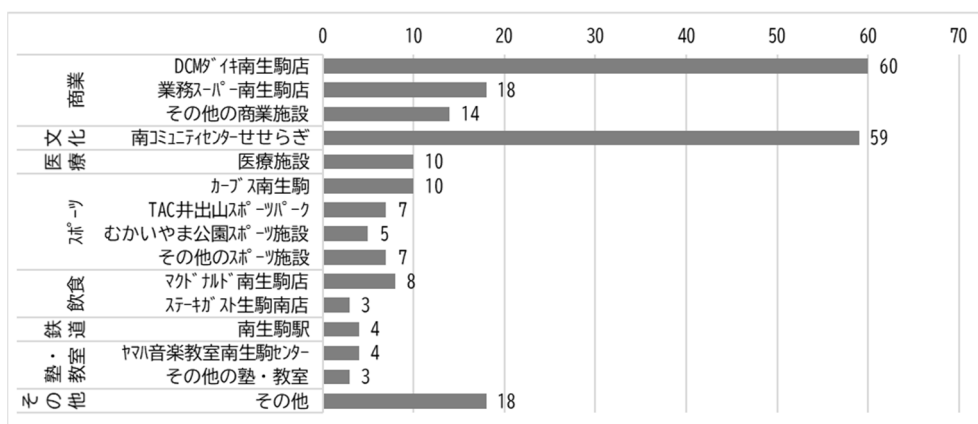
問 12 南生駒駅周辺への来訪頻度（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

- ・ 「あまり行かない」が1,568件で43.7%と最も多く、次いで「月に1回程度」が66件で1.8%、「週に2～3回程度」が52件で1.4%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「週に5回以上」の14件で0.4%を占め、次いで「月に2～3回程度」が43件で1.2%となっている。



問 12 南生駒駅周辺への主な行き先（趣味・習い事や食事、レジャーなど）

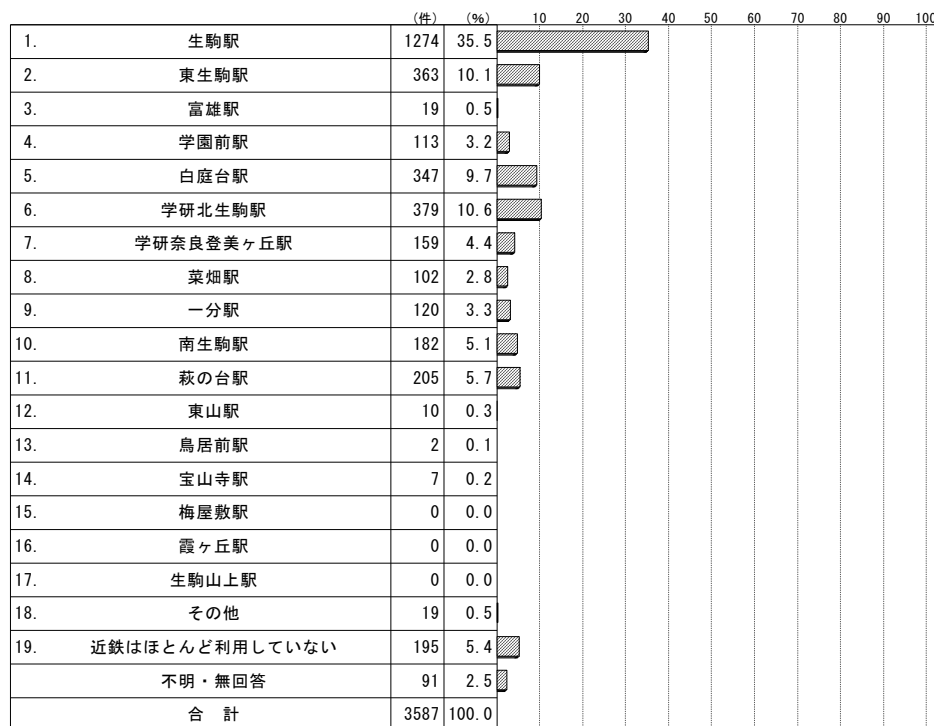
- ・ 「DCM ダイキ南生駒店」が60件で26.7%と最も多く、次いで「南コミュニティセンターせせらぎ」が59件で26.2%、「業務スーパー南生駒店」が18件で8.0%と続いている。



E. お住まい周辺の公共交通

問 13 最もよく利用する近鉄の駅名

- ・ 比率の高い項目の上位3位をみると、まず、「生駒駅」が1,274件で35.5%と最も多く、次いで「学研北生駒駅」が379件で10.6%、さらに「東生駒駅」が363件で10.1%と続いている。

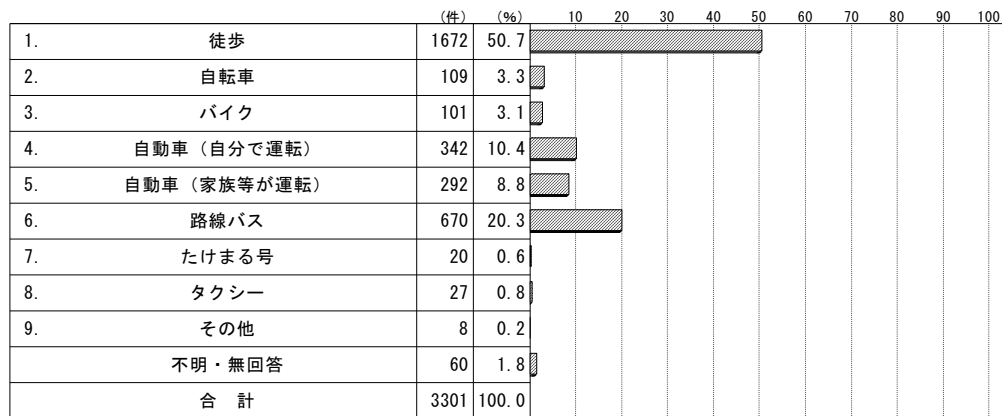


【その他】

- ・ 「高の原駅」(5件)
- ・ 「王寺駅」(4件)
- ・ 「大阪難波駅」(3件)
- ・ 「大和西大寺駅」「新祝園駅」「平群駅」(2件)
- ・ 「大阪上本町駅」「布施駅」「長田駅」(1件)

問 13 最もよく利用する近鉄の駅までの移動手段

- ・ 「徒歩」が1672件で 50.7%と最も多く、次いで「路線バス」が670件で 20.3%、「自動車（自分で運転）」が342件で 10.4%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「その他」の8件で 0.2%を占め、次いで「たけまる号」が20件で 0.6%となっている。

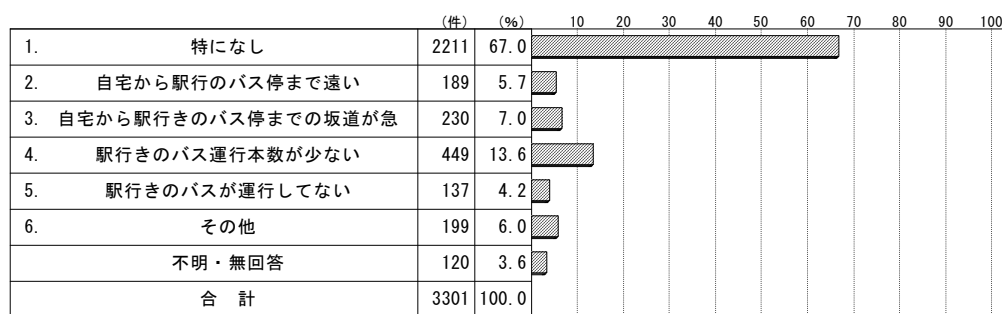


【その他】

- ・ 「電動カート」

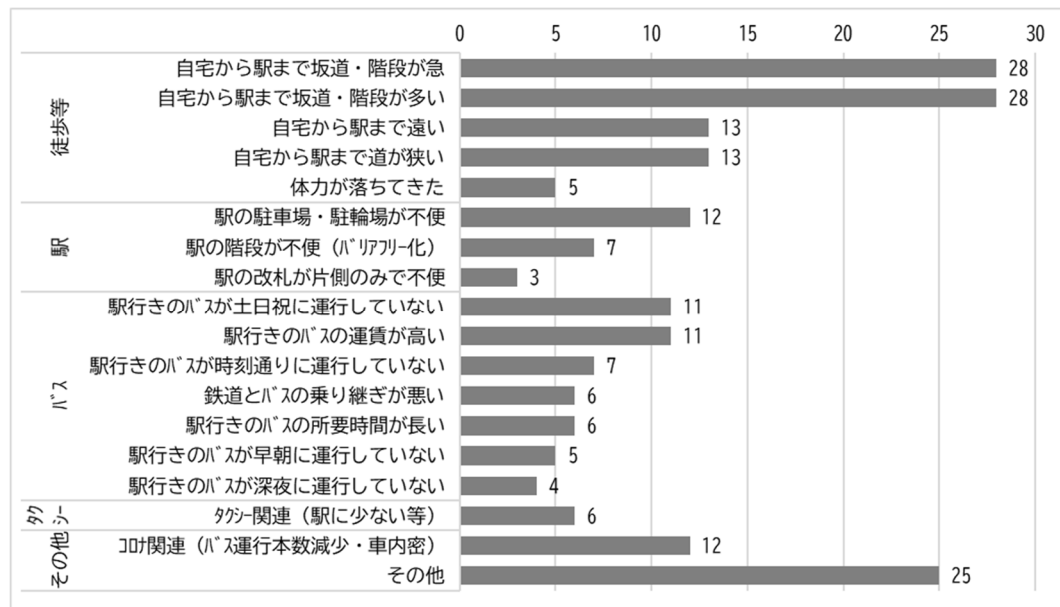
問 14 近鉄の駅への移動で不便と感じる点

- ・ 「特になし」が2,211件で 67.0%と最も多く、次いで「駅行きのバス運行本数が少ない」が449件で 13.6%、「自宅から駅行きのバス停までの坂道が急」が230件で 7.0%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「駅行きのバスが運行してない」の137件で 4.2%を占め、次いで「自宅から駅行きのバス停まで遠い」が189件で 5.7%となっている。



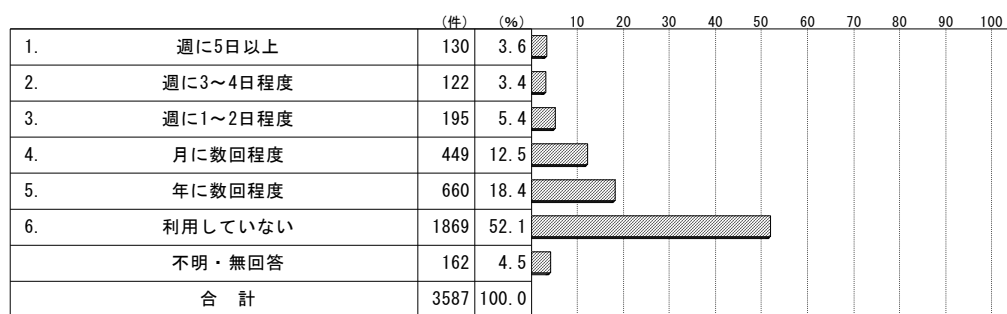
【その他】

- ・ 「その他」の具体的な内容は、「自宅から駅まで坂道・階段が急」「自宅から駅まで坂道・階段が多い」「自宅から駅まで遠い」「自宅から駅まで道が狭い」等が多くなっている。



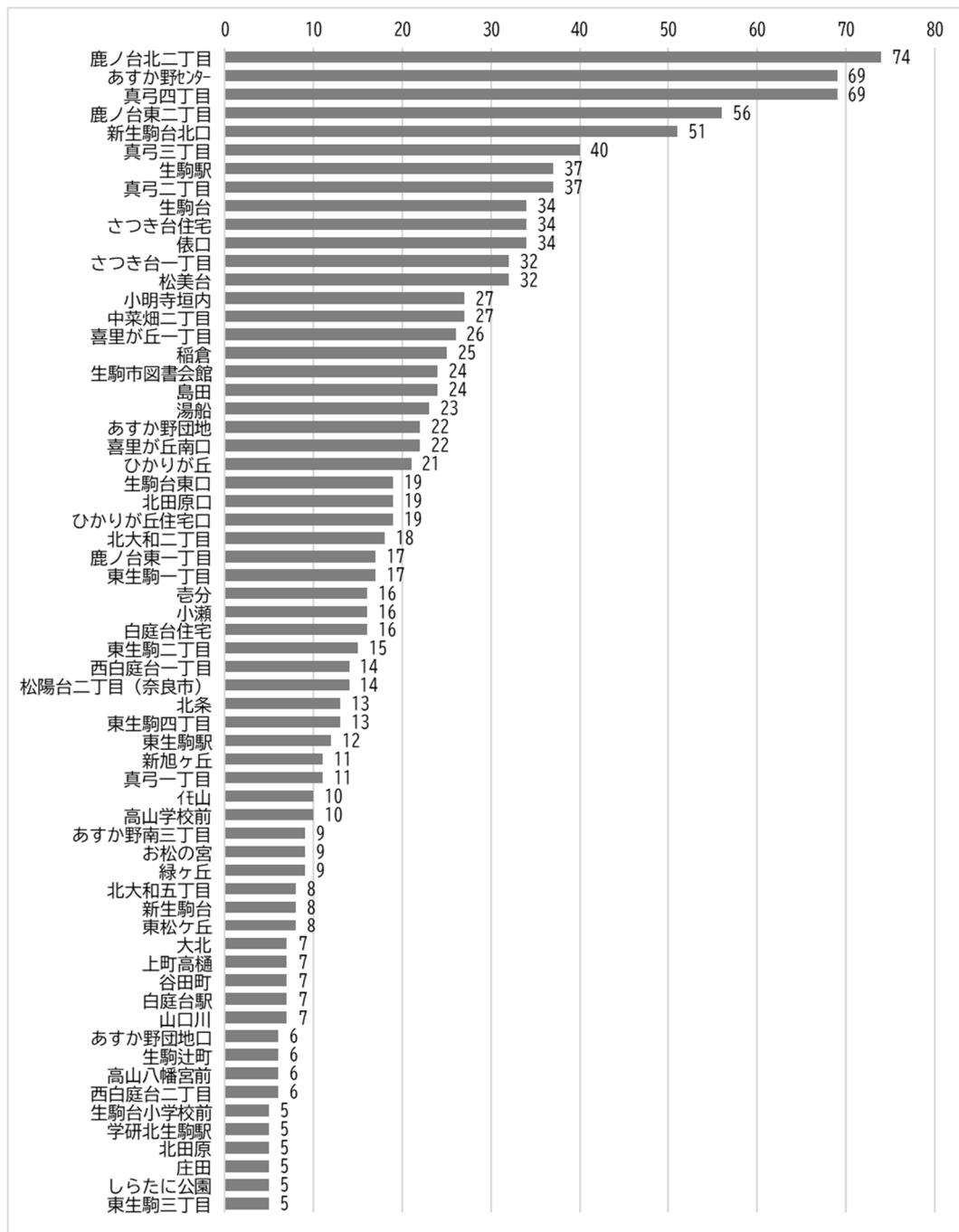
問 15 路線バス（奈良交通）の利用頻度

- ・ 「利用していない」が、1869件で52.1%と最も多く、次いで「年に数回程度」が660件で18.4%、「月に数回程度」が449件で12.5%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「週に3～4日程度」の122件で3.4%を占め、次いで「週に5日以上」が130件で3.6%となっている。



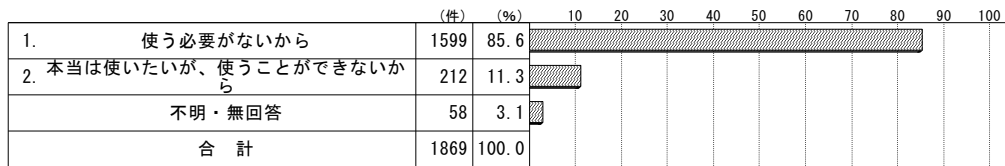
問 15 自宅から最寄りのバス停（奈良交通）（サンプル 5 件以上）

- ・ 比率の高い項目の上位 3 位をみると、まず、「鹿ノ台北二丁目」が 74 件で 4.8%と最も多く、次いで「あすか野センター」「真弓四丁目」が 69 件で 4.4%と続いている。



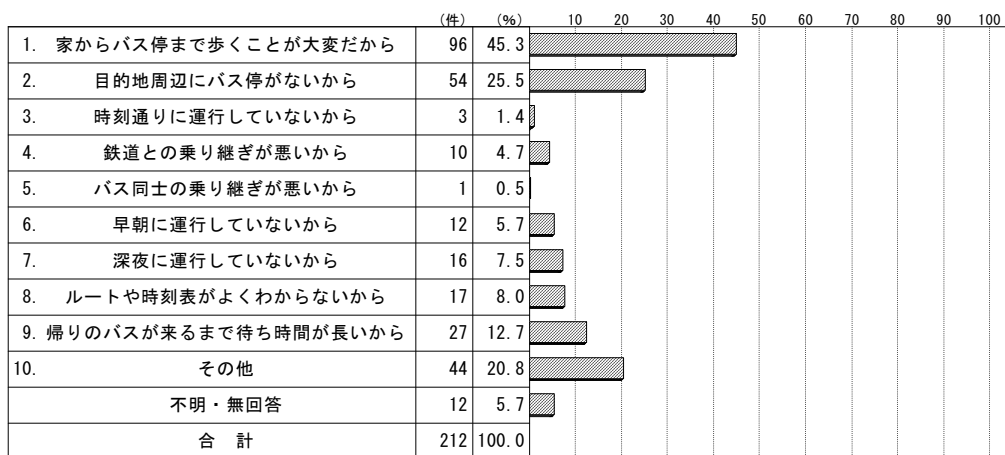
問 16 路線バス（奈良交通）を利用していない理由

- ・ 「使う必要がないから」が1,599件で85.6%、「本当は使いたいが、使うことができないから」が212件で11.3%となっている。



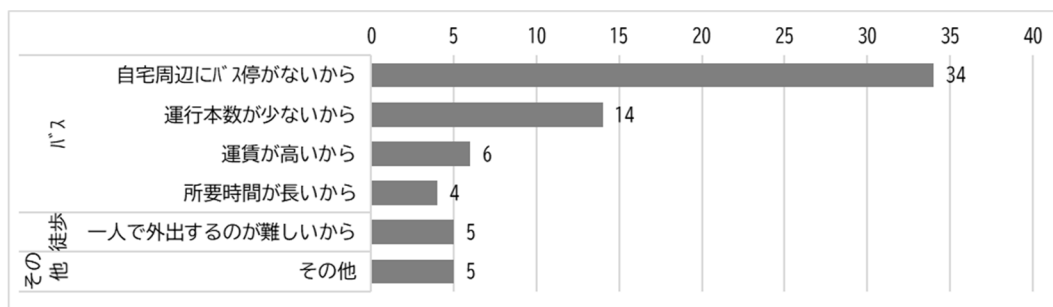
問 17 路線バス（奈良交通）を使うことができない理由

- ・ 「家からバス停まで歩くことが大変だから」が96件で45.3%と最も多く、次いで「目的地周辺にバス停がないから」が54件で25.5%、「その他」が44件で20.8%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「バス同士の乗り継ぎが悪いから」の1件で0.5%を占め、次いで「時刻通りに運行していないから」が3件で1.4%となっている。



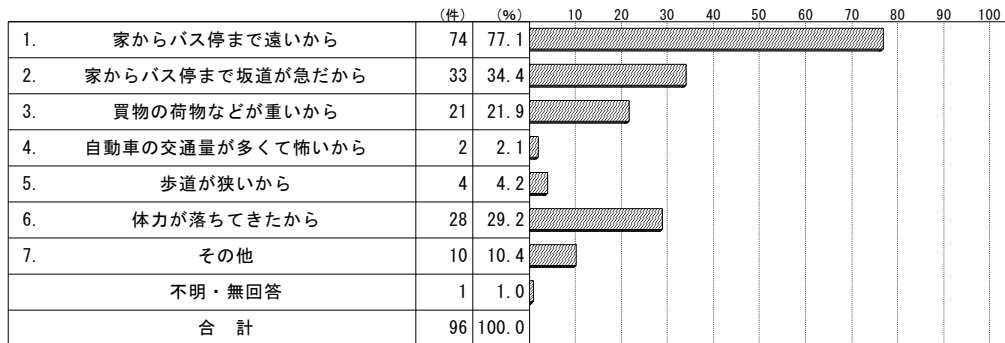
【その他】

- ・ その他の具体的な理由は、「自宅周辺にバス停がないから」「運行本数が少ないから」「運賃が高いから」等が多くなっている。



問 17 副問 バス停まで歩くことが大変な状況

- ・ 「家からバス停まで遠いから」が74件で77.1%と最も多く、次いで「家からバス停まで坂道が急だから」が33件で34.4%、「体力が落ちてきたから」が28件で29.2%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「自動車の交通量が多くて怖いから」の2件で2.1%を占め、次いで「歩道が狭いから」が4件で4.2%となっている。

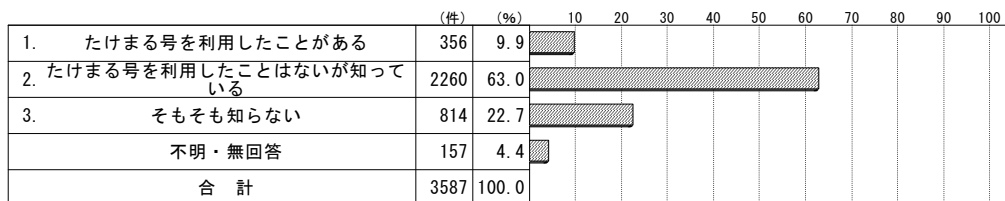


【その他】

- ・ 「一人で歩いて外出するのが難しいから」(8件)

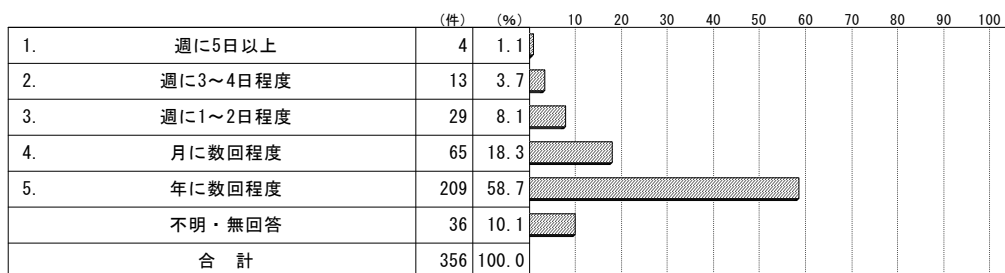
問 18 たけまる号の利用・認知の有無

- ・ 「たけまる号を利用したことはないが知っている」が2,260件で63.0%と最も多く、次いで「そもそも知らない」が814件で22.7%、「たけまる号を利用したことがある」が356件で9.9%と続いている。



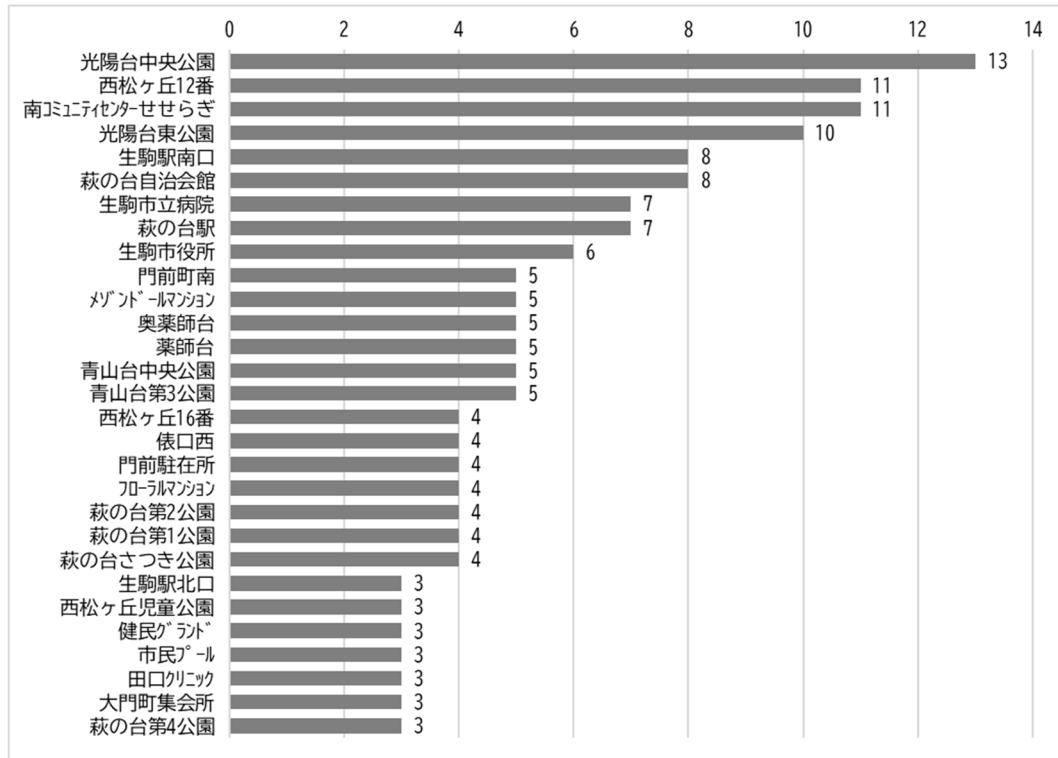
問 18 たけまる号の利用頻度

- ・ 「年に数回程度」が209件で58.7%と最も多く、次いで「月に数回程度」が65件で18.3%、さらに「週に1～2日程度」が29件で8.1%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「週に5日以上」の4件であり1.1%となっている。



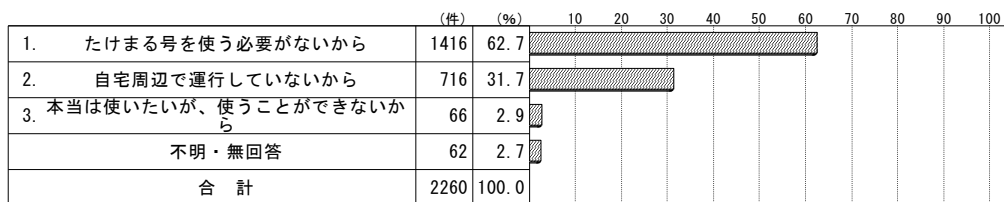
問 18 自宅から最寄りのバス停（たけまる号）

- ・ 比率の高い項目の上位3位をみると、まず、「光陽台中央公園」が13件で3.7%と最も多く、次いで「西松ヶ丘12番」「南コミュニティセンターせせらぎ」が11件で3.1%と続いている。



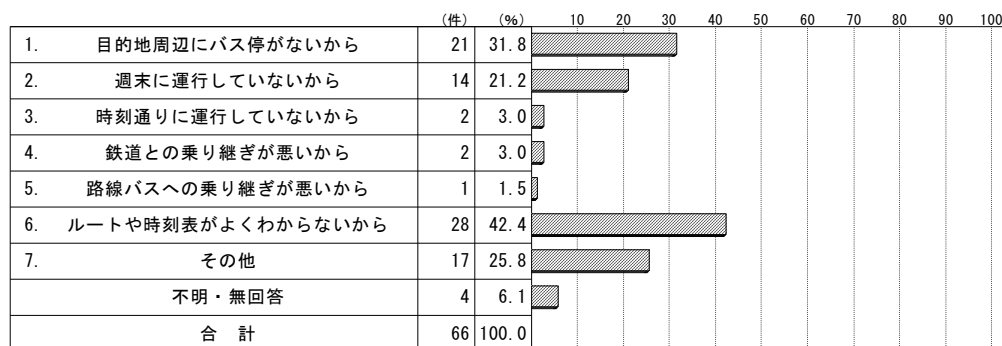
問 19 たけまる号を利用したことがない理由

- ・ 「たけまる号を使う必要がないから」が1,416件で62.7%と最も多く、次いで「自宅周辺で運行していないから」が716件で31.7%、「本当は使いたい、使えないから」が66件で2.9%と続いている。



問 20 たけまる号を使うことができない理由

- ・ 「ルートや時刻表がよくわからないから」が28件で42.4%と最も多く、次いで「目的地周辺にバス停がないから」が21件で31.8%、「その他」が17件で25.8%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「路線バスへの乗り継ぎが悪いから」の1件で1.5%を占め、次いで「時刻通りに運行していないから」「鉄道との乗り継ぎが悪いから」が2件で3.0%となっている。

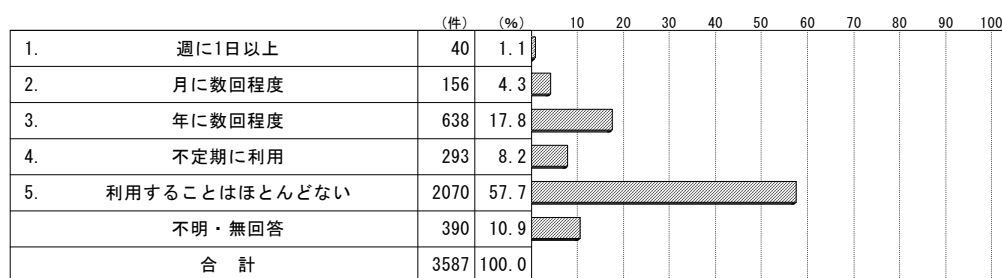


【その他】

- ・ 「運行本数が少ないから」(3件)
- ・ 「ルートや時刻が都合に合わないから」(2件)
- ・ 「所要時間が長いから」「自分が使ってもよいかわからないから」「人数に限りがあり若者が乗れないから」「乗り物に弱いから」

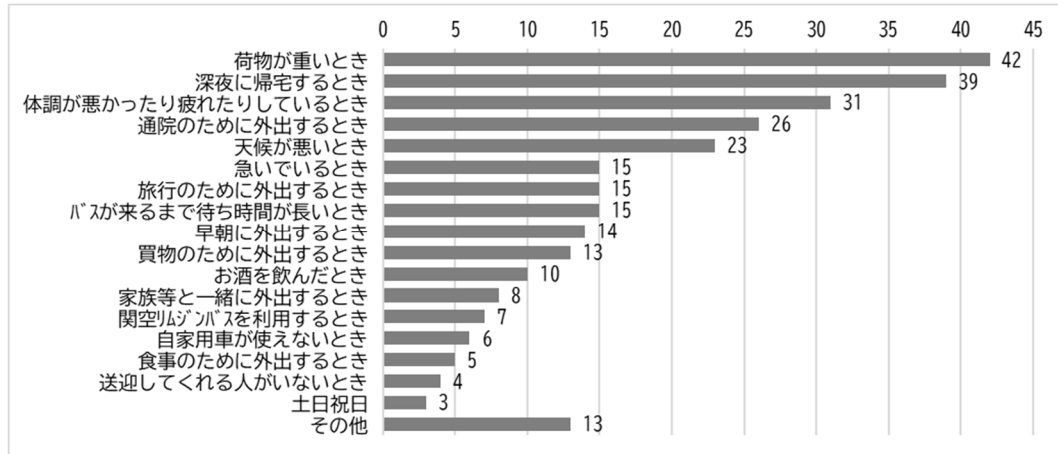
問 21 近鉄・路線バス・たけまる号を利用できない場合のタクシーの利用頻度

- ・ 「利用することはほとんどない」が2,070件で57.7%と最も多く、次いで「年に数回程度」が638件で17.8%、さらに「不定期に利用」が293件で8.2%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「週に1日以上」の40件であり1.1%となっている。



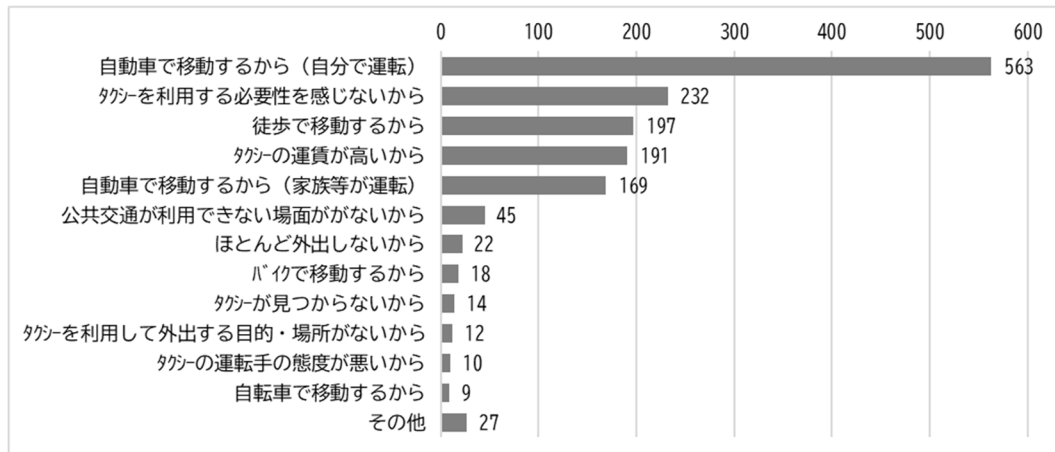
問 21 タクシーを不定期に利用する具体の状況

- ・ 「荷物が重いとき」が42件で14.3%と最も多く、次いで「深夜に帰宅するとき」が39件で13.3%、「体調が悪かったり疲れたりしているとき」が31件で10.6%と続いている。



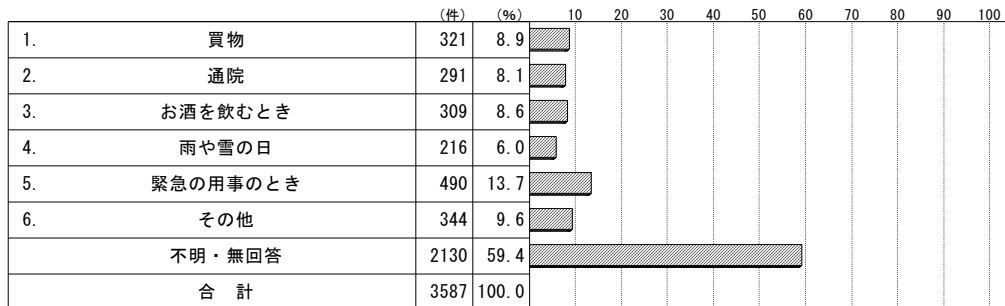
問 21 タクシーをほとんど利用しない理由

- ・ 「自動車で移動するから（自分で運転）」が563件で27.2%と最も多く、次いで「タクシーを利用する必要性を感じないから」が232件で11.2%、「徒歩で移動するから」が197件で9.5%と続いている。



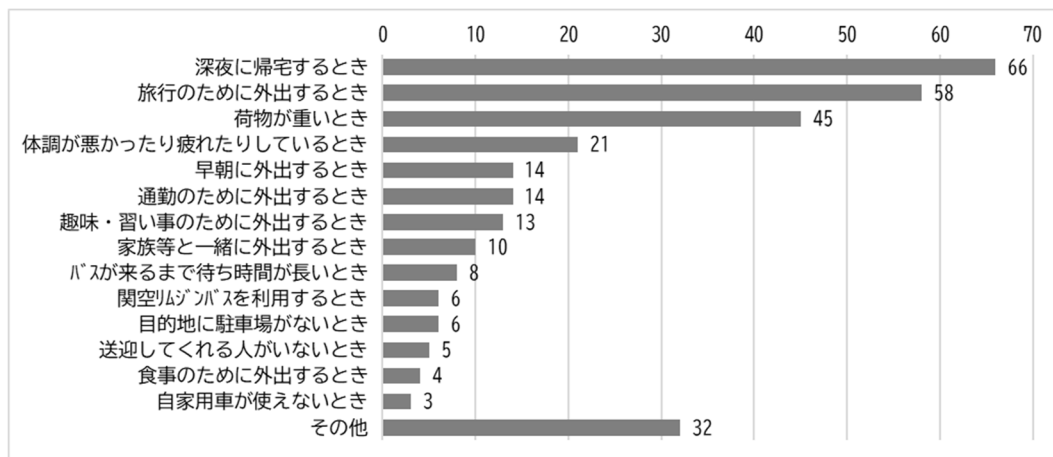
問 21 近鉄・路線バス・たけまる号を利用できない場合のタクシーの利用目的

- ・ 「緊急の用事するとき」が490件で13.7%と最も多く、次いで「その他」が344件で9.6%、「買物」が321件で8.9%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「雨や雪の日」の216件で6.0%を占め、次いで「通院」が291件で8.1%となっている。



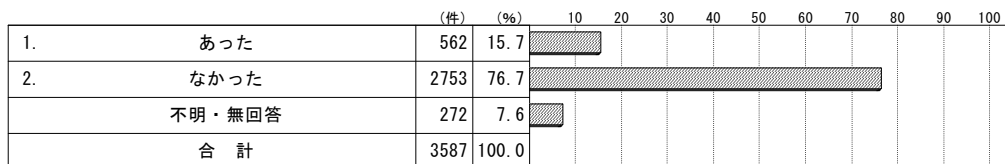
【その他】

- ・ その他の具体的な目的は、「深夜に帰宅するとき」「旅行のために外出するとき」「荷物が重いとき」等が多くなっている。



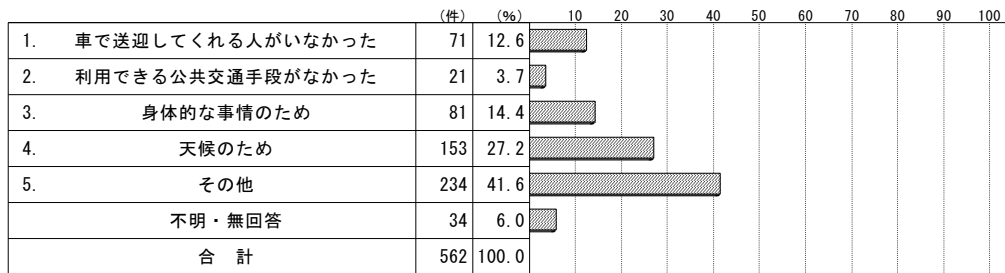
問 22 外出したかったが何らかの事情で外出をあきらめたことの有無

- ・ 「なかった」が2,753件で76.7%、「あった」が562件で15.7%となっている。



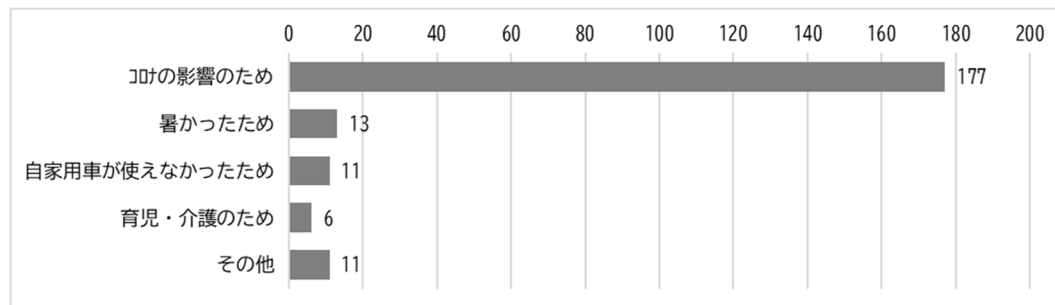
問 22 副問 外出したかったが何らかの事情で外出をあきらめた理由

- ・ 「その他」が234件で41.6%と最も多く、次いで「天候のため」が153件の27.2%、さらに「身体的な事情のため」が81件の14.4%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「利用できる公共交通手段がなかった」の21件であり3.7%となっている。



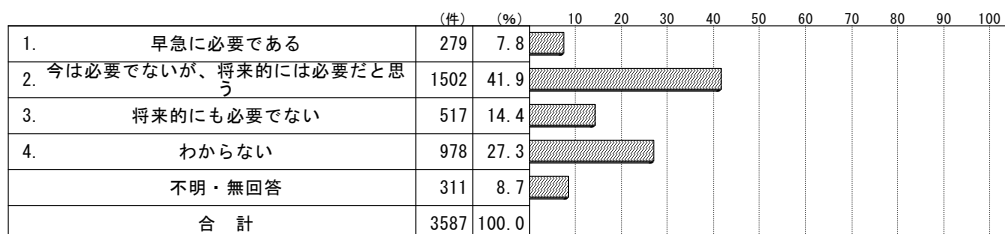
【その他】

- ・ その他の具体的な理由は、「コロナの影響のため」「暑かったため」「自家用車が使えなかったため」等が多くなっている。



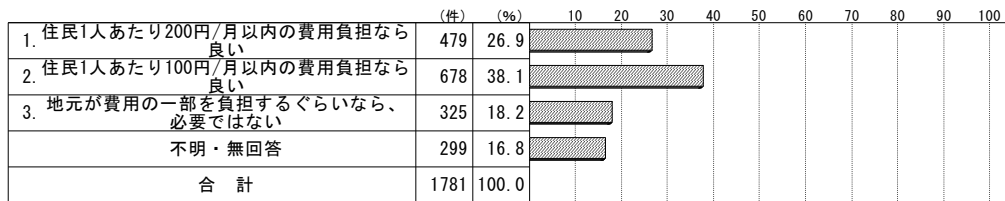
問 23 新たな公共交通サービス導入の必要性

- ・ 「今は必要でないが、将来的には必要だと思う」が1,502件で41.9%と最も多く、次いで「わからない」が978件で27.3%、さらに「将来的にも必要でない」が517件で14.4%と続いている。「早急に必要である」は最も少なく279件で7.8%となっている。



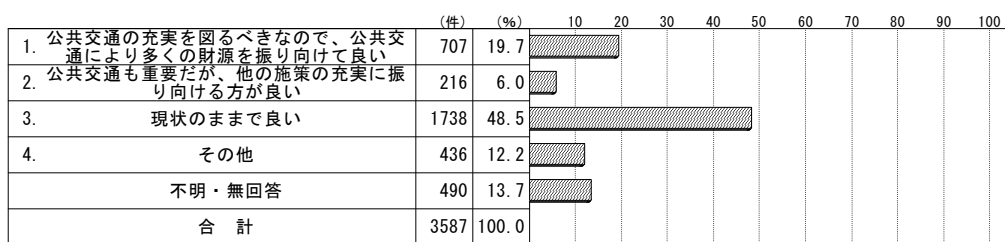
問 23 副問 新たな公共交通サービス導入のための費用負担

- ・ 「住民1人あたり100円/月以内の費用負担なら良い」が678件で38.1%と最も多く、次いで「住民1人あたり200円/月以内の費用負担なら良い」が479件で26.9%、「地元が費用の一部を負担するぐらいなら、必要ではない」が325件で18.2%と続いている。



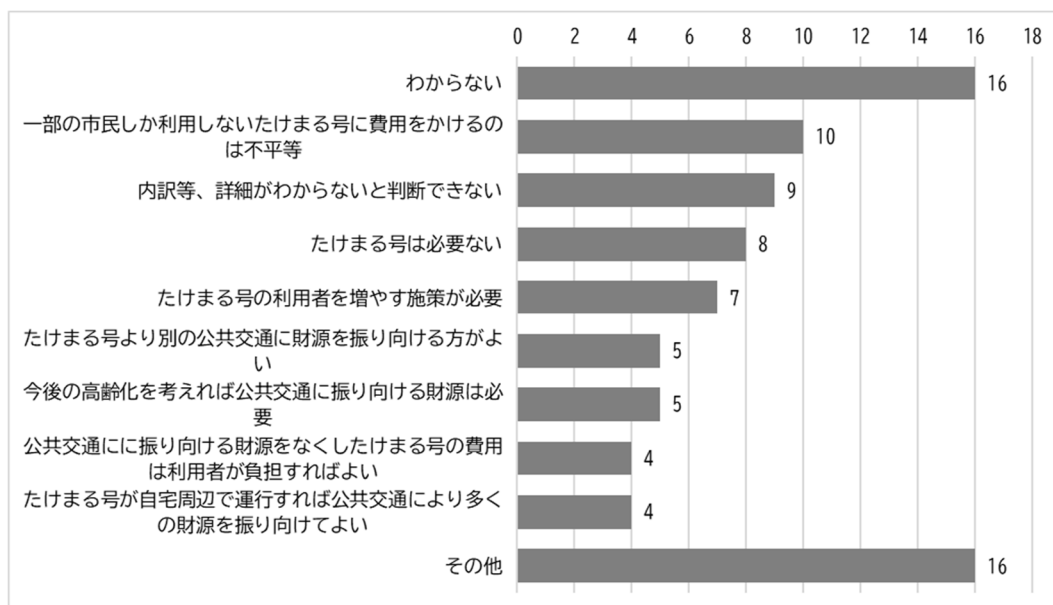
問 24 公共交通の予算の使い方

- ・ 「現状のままで良い」が1,738件で48.5%と最も多く、次いで「公共交通の充実を図るべきなので、公共交通により多くの財源を振り向けて良い」が707件で19.7%、さらに「その他」が436件で12.2%と続いている。「公共交通も重要だが、他の施策の充実に振り向ける方が良い」は最も少なく216件で6.0%となっている。



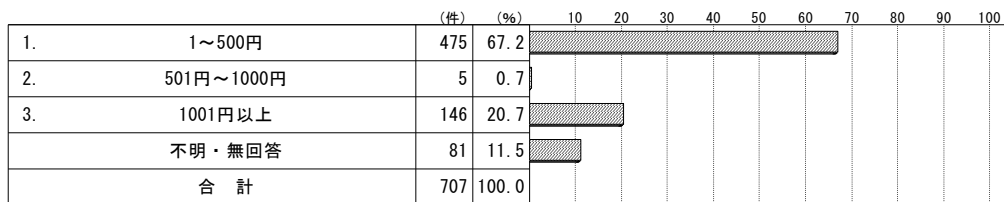
【その他】

- ・ その他の具体的な内容は、「わからない」「一部の市民しか利用しないたけまる号に費用をかけるのは不平等」「内訳等、詳細がわからないと判断できない」等が多くなっている。



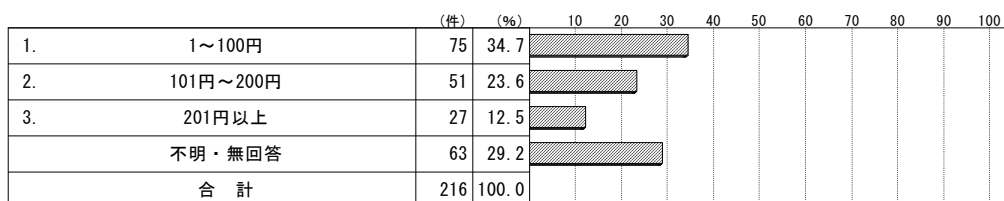
問 24 公共交通の予算の使い方（上記 1 の場合、市民 1 人当たりいくらか）

- ・ 「1～500 円」が 475 件で 67.2%と最も多く、次いで「1001 円以上」が 146 件で 20.7%、「501 円～1000 円」が 5 件で 0.7%と続いている。



問 24 公共交通の予算の使い方（上記 2 の場合、市民 1 人当たりいくらか）

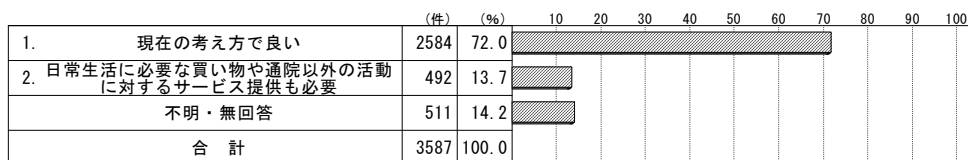
- ・ 「1～100 円」が 75 件で 34.7%と最も多く、次いで「101 円～200 円」が 51 件で 23.6%、「201 円以上」が 27 件で 12.5%と続いている。



F. 将来の地域の公共交通のあり方

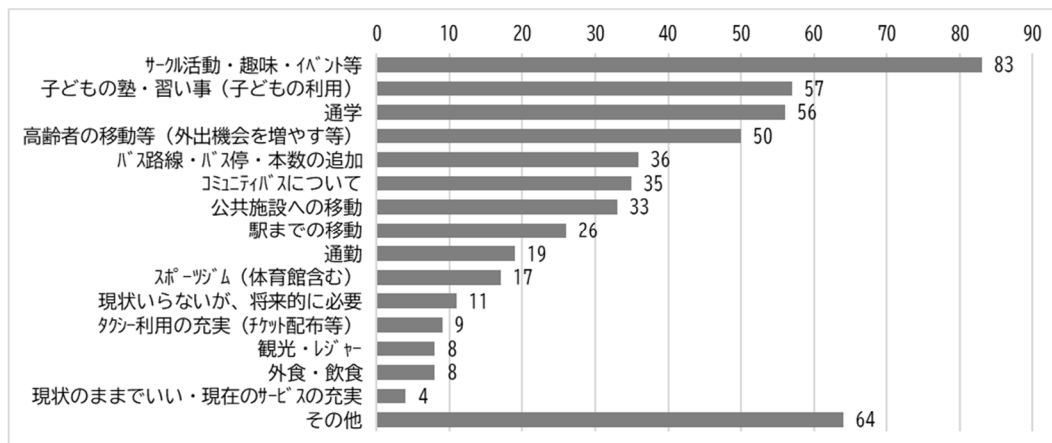
問 25 日常生活を行う上で必要な活動機会を確保するために買物や通院以外に必要なこと

- ・ 「現在の考え方で良い」が 2,584 件で 72.0%、「日常生活に必要な買い物や通院以外の活動に対するサービス提供も必要」が 492 件で 13.7%となっている。



問 25 日常生活を行う上で必要な活動機会に対して提供が必要なサービスの具体的な考え

- ・ 「サークル活動・趣味・イベント等」が 83 件で 16.9%と最も多く、次いで「子どもの塾・習い事（子どもの利用）」が 57 件で 11.6%、「通学」が 56 件で 11.4%と続いている。



G. ご自身のこと

① 性別

- ・ 「女性」が1,996件で55.6%と最も多く、次いで「男性」が1,523件で42.5%、「無回答」が21件で0.6%と続いている。

	(件)	(%)	
1. 男性	1523	42.5	
2. 女性	1996	55.6	
3. 無回答	21	0.6	
不明・無回答	47	1.3	
合 計	3587	100.0	

② 年齢

- ・ 比率の高い項目の上位3位をみると、まず、「70～74歳」が611件で17.0%と最も多く、次いで「75～79歳」が527件で14.7%、さらに「50歳代」が457件で12.7%と続いている。

	(件)	(%)	
1. 10歳代	79	2.2	
2. 20歳代	141	3.9	
3. 30歳代	219	6.1	
4. 40歳代	420	11.7	
5. 50歳代	457	12.7	
6. 60～64歳	226	6.3	
7. 65～69歳	430	12.0	
8. 70～74歳	611	17.0	
9. 75～79歳	527	14.7	
10. 80～84歳	263	7.3	
11. 85～89歳	132	3.7	
12. 90歳以上	39	1.1	
不明・無回答	43	1.2	
合 計	3587	100.0	

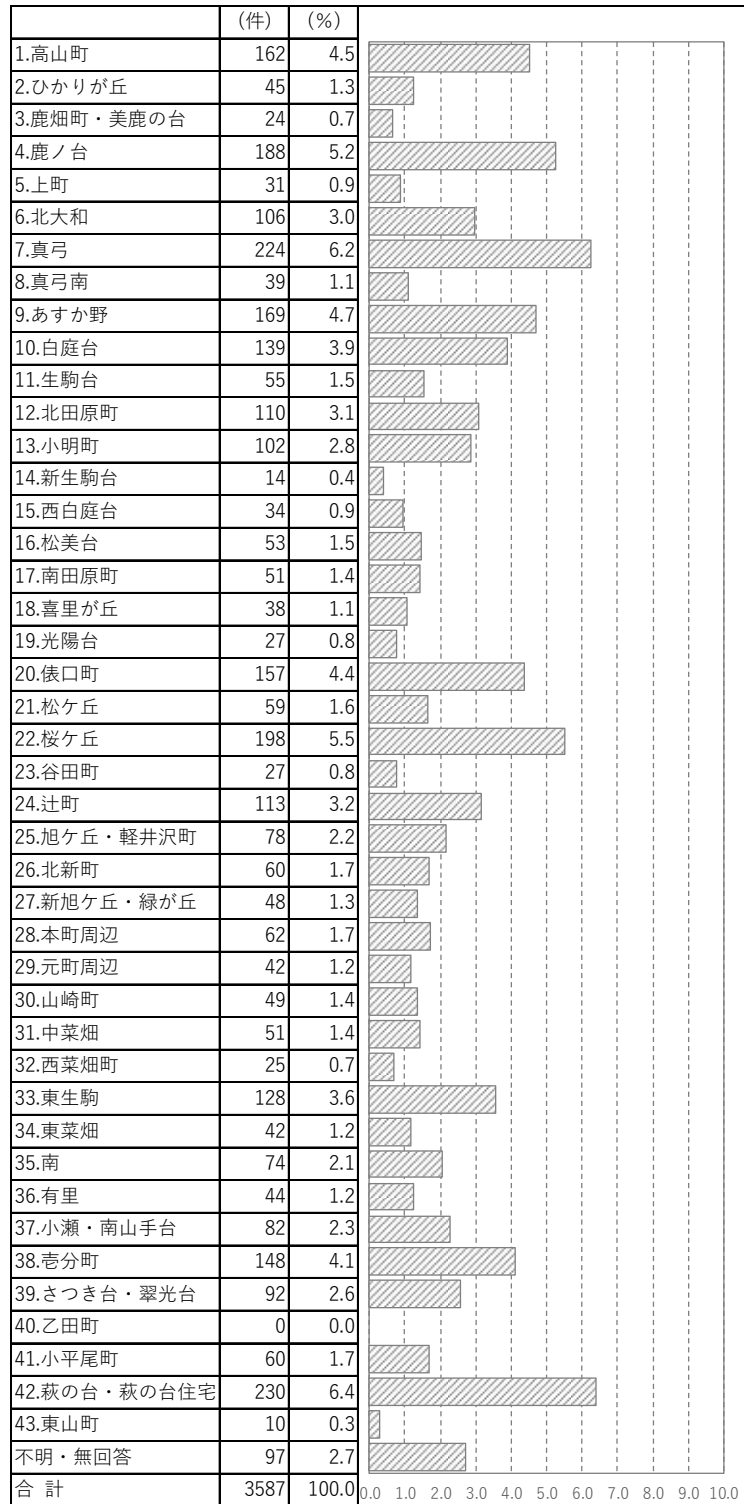
③ 職業

- ・ 「有職」が1,162件で32.4%と最も多く、次いで「無職」が1,119件で31.2%、「専業主婦・主夫」が620件で17.3%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「高校生」の49件で1.4%を占め、次いで「短大生以上」が80件で2.2%となっている。

	(件)	(%)	
1. 有職	1162	32.4	
2. 専業主婦・主夫（パート有り）	436	12.2	
3. 専業主婦・主夫	620	17.3	
4. 高校生	49	1.4	
5. 短大生以上	80	2.2	
6. 無職	1119	31.2	
不明・無回答	121	3.4	
合 計	3587	100.0	

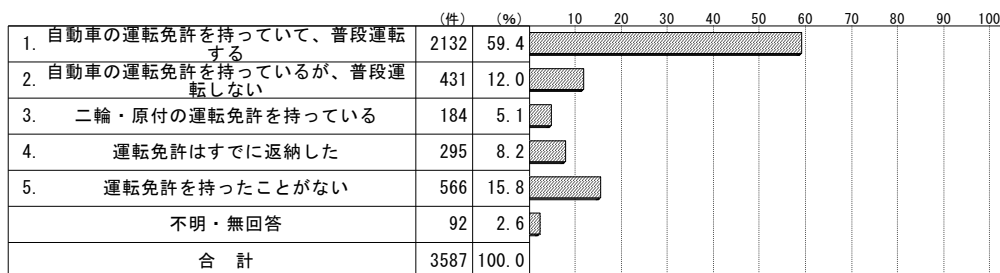
④ お住まい

- ・ 「萩の台・萩の台住宅」が230件で6.4%と最も多く、次いで「真弓」が224件で6.2%、「桜ヶ丘」が198件で5.5%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「乙田町」の0件で0.0%を占め、次いで「東山町」が10件で0.3%となっている。



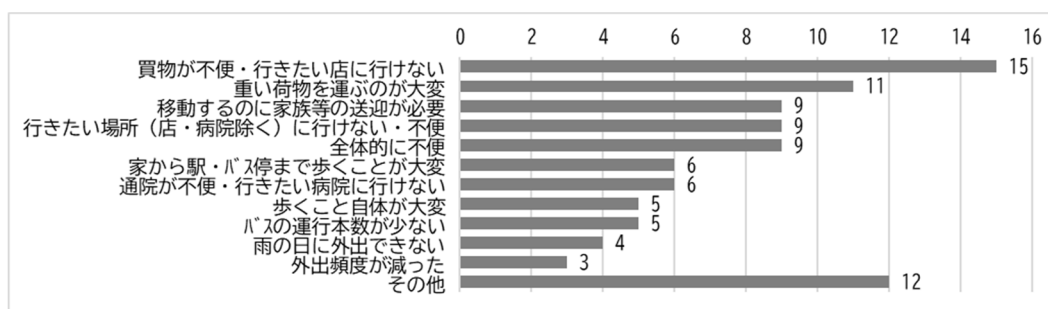
⑤ 運転免許保有状況

- 「自動車の運転免許を持っていて、普段運転する」が2,132件で59.4%と最も多く、次いで「運転免許を持ったことがない」が566件の15.8%、さらに「自動車の運転免許を持っているが、普段運転しない」が431件の12.0%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「二輪・原付の運転免許を持っている」の184件であり5.1%となっている。



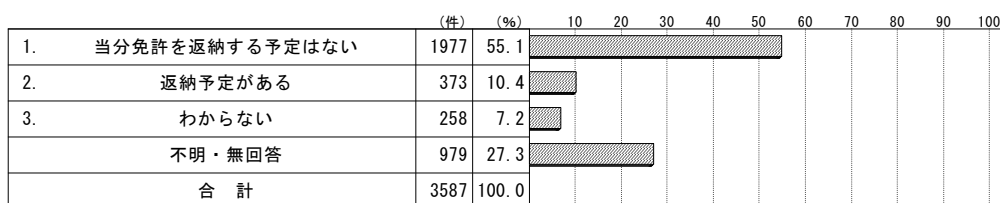
⑤ 運転免許を返納して困っていること

- 「買物が不便・行きたい店に行けない」が15件で5.1%と最も多く、次いで「その他」が12件で4.1%、「重い荷物を運ぶのが大変」が11件で3.7%と続いている。



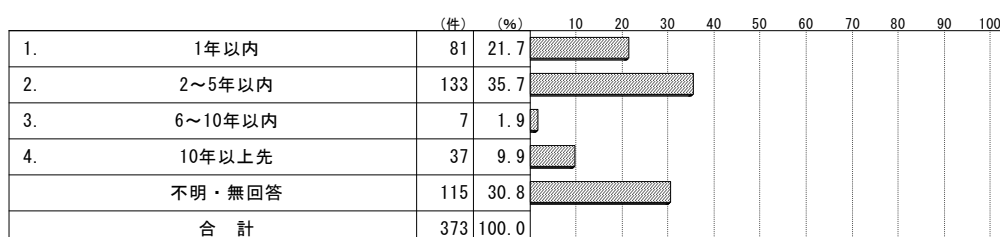
⑥ 運転免許の返納予定

- 「当分免許を返納する予定はない」が1,977件で55.1%と最も多く、次いで「返納予定がある」が373件で10.4%、「わからない」が258件で7.2%と続いている。



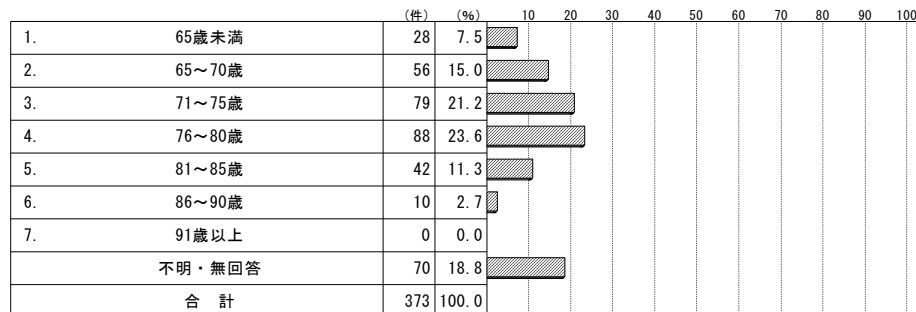
⑥ 運転免許の返納予定（上記2の場合、何年以内か）

- 「2～5年以内」が133件で35.7%と最も多く、次いで「1年以内」が81件で21.7%、さらに「10年以上先」が37件で9.9%と続いている。「6～10年以内」は最も少なく7件で1.9%となっている。



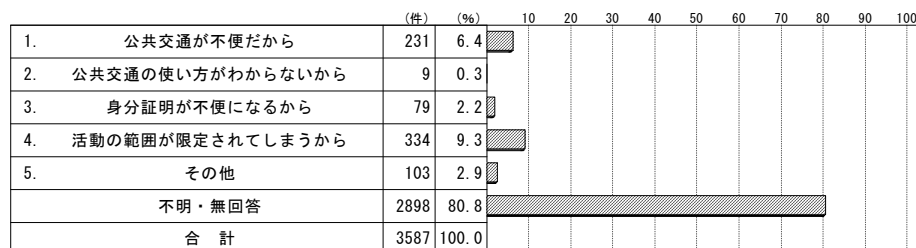
⑥ 運転免許の返納予定（上記2の場合、何歳か）

- 「76～80歳」が88件で23.6%と最も多く、次いで「71～75歳」が79件で21.2%、「65～70歳」が56件で15.0%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「91歳以上」の0件で0.0%を占め、次いで「86～90歳」が10件で2.7%となっている。



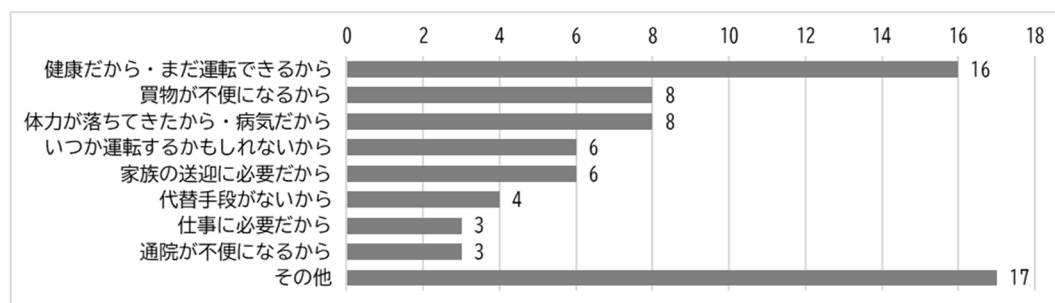
⑦ 運転免許を迷っている理由

- 「活動の範囲が限定されてしまうから」が334件で9.3%と最も多く、次いで「公共交通が不便だから」が231件の6.4%、さらに「その他」が103件の2.9%と続いている。逆に比率の最も少ないものは「公共交通の使い方がわからないから」の9件で0.3%となっている。



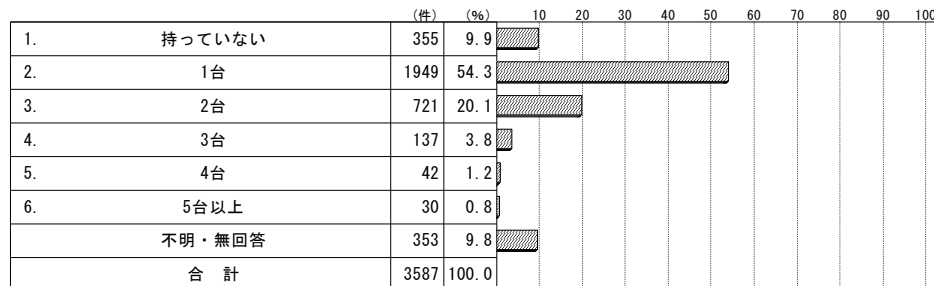
【その他】

- その他の具体的な理由は、「健康だから・まだ運転できるから」「買物が不便になるから」「体力が落ちてきたから・病気だから」等が多くなっている。



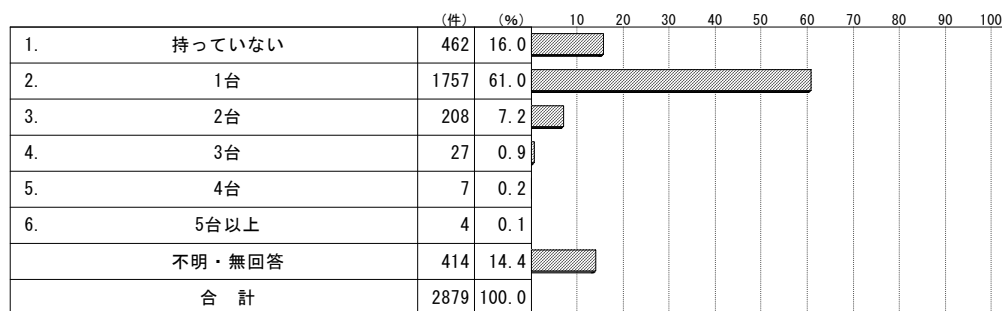
⑧ 世帯の自動車保有台数

- 「1台」が1,949件で54.3%と最も多く、次いで「2台」が721件で20.1%、「持っていない」が355件で9.9%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「5台以上」の30件で0.8%を占め、次いで「4台」が42件で1.2%となっている。



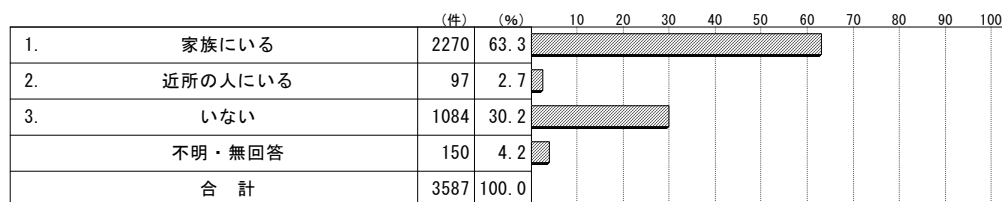
⑧副問 自分で自由に使える自動車台数

- 「1台」が1,757件で61.0%と最も多く、次いで「持っていない」が462件で16.0%、「2台」が208件で7.2%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「5台以上」の4件で0.1%を占め、次いで「4台」が7件で0.2%となっている。



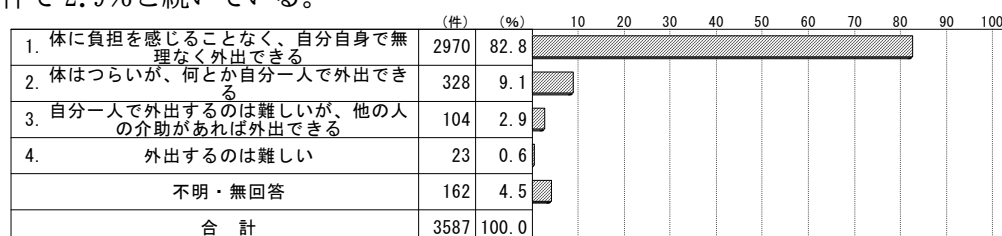
⑨ 車で送迎を頼める人の有無

- 「家族にいる」が2,270件で63.3%と最も多く、次いで「いない」が1,084件で30.2%、「近所の人にいる」が97件で2.7%と続いている。



⑩ 外出時の付き添いや介助の必要性

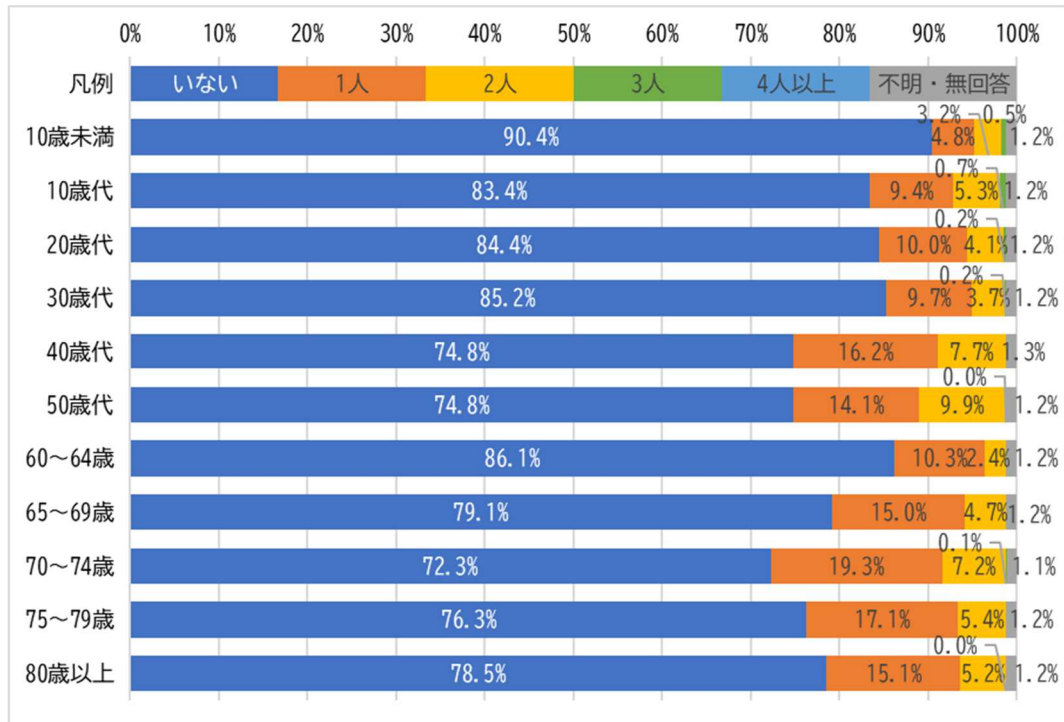
- 「体に負担を感じることなく、自分自身で無理なく外出できる」が2,970件で82.8%と最も多く、次いで「体はつらいが、何とか自分一人で外出できる」が328件で9.1%、さらに「自分一人で外出するのは難しいが、他の人の介助があれば外出できる」が104件で2.9%と続いている。



⑪ 世帯の年齢構成

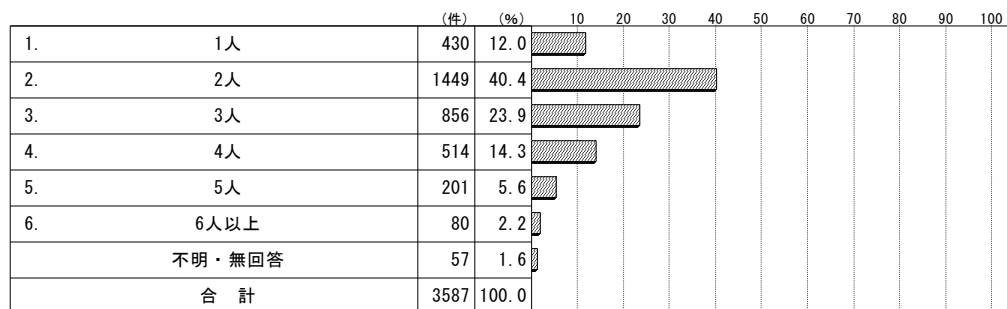
① 世帯の年齢構成

- ・ どの世帯項目も「いない」が最も多く、その中でも「10歳未満」が90.4%で最も多くなった。逆に最も少ない項目は「70～74歳」の72.3%だった。



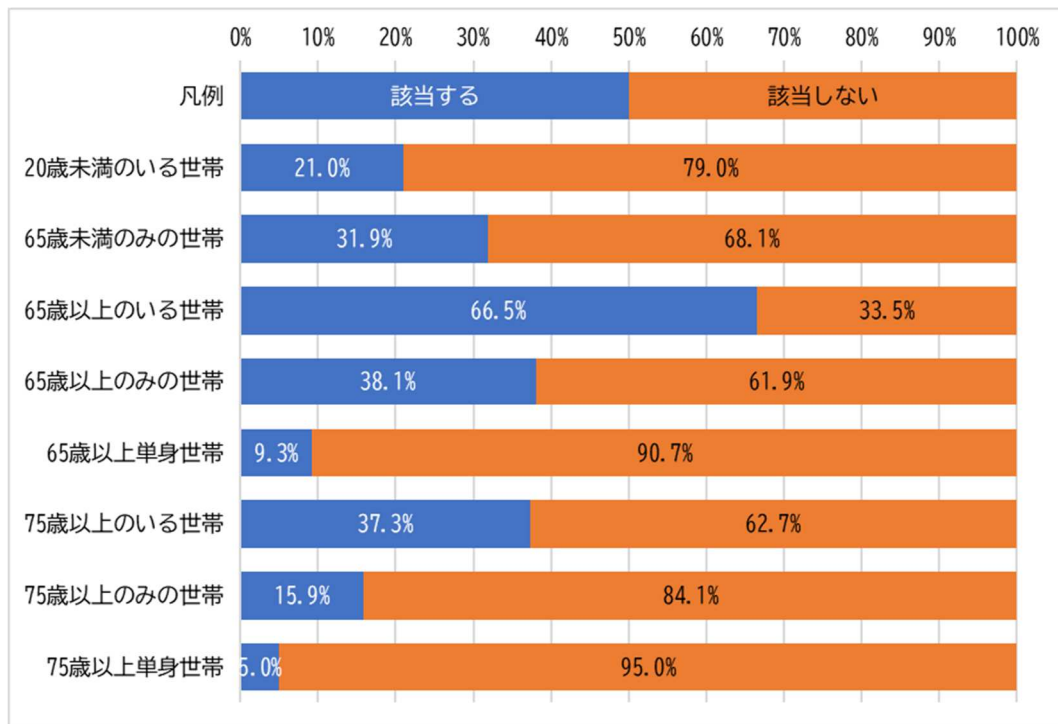
② 世帯人数

- ・ 「2人」が1,449件で40.4%と最も多く、次いで「3人」が856件で23.9%、「4人」が514件で23.9%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「6人以上」の80件で2.2%を占め、次いで「5人」が201件で5.6%となっている。



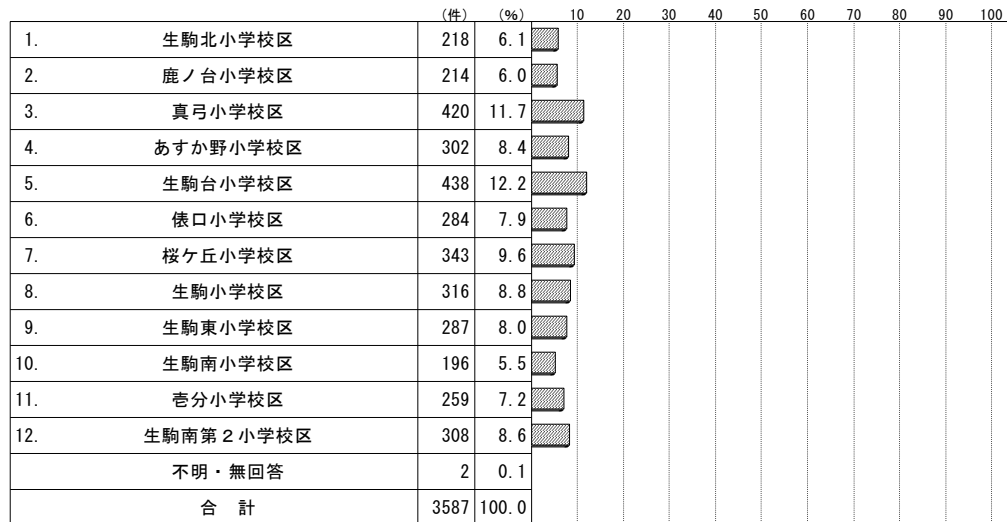
③ 世帯構成

- ・ 「65 歳以上のいる世帯」が 2,386 件で 66.5%と最も多く、次いで「65 歳以上のみの世帯」が 1,366 件で 38.1%、「75 歳以上のいる世帯」が 1,339 件で 37.3%と続いている。逆に最も少ない項目は「75 歳以上単身世帯」の 179 件で 5.0%を占め、次いで「65 歳以上単身世帯」が 332 件で 9.3%となっている。



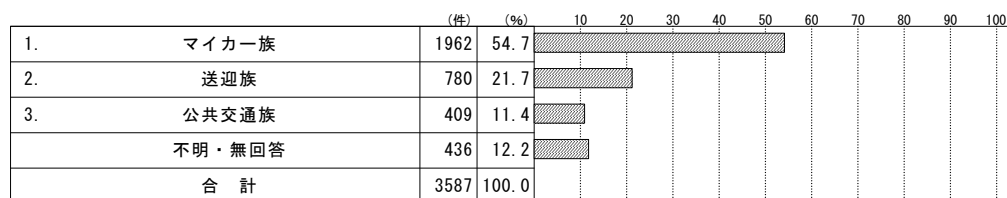
【追加】 小学校区

- ・ 比率の高い項目の上位3位をみると、まず、「生駒台小学校区」が438件で12.2%と最も多く、次いで「真弓小学校区」が420件で11.7%、さらに「桜ヶ丘小学校区」が343件で9.6%と続いている。



【追加】 マイカー族、送迎族、公共交通族

- ・ 「マイカー族」が1,962件で54.7%と最も多く、次いで「送迎族」が780件で21.7%、「公共交通族」が409件で11.4%と続いている。



2.3. 集計・分析

(1) サンプル数と人口の関係

- ・ 本アンケート調査の年齢別サンプル数は、公共交通利用の意向等の精度向上を目指し高齢者世帯への配布数を多く設定したため、65 歳以上の回答者の構成比が高くなっています。
- ・ 実際の人口に対するアンケートのサンプル率は、65 歳以上のサンプル率は高い結果となりましたが、40 歳未満のサンプル率は低い結果となりました。

<サンプル数（人）>

	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	不明・無回答	合 計
男性	31	60	85	164	189	86	180	270	250	131	60	12	5	1,523
女性	47	79	132	249	264	139	248	337	271	128	71	24	7	1,996
無回答	1	2	2	6	4	1	1	0	0	2	1	0	1	21
不明・無回答	0	0	0	1	0	0	1	4	6	2	0	3	30	47
合 計	79	141	219	420	457	226	430	611	527	263	132	39	43	3,587

<サンプル数の年齢構成比（％）>

	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	不明・無回答	合 計
男性	2.0%	3.9%	5.6%	10.8%	12.4%	5.6%	11.8%	17.7%	16.4%	8.6%	3.9%	0.8%	0.3%	100.0%
女性	2.4%	4.0%	6.6%	12.5%	13.2%	7.0%	12.4%	16.9%	13.6%	6.4%	3.6%	1.2%	0.4%	100.0%
無回答	4.8%	9.5%	9.5%	28.6%	19.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	9.5%	4.8%	0.0%	4.8%	100.0%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	2.1%	8.5%	12.8%	4.3%	0.0%	6.4%	63.8%	100.0%
合 計	2.2%	3.9%	6.1%	11.7%	12.7%	6.3%	12.0%	17.0%	14.7%	7.3%	3.7%	1.1%	1.2%	100.0%

<実際の人口（住民基本台帳人口（R2.7 末））に対するアンケートのサンプル率>

	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	不明・無回答	合 計
男性	1.0%	1.2%	1.5%	1.8%	2.5%	2.7%	5.2%	6.3%	7.0%	6.2%	5.7%	2.7%		3.2%
女性	1.5%	1.6%	2.1%	2.5%	3.3%	3.9%	6.1%	6.5%	7.0%	5.1%	4.0%	1.8%		3.7%
合 計	1.3%	1.4%	1.9%	2.2%	2.9%	3.3%	5.7%	6.4%	7.1%	5.7%	4.7%	2.2%		3.5%

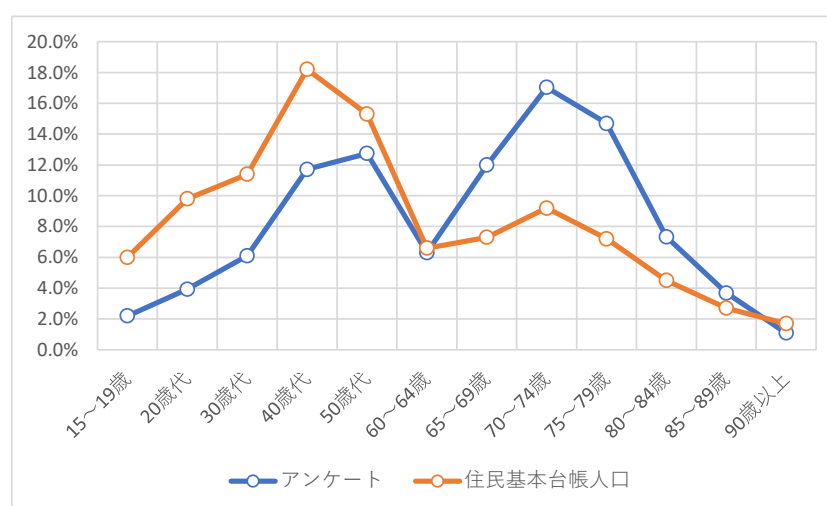
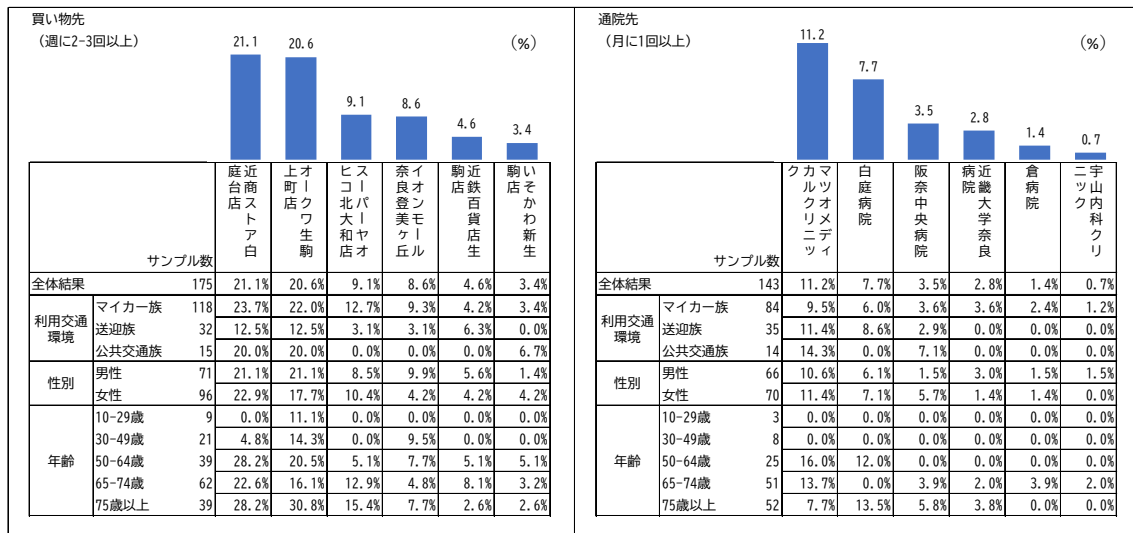


図 2-1 アンケートと住民基本台帳人口の年齢階層別割合

(2) 食料品・日用品の買い物先と定期的な通院

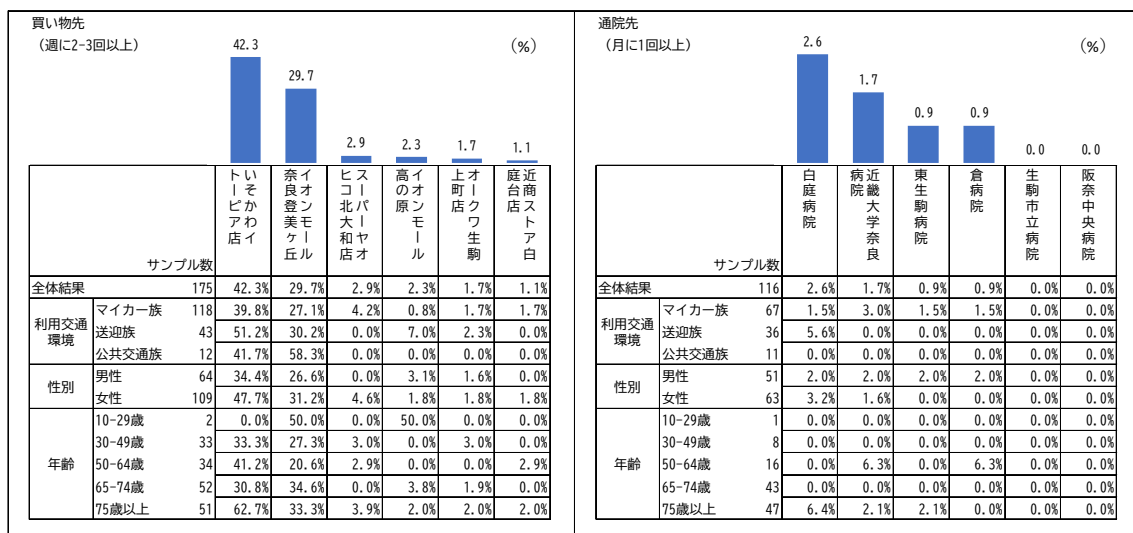
<生駒北小学校区>

- ・ 買い物先：近商ストア白庭台店が多く、マイカー族も公共交通族も同様の傾向にある。
- ・ 通院先：マツオメディカルクリニックが多く、マイカー族も公共交通族も同様の傾向にある。



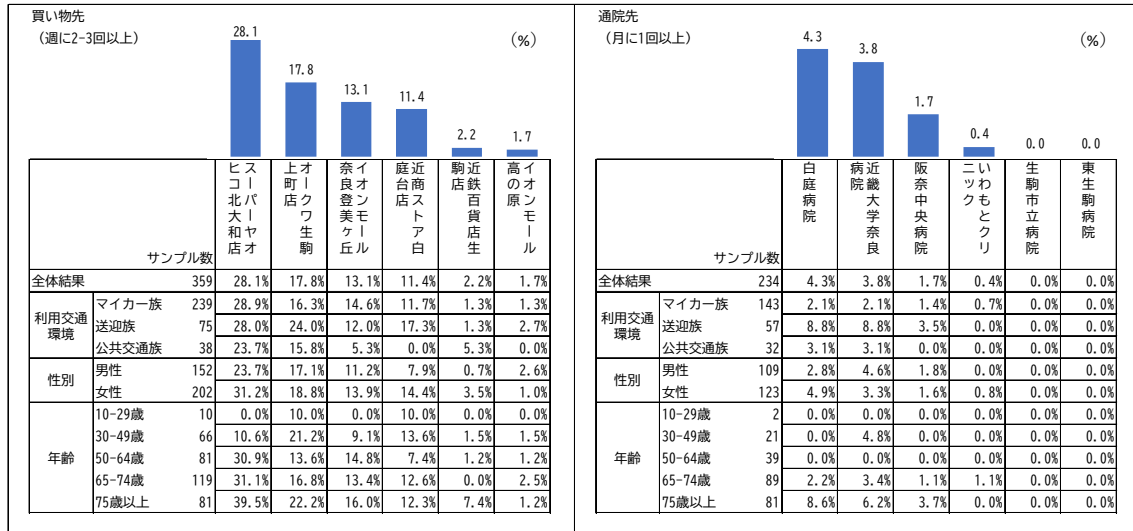
<鹿ノ台小学校区>

- ・ 買い物先：いそかわイトーピア店が多いが、公共交通族はイオンモール奈良登美ヶ丘店への移動も多い傾向にある。
- ・ 通院先：白庭病院が多く、マイカー族は近畿大学奈良病院への移動も多い傾向にある。



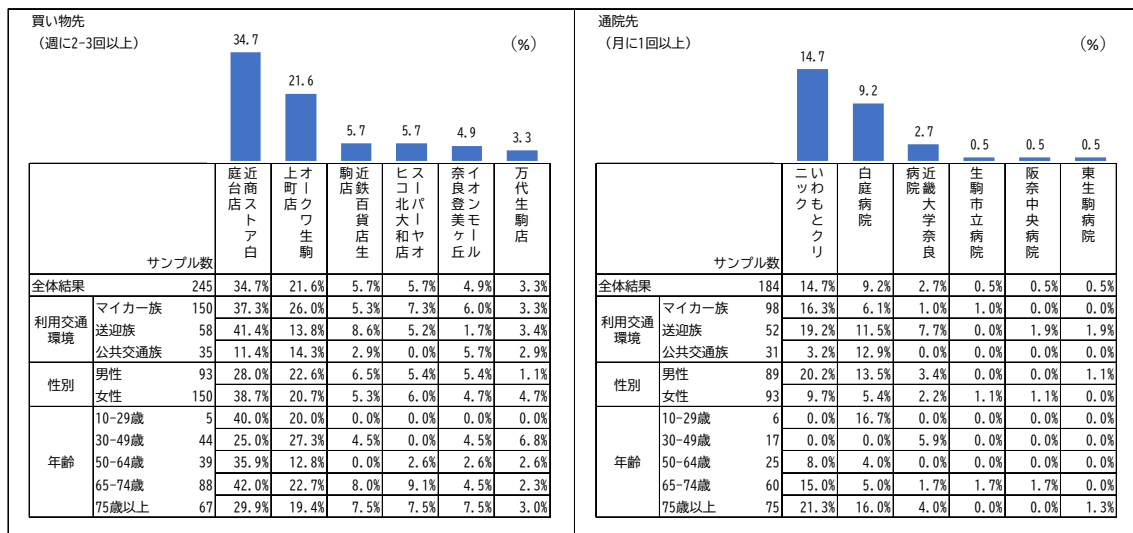
<真弓小学校区>

- ・ 買い物先：スーパーヤオヒコ北大和店が多く、マイカー族も公共交通族も同様の傾向にある。
- ・ 通院先：白庭病院が多く、マイカー族も公共交通族も同様の傾向にある。



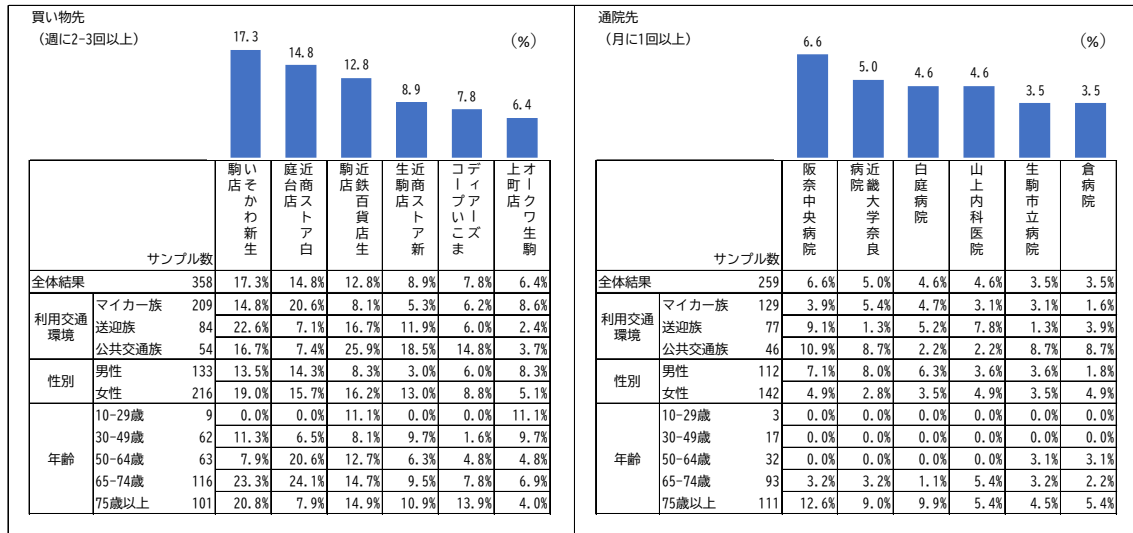
<あすか野小学校区>

- ・ 買い物先：近商ストア白庭台店が多いが、公共交通族はオークワ生駒上町店への移動も多い傾向にある。
- ・ 通院先：いわもとクリニックが多いが、公共交通族は白庭病院への移動も多い傾向にある。



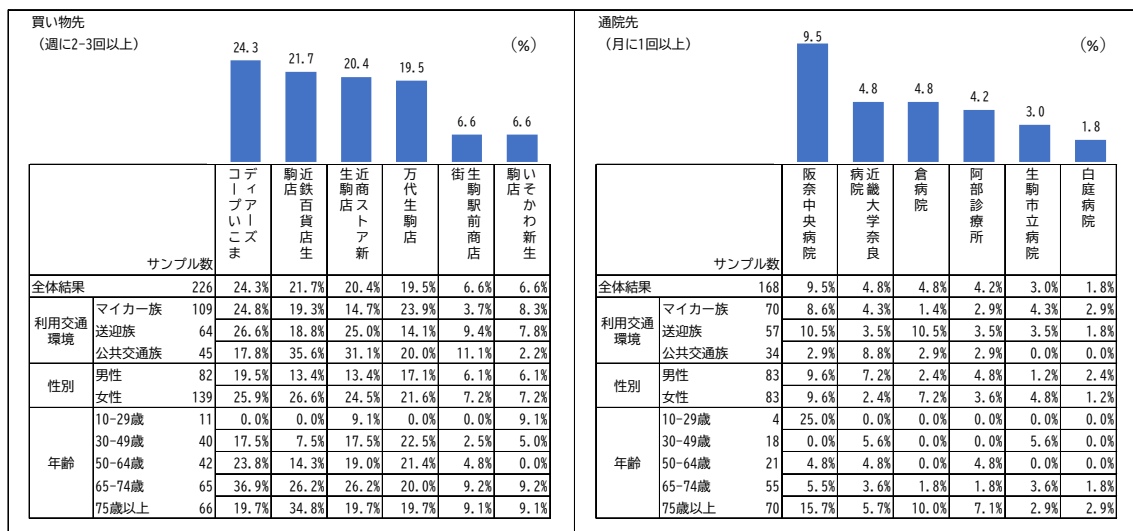
<生駒台小学校区>

- ・ 買い物先：いそかわ新生駒店が多いが、マイカー族は近商ストア白庭台店、公共交通族は近鉄百貨店生駒店への移動も多い傾向にある。
- ・ 通院先：阪奈中央病院が多いが、マイカー族は近畿大学奈良病院への移動も多い傾向にある。



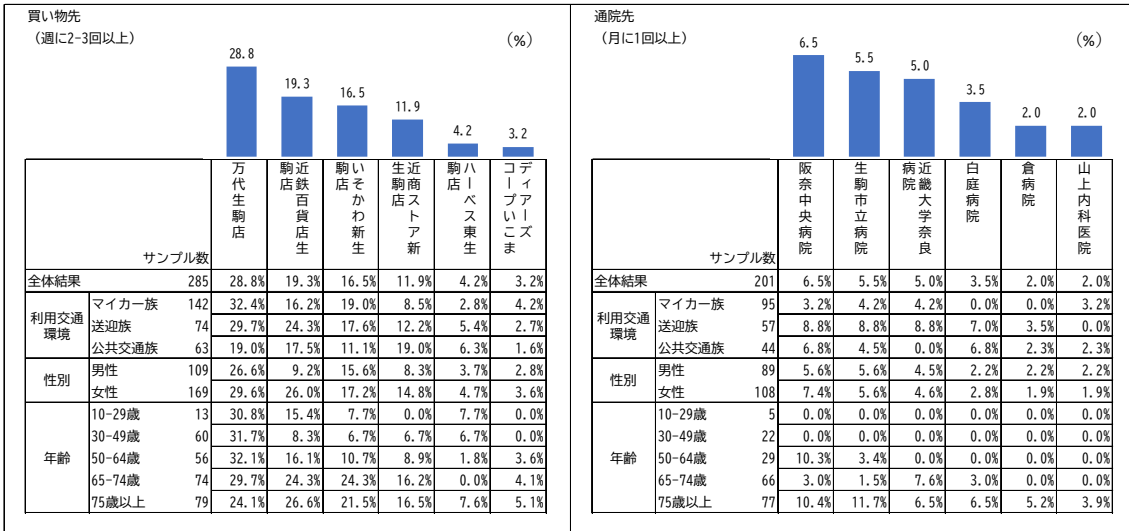
<俵口小学校区>

- ・ 買い物先：ディアーズコープいこま店が多いが、公共交通族は近鉄百貨店生駒店への移動も多い傾向にある。
- ・ 通院先：阪奈中央病院が多いが、公共交通族は近畿大学奈良病院への移動も多い傾向にある。



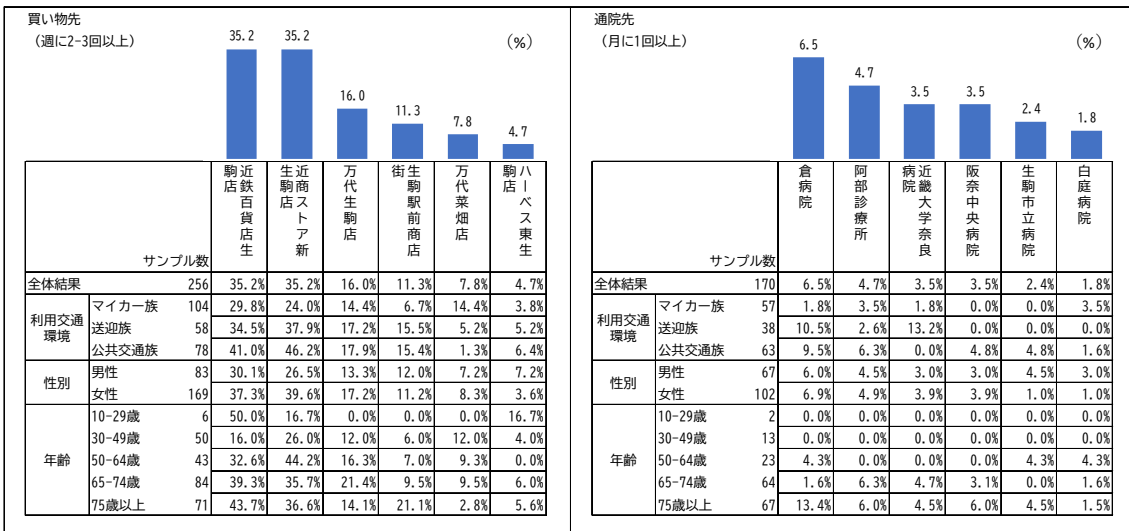
<桜ヶ丘小学校区>

- ・ 買い物先：万代生駒店が多く、マイカー族も公共交通族も同様の傾向にある。
- ・ 通院先：阪奈中央病院が多いが、マイカー族は生駒市立病院や近畿大学奈良病院への移動も多い傾向にある。



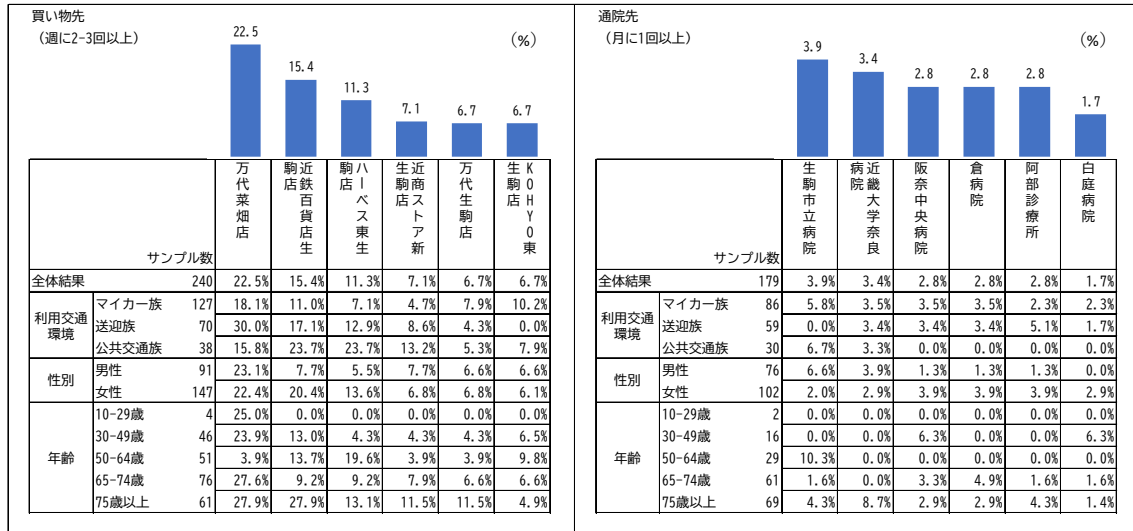
<生駒小学校区>

- ・ 買い物先：近鉄百貨店生駒店が多く、マイカー族も公共交通族も同様の傾向にある。
- ・ 通院先：倉病院が多いが、マイカー族は阿部診療所への移動も多い傾向にある。



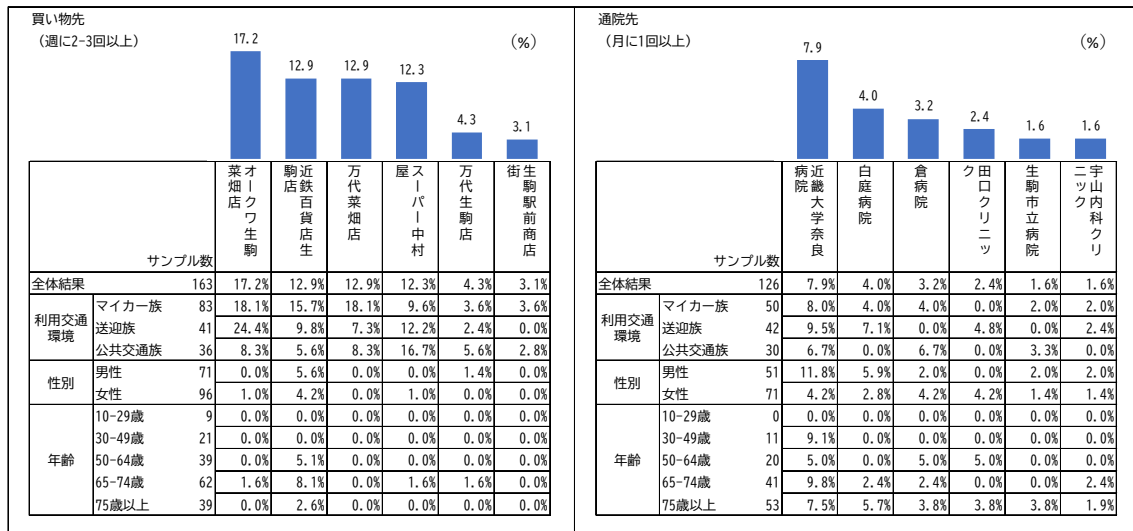
<生駒東小学校区>

- ・ 買い物先：万代菜畑店が多いが、公共交通族は近鉄百貨店生駒店やハーベス東生駒店への移動も多い傾向にある。
- ・ 通院先：生駒市立病院が多く、マイカー族も公共交通族も同様の傾向にある。



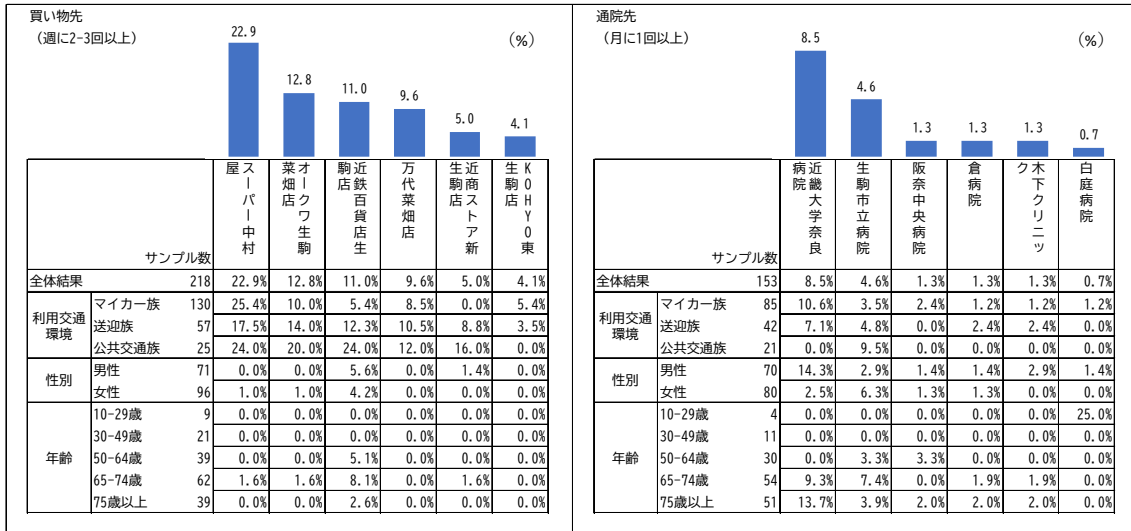
<生駒南小学校区>

- ・ 買い物先：オークワ生駒菜畑店が多く、マイカー族も公共交通族も同様の傾向にある。
- ・ 通院先：近畿大学奈良病院が多く、マイカー族も公共交通族も同様の傾向にある。



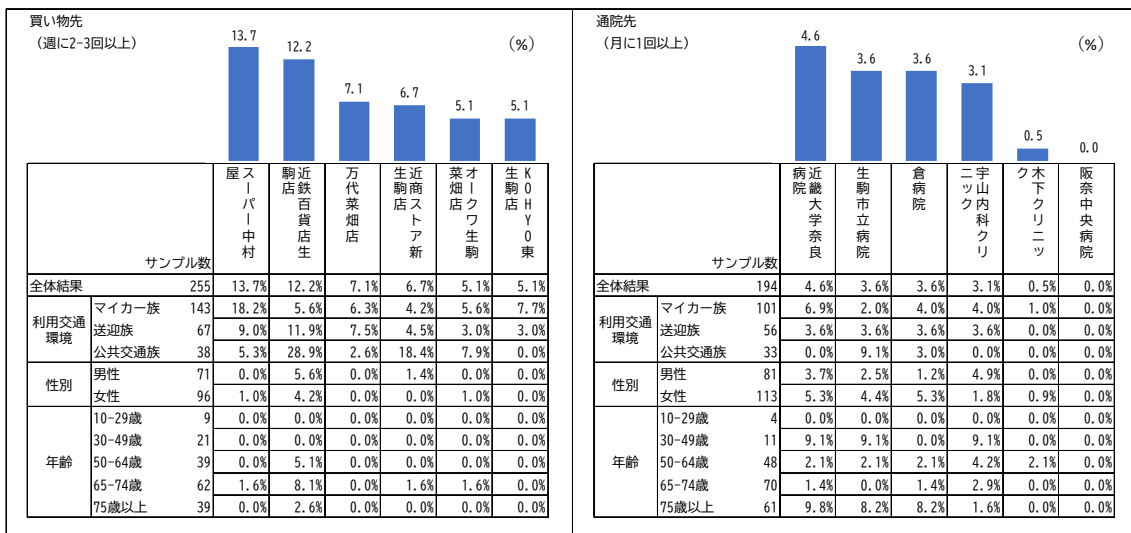
< 竜分小学校区 >

- ・ 買い物先：スーパー中村屋が多く、マイカー族も公共交通族も同様の傾向にある。
- ・ 通院先：近畿大学奈良病院が多いが、公共交通族は生駒市立病院への移動も多い傾向にある。



< 生駒南第2小学校区 >

- ・ 買い物先：スーパー中村屋が多いが、公共交通族は近鉄百貨店生駒店への移動も多い傾向にある。
- ・ 通院先：近畿大学奈良病院が多いが、公共交通族は生駒市立病院への移動も多い傾向にある。



3. 事業所アンケート調査結果

3.1. 実施概要

調査目的	従業者送迎用バスの有無、公共交通通勤の問題点、新たな移動手段が導入される場合の協力の有無等の把握
調査方法	生駒商工会議所の会員企業の内、従業員 10 人以上の事業所に対して、アンケート調査票を郵送配布・郵送回収（WEB 回答可能）
調査時期	令和 2 年 8 月 15 日～9 月 4 日
配布部数	198 事業所
回収部数	101 事業所
回収率	51.0%

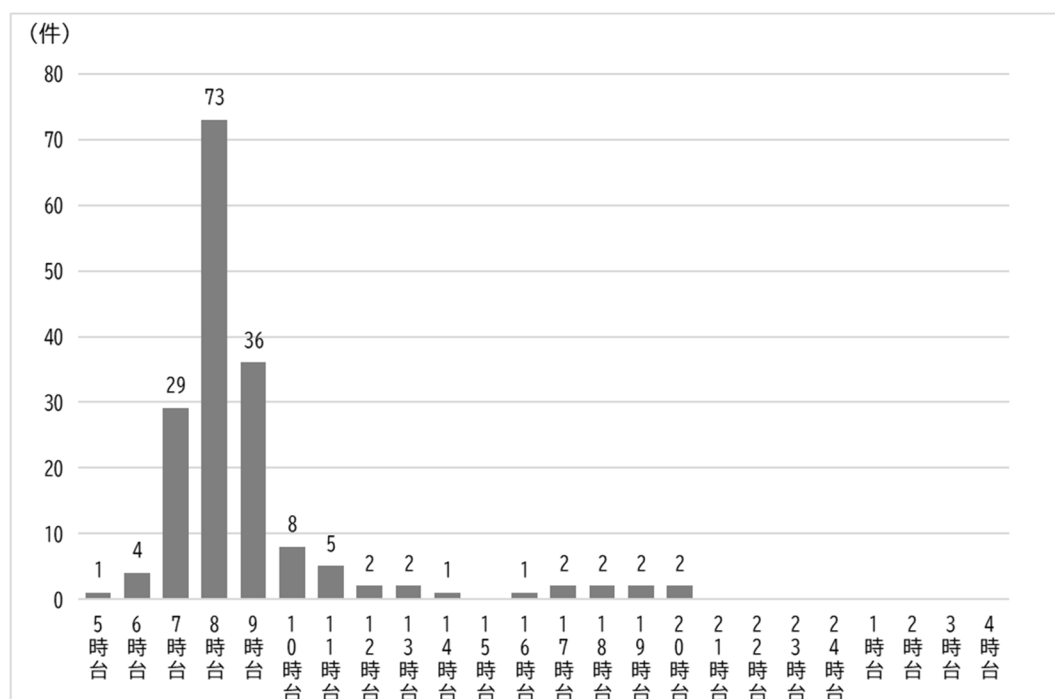
3.2. 回答結果

A. 従業者の通勤実態

問1 出勤時のピーク時間帯

【出勤時のピーク時間帯】

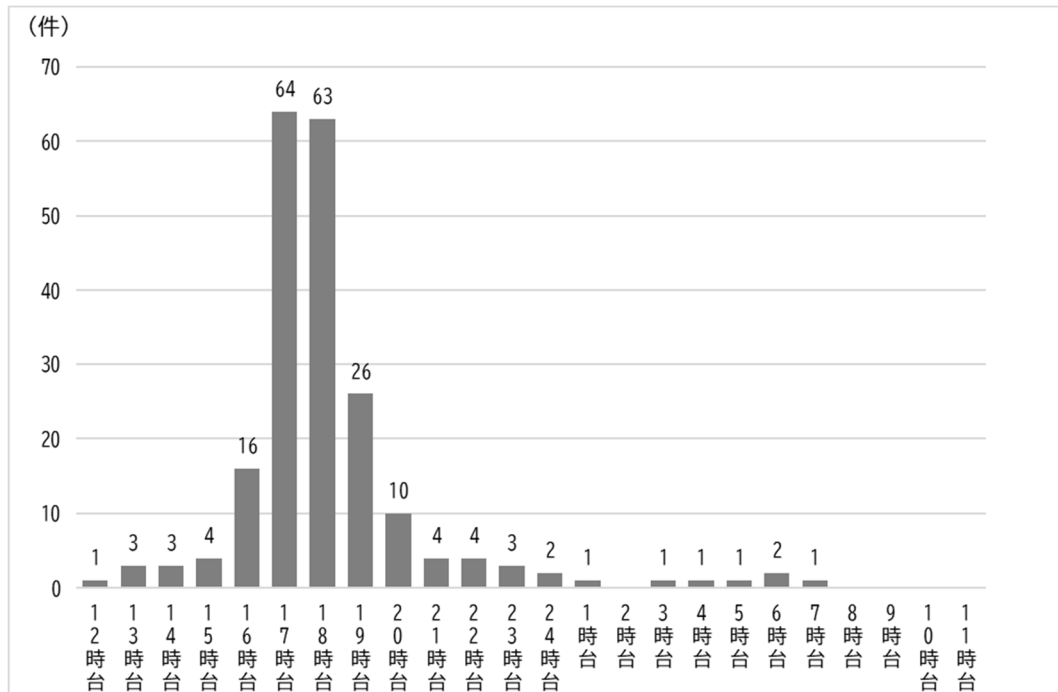
- ・ 「8 時台」が 73 件で最も多く、次いで「9 時台」が 36 件、「7 時台」が 29 件で続いている。



問1 帰宅時のピーク時間帯

【帰宅時のピーク時間帯】

- ・ 「17 時台」が 64 件で最も多く、次いで「18 時台」が 63 件、「19 時台」が 26 件と続いている。



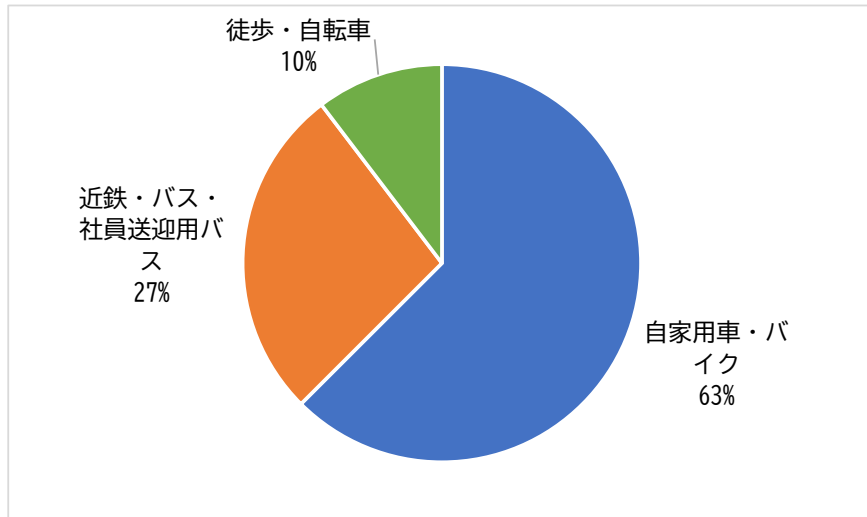
問2 従業者数

- ・ 「～10 人」が 33 件で 32.7%と最も多く、次いで「11～20 人」が 26 件で 25.7%、「31～50 人」が 15 件で 14.9%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「51～100 人」の 5 件で 5.0%を占め、次いで「100 人以上」が 7 件で 6.9%となっている。

		(件)	(%)	
1.	～10人	33	32.7	
2.	11～20人	26	25.7	
3.	21～30人	13	12.9	
4.	31～50人	15	14.9	
5.	51～100人	5	5.0	
6.	100人以上	7	6.9	
	不明・無回答	2	2.0	
	合 計	101	100.0	

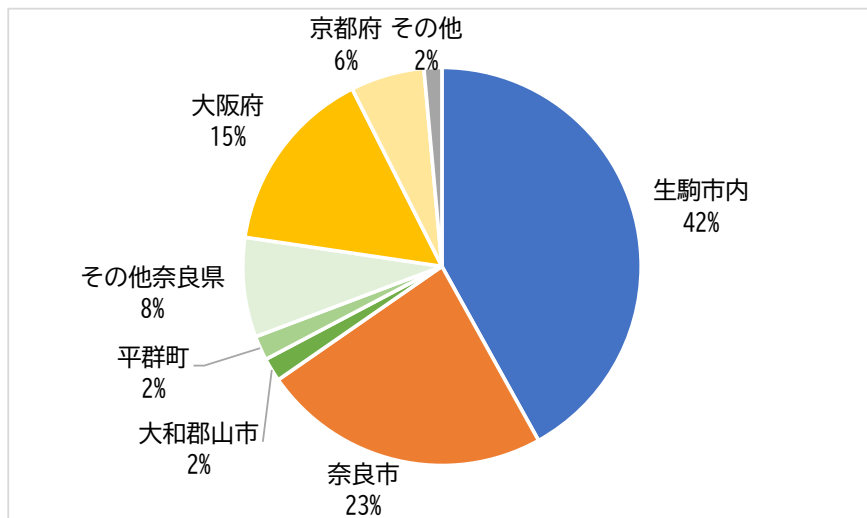
問3 通勤手段従業員割合

- ・ 「自家用車・バイク」で通勤する従業員の割合は63%、「近鉄・バス・社員送迎用バス」で通勤する従業員の割合は27%、「徒歩・自転車」で通勤する従業員の割合は10%となっている。



問3副問 自家用車・バイク通勤者の居住地分布

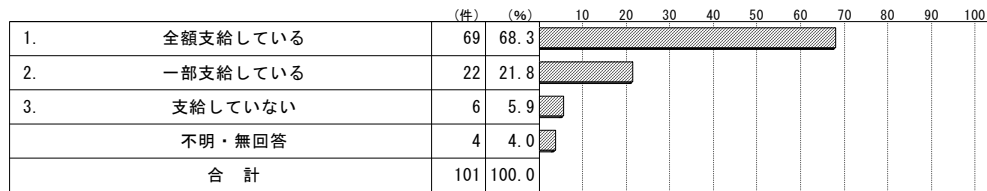
- ・ 「生駒市内」が最も多く42%、次いで「奈良市」が23%、「大阪府」が15%となっている。



B. 公共交通での通勤

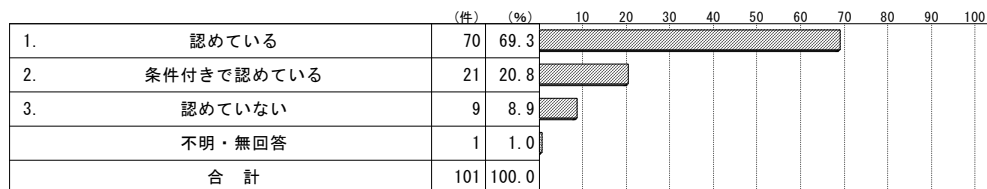
問4 通勤手当の支給状況

- ・ 「全額支給している」が69件で68.3%と最も多く、次いで「一部支給している」が22件で21.8%、「支給していない」が6件で5.9%と続いている。



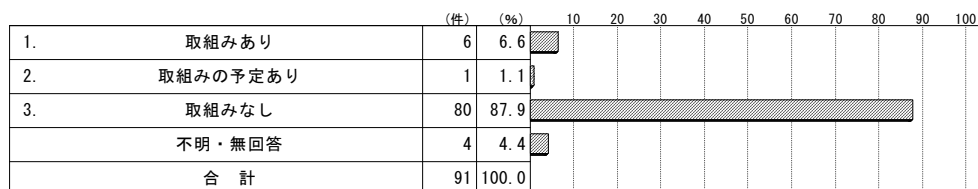
問5 マイカー通勤の許可

- ・ 「認めている」が70件で69.3%と最も多く、次いで「条件付きで認めている」が21件で20.8%、「認めていない」が9件で8.9%と続いている。



問6 公共交通を使った通勤を推奨する取組み

- ・ 「取組みなし」が80件で79.2%と最も多く、次いで「取組みあり」が6件で5.9%、「取組みの予定あり」が1件で1.0%と続いている。



【具体的な取組み内容】

- ・ 原則としてマイカー通勤は認めず、公共交通を使うように定めている。
- ・ 公共交通による通勤手当のみを支給している。
- ・ コロナ終息後にノーマイカーデーの実施。
- ・ 駐車場の数に制限があるため、通勤が重なる時は電車を利用してもらう。

問7 通勤における生駒市内の鉄道・駅（近鉄）の課題点・改善要望

- ・ 「駅前広場の環境（混雑している、駐車できない等）」や「運行時間が短い（始発が遅い、終発が早い）」、「運賃が高い」等に関する意見が多い。

分類	具体的な課題点・改善要望
運行時間	・ 生駒駅から近鉄生駒線王寺方面の終電を遅くしてほしい。 ・ 早朝に運行していない。
乗り換え	・ 生駒駅のけいはんな線と近鉄奈良線の乗換時の連絡が悪い。
運賃	・ けいはんな線の運賃が高い。（2件）
駅構内の環境	・ 駅構内で日中陰になる部分が少ない。送風機やミスト等もない。
駅前広場の環境	・ 生駒駅前や東生駒駅前に車を一時的に駐車できる場所がほしい。 ・ 生駒駅前北側ロータリーの車の進入で優先がわかりにくい。ラウンドアバウトのようにしてほしい。 ・ 生駒駅北口・南口が夕方以降、学習塾等の送迎車で混雑し、二重停車状態になっている。 ・ 白庭台駅付近が混雑している。
その他	・ 駅が遠い。（2件）

問7 通勤における生駒市内のバス（路線バス・コミュニティバス）の課題点・改善要望

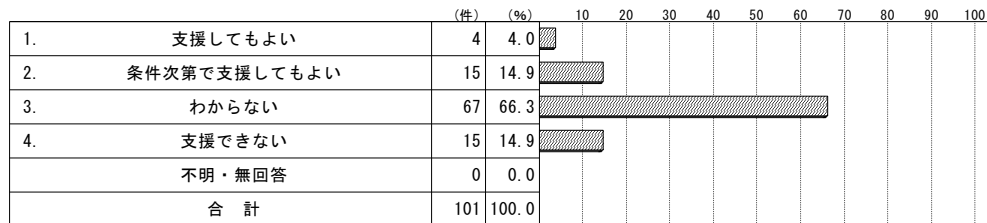
- ・ 「運行本数が少ない（特に通勤時間帯）」「周辺にバス停がない」「運行時間が短い（始発が遅い、終発が早い）」等に関する意見が多い。

分類	具体的な課題点・改善要望
運行本数 ・ 運行 間隔	・ 運行本数が少ない。（6 件） ・ 富雄－学研北生駒間のバス本数が少なく、電車の代替に利用できない。 ・ ひかりが丘方面、白庭台 1 時間に 2 本しかない。 ・ 通勤時間帯の運行本数が少ない。（7 件） ・ コミュニティバス（門前線）の昼間の運行本数が増えると職員だけでなく、子育て支援事業等の利用者が活用しやすい。 ・ 通勤時間帯の運行本数が少なく、たまに使用すると不便を感じるが、利用者数を考えれば仕方ないと納得せざるを得ない現況。利用者増大に注力してもらえたら便利になると思う。
運行時間	・ 早朝に運行していない。 ・ 朝の時間帯をもっと早くしてほしい。 ・ コミュニティバス（門前線）の土日祝運行希望（休日も勤務あり）。運行時間について、17 時までなので、就業時間に合わない（18 時まで希望）。 ・ 通勤時間帯のバスがない。
乗り換え	・ 電車への乗り継ぎで無駄な時間が発生してしまうため通勤に利用しづらい。 ・ 高山の運行線と鹿畑町の運行線は連動していない。 ・ 東生駒駅でバスと近鉄奈良線大阪方面の連絡が悪い。
運賃	・ 運賃が高い。 ・ 生駒駅や東生駒駅から最寄りバス停まで高い。 ・ 定期代が高い。
運行速度	・ 生駒駅や東生駒駅から最寄りバス停まで遅い。 ・ 阪奈道路生駒 IC 周辺がいつも混む。ひどい時には生駒警察署を越えて混んでいる。 ・ 駅までが遠回りになり時間もかかる。
運行 エリア	・ バスが運行していないので公共交通通勤ができない。 ・ 工業団地内を通るバスがないので、公共交通で通勤してほしいと言にくい。 ・ 近くに停留所がない。 ・ 会社からバス停までが遠いので全員自家用車で通勤している。 ・ バスの路線が合っていない（出先が多岐にわたるため）。
バス停の 環境	・ バス停で日中陰になる部分が少ない。送風機やミスト等もない。

C. 公共交通サービスの維持・確保のための支援

問8 公共交通サービスの維持・確保のための支援の可否

- ・ 「わからない」が67件で66.3%と最も多く、次いで「条件次第で支援してもよい」「支援できない」が15件で14.9%と続いている。「支援してもよい」は最も少なく4件で4.0%となっている。

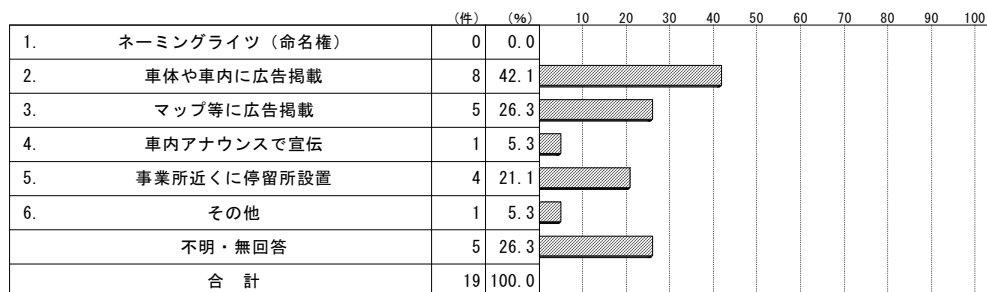


【1. 支援してもよいと回答した事業所の所在地】

- ・ 「高山町」(2件)
- ・ 「谷田町」「元町」(1件)

問8副問 参加できそうな支援内容

- ・ 「車体や車内に広告掲載」が8件で42.1%と最も多く、次いで「マップ等に広告掲載」が5件で26.3%、「事業所近くに停留所設置」が4件で21.1%と続いている。逆に比率の最も少ない項目は「ネーミングライツ(命名権)」の0件で0.0%を占め、次いで「車内アナウンスで宣伝」「その他」が1件で5.3%となっている。



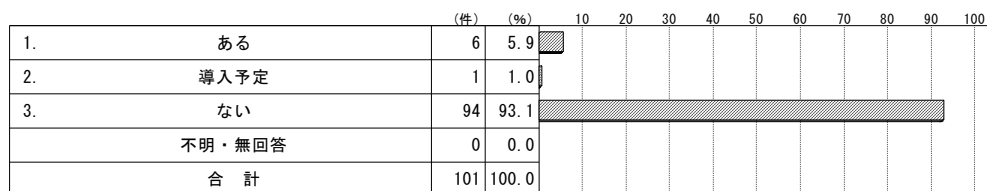
【その他】

- ・ 事業所として参加

D. 社員送迎用バス

問9 社員送迎用バスの有無

- 「ない」が94件で93.1%と最も多く、次いで「ある」が6件で5.9%、「導入予定」が1件で1.0%が続いている。

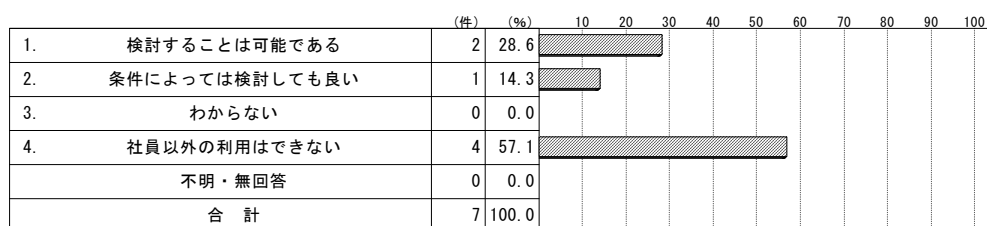


【1. あると回答した事業所の所在地】

- 「北田原町」(2件)
- 「本町」「西松ケ丘」「小平尾町」「元町」(1件)

問10 社員送迎用バスの社員以外利用の検討の可否

- 「社員以外利用はできない」が4件で57.1%と最も多く、次いで「検討することは可能である」が2件で28.6%、さらに「条件によっては検討しても良い」が1件で14.3%が続いている。「わからない」は最も少なく0件で0.0%となっている。

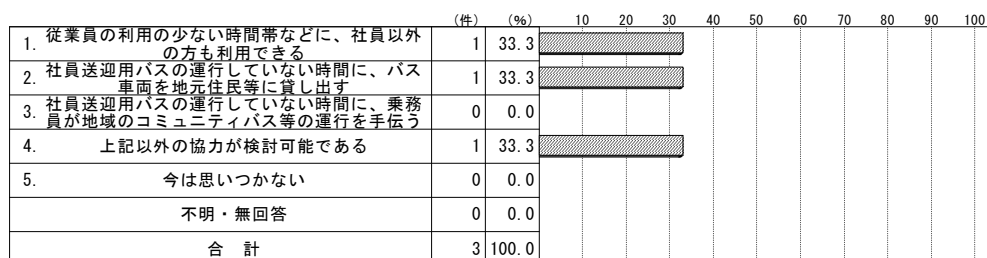


【1. 検討することは可能であると回答した事業所の所在地】

- 「北田原町」「元町」(1件)

問11 社員送迎用バスの社員以外利用の検討内容

- 「従業員の利用の少ない時間帯などに、社員以外の方も利用できる」「社員送迎用バスの運行していない時間に、バス車両を地元住民等に貸し出す」「上記以外の協力が検討可能である」が1件で33.3%と最も多い。逆に比率の最も少ないものは「社員送迎用バスの運行していない時間に、乗務員が地域のコミュニティバス等の運行を手伝う」「今は思いつかない」の0件であり0.0%となっている。



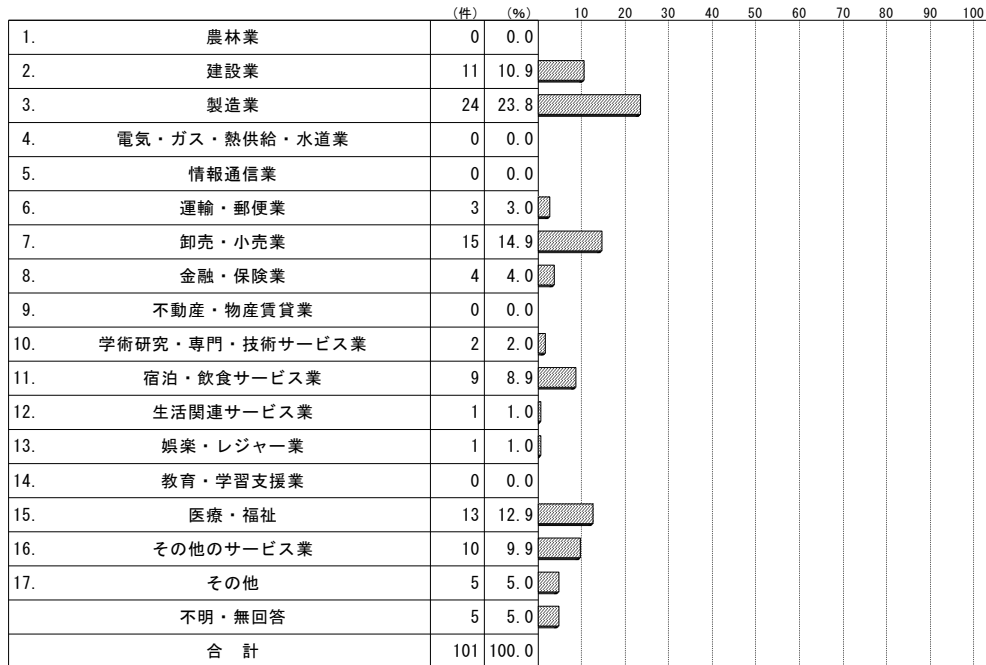
【「上記以外の協力が検討可能である」の記載内容】

- 介護タクシー車両16台のうち空いている時間にその車両を活用する

E. 事業所

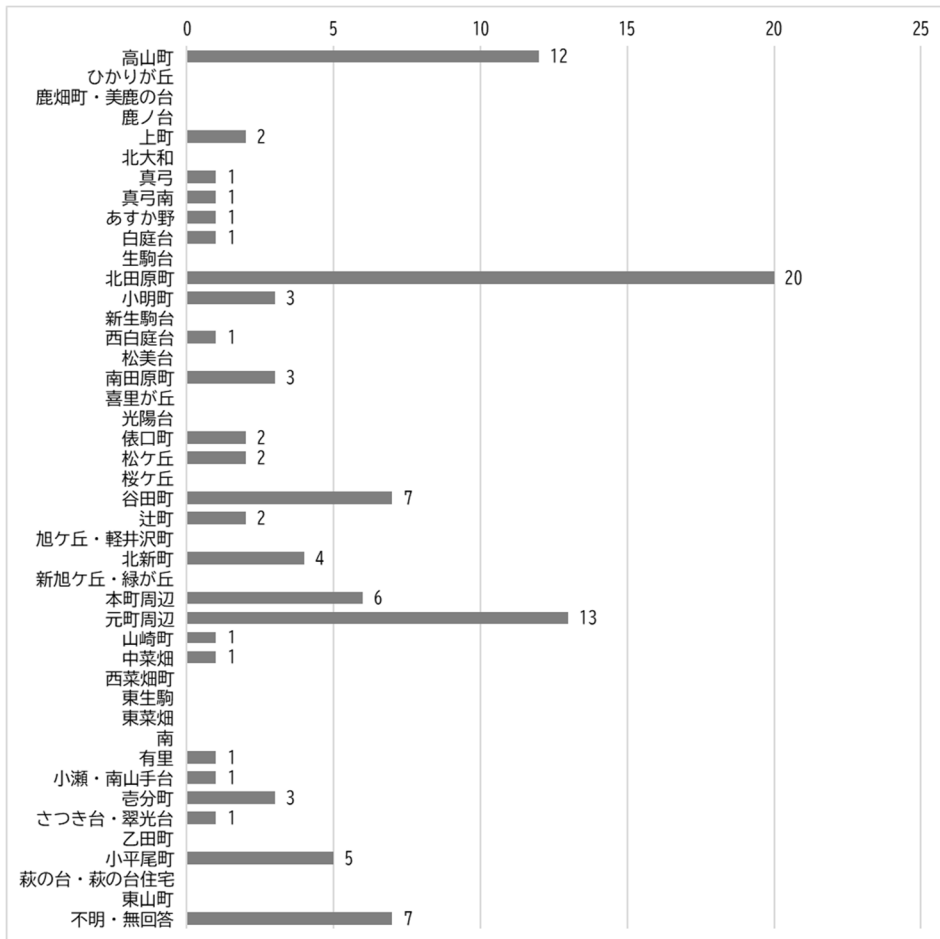
業種

- ・ 比率の高い項目では、まず、「製造業」が24件で23.8%と最も多く、次いで「卸売・小売業」が15件で14.9%、さらに「医療・福祉」が13件で12.9%と続いている。



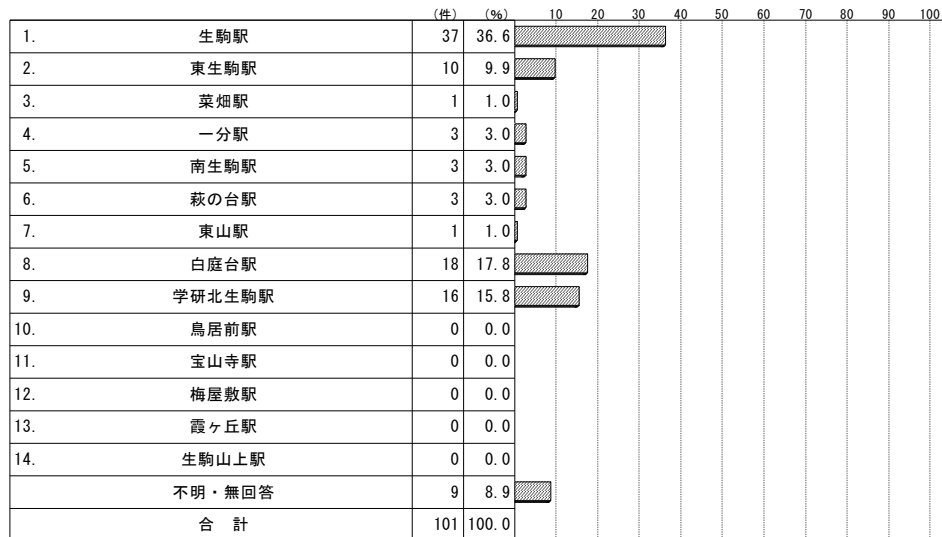
所在地

- ・ 比率の高い項目では、まず、「北田原町」が20件で19.8%と最も多く、次いで「元町周辺」が13件で12.9%、さらに「高山町」が12件で11.9%と続いている。



最寄り駅名

- ・ 比率の高い項目の上位3位をみると、まず、「生駒駅」が37件で36.6%と最も多く、次いで「白庭台駅」が18件で17.8%、さらに「学研北生駒駅」が16件で15.8%と続いている。



最寄りバス停名

- ・ 比率の高い項目の上位3位をみると、まず、「ひかりが丘住宅口」が8件で7.9%と最も多く、次いで「イモ山」が6件で5.9%、さらに「生駒駅」「谷田町」「ひかりが丘」が4件で4.0%と続いている。

